



ビル空調システム

室内ユニット

技術資料

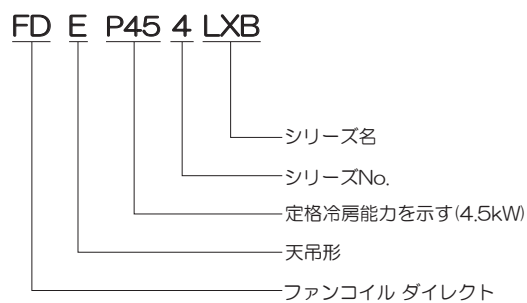
天吊形（FDE）

本資料は室内ユニットに関する事項を記載しております。
記載事項以外については、2014年冷熱ハンドブック設計・施工編および
サービス編をご覧ください。

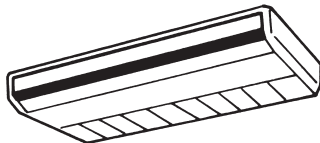
目 次

1. 仕 様(運転特性)	2
2. 外 形 図	5
3. 電気配線図	10
4. 気流分布	11
5. 運 転 音	17
6. 塗 装 色	18
7. 防振設計用参考資料	18
8. 据付関連事項	19
9. マイコン運転制御機能	61
10. 電装品故障診断要領	62
11. 別売品	64

・形式名称の見方



1. 仕様

形 式												
			FDEP364LXB		FDEP454LXB		FDEP564LXB		FDEP714LXB			
項 目												
電 源			単相 200V 50/60Hz									
(1)能力	冷 房 能 力		kW	3.6		4.5		5.6		7.1		
	暖 房 能 力			4.0		5.0		6.3		8.0		
定 格 冷 房 時 の 顕 熱 比			0.72		0.70		0.65		0.70			
運 転 音	音 圧 レ ベ ル		dB(A)	P急：46, 急：38, 強：31, 弱：26		P急：46, 急：38, 強：36, 弱：31		P急：47, 急：39, 強：37, 弱：32		P急：47, 急：39, 強：37, 弱：32		
	パ ワ ー レ ベ ル			P急：60, 急：51, 強：44, 弱：39		P急：60, 急：51, 強：49, 弱：44		P急：60, 急：51, 強：48, 弱：45		P急：60, 急：51, 強：48, 弱：45		
外形寸法 高さ×幅×奥行			mm		210 × 1070 × 690				210 × 1320 × 690			
製 品 質 量			kg		28				33			
空 気 形 式			アルミフィン&銅チューブ式									
熱交換器 冷 媒 制 御 器			電子膨張弁									
送 風 装 置	形 式 ・ 台 数		両吸込多翼遠心式(モータ直結) × 2								両吸込多翼遠心式(モータ直結) × 4	
	風 量		m³/min		P急：13, 急：10, 強：7, 弱：5.5		P急：13, 急：10, 強：9, 弱：7		P急：20, 急：15, 強：13, 弱：10			
	機 外 静 圧		Pa		0							
電 動 機	定 格 出 力		W		30 × 1				50 × 1			
	エ ア フ ィ ル タ		プラスチックネット(洗浄可能)									
新 鮮 空 気 取 入 口			不可能									
運 転 ス イ ッ チ			RC-DX2, RC-D4G									
温 度 調 節			マイコン式サーモスタット									
表 示	表 示		液晶表示<リモコン>									
	表 示 灯		緑色：運転, 赤色：点検<リモコン>									
加 湿 器	補 助 電 気 ヒ ー タ		——(組込不可能)									
	温 水 ・ 蒸 気 ヒ ー タ		——(組込不可能)									
	加 湿 器		——(気化式加湿器組込可能)									
高 性 能 フ ィ ル タ			——(組込可能)									
遠 方 発 停 用 機 能			遠方発停入力用コネクタ(CNT：6P, CNTA：2P)を保有(室内基板上)									
外 部 制 御 用 出 力 機 能			——									
遠 方 表 示 用 出 力 機 能			運転表示・異常表示出力用コネクタ(CNT：6P)を保有(室内基板上)									
保 護 機 能			ファンモータ：インターナルサーモ, 凍結防止サーモ									
冷 媒 封 入 量			kg		——							
防 振 装 置			送風用電動機：防振ゴム									
防 音 ・ 断 熱 材			外板：吸音断熱材内貼									
配 管 寸 法 (室内側)	冷 媒 配 管 (外径)	液 管	mm		φ 6.35(フレア接続)				φ 9.52(フレア接続)			
		ガ ス 管	φ 12.7(フレア接続)				φ 15.88(フレア接続)					
	排 水 管		VP20(I.D.20, O.D.26)の排水管接続可能									
I P コ ー ド			IPX0									

注(1) 冷房・暖房能力および電気特性はJIS B 8616：2015条件によります。

(2) 運転音(パワーレベル)は, JRA 4065：2013規格に基づいた値です。

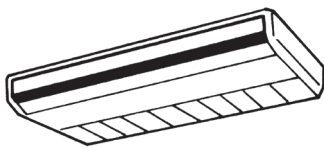
(3) 運転音(音圧レベル)は, JIS B 8616：2006規格に準拠し無響室にて測定した値です。実際に部屋に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け表示値より大きくなるのが普通です。

(4) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。

運転特性

区分	容量	364形	454形	564形	714形
消費電力(kW)			0.05		0.07
運転電流(A)			0.50		0.70

PFA004Z029

形 式					
項 目			FDEP804LXB	FDEP904LXB	FDEP1124LXB
電 源			単相200V 50/60Hz		
(1) 能力	冷 房 能 力	kW	8.0	9.0	11.2
	暖 房 能 力		9.0	10.0	12.5
定 格 冷 房 時 の 顕 熱 化			0.68	0.66	0.96
運 転 音	音 圧 レ ベ ル	dB(A)	P急:49, 急:39, 強:37, 弱:32		P急:45, 急:42, 強:38, 弱:34
	パ ワ ー レ ベ ル		P急:63, 急:52, 強:49, 弱:46		P急:61, 急:58, 強:54, 弱:50
外形寸法		高さ×幅×奥行	mm		
			210×1320×690		250×1620×690
製 品 質 量			kg		
			33		43
空 気 形 式		熱交換器	アルミフィン&銅チューブ式		
冷 媒 制 御 器			電子膨張弁		
送 風 機 装 置	形 式 ・ 台 数		両吸込多翼遠心式(モータ直結)×4		
	風 量	m³/min	P急:22, 急:15, 強:13, 弱:10		P急:28, 急:25, 強:21, 弱:16.5
	機 外 静 圧	Pa	0		
	電 動 機 定 格 出 力	W	33 × 1		43 × 1
エ ア フ ィ ル タ	プラスチックネット(洗浄可能)				
	新 鮮 空 気 取 入 口	不可能			
運 転 調 整	操 作 ス イ ッ チ	RC-DX2, RC-D4G			
	温 度 調 節	マイコン式サーモスタット			
	表 示	液晶表示(リモコン)			
	表 示 灯	緑色：運転, 赤色：点検(リモコン)			
加 湿 器	補 助 電 気 ヒ ー タ	——(組込不可能)			
	温 水 ・ 蒸 気 ヒ ー タ	——(組込不可能)			
	加 湿 器	——(気化式加湿器組込可能)			
高 性 能 フ ィ ル タ		——(組込可能)			
遠 方 発 停 用 機 能			遠方発停入力用コネクタ(CNT：6P, CNTA：2P)を保有(室内基板上)		
外 部 制 御 用 出 力 機 能			——		
遠 方 表 示 用 出 力 機 能			運転表示・異常表示出力用コネクタ(CNT：6P)を保有(室内基板上)		
保 護 機 能			ファンモータ：インターナルサーモ, 凍結防止サーモ		
冷 媒 封 入 量			kg		
			——		
防 振 装 置			送風用電動機：防振ゴム		
防 音 ・ 断 熱 材			外板：吸音断熱材内貼		
配 管 寸 法 (室内側)	冷 媒 配 管 (外径)	液 管	φ9.52(フレア接続)		
		ガ ス 管	φ15.88(フレア接続)		
	排 水 管		VP20(I.D.20, O.D.26)の排水管接続可能		
I P コ ー ド			IPX0		

注(1) 冷房・暖房能力および電気特性はJIS B 8616:2015条件によります。

(2) 運転音(パワーレベル)は, JRA 4065:2013規格に基づいた値です。

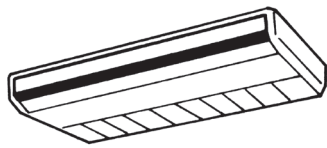
(3) 運転音(音圧レベル)は, JIS B 8616:2006規格に準拠し無響室にて測定した値です。実際に部屋に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け表示値より大きくなるのが普通です。

(4) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。

運転特性

区分	容量	804形	904形	1124形
消費電力(kW)		0.08		0.10
運転電流(A)		0.80		1.00

PFA004Z029

形 式				
項 目			FDEP1404LXB	FDEP1604LXB
電 源			単相200V 50/60Hz	
(1)能力	冷 房 能 力	kW	14.0	16.0
	暖 房 能 力		16.0	18.0
定 格 冷 房 時 の 顕 熱 化			0.66	0.65
運 転 音	音 圧 レ ベ ル	dB(A)	P急:48, 急:43, 強:40, 弱:35	P急:49, 急:46, 強:40, 弱:36
	パ ワ ー レ ベ ル		P急:64, 急:59, 強:56, 弱:51	P急:65, 急:62, 強:56, 弱:52
外形寸法	高さ×幅×奥行	mm	250×1620×690	
製 品 質 量			43	
空 気 形 式	熱交換器 冷 媒 制 御 器		アルミフィン&銅チューブ式	
			電子膨張弁	
送 風 機 装 置	形 式 ・ 台 数		両吸込多翼遠心式(モータ直結)×4	
	風 量	m³/min	P急:32, 急:26, 強:23, 弱:17	P急:34, 急:30, 強:23, 弱:18
機 外 静 圧	機 外 静 圧		0	
	電 動 機	定 格 出 力	W	80 × 1
エ ア フ ィ ル タ	エ ア フ ィ ル タ		プラスチックネット(洗浄可能)	
	新 鮮 空 気 取 入 口		不可能	
運 転 温 度 調 節	操 作 ス イ ッ チ		RC-DX2, RC-D4G	
	温 度 調 節		マイコン式サーモスタット	
表 示 灯	表 示		液晶表示<リモコン>	
	表 示 灯		緑色：運転, 赤色：点検<リモコン>	
加 湿 器 加 熱 器	補 助 電 気 ヒ ー タ		——(組込不可能)	
	温 水 ・ 蒸 気 ヒ ー タ		——(組込不可能)	
高 性 能 フ ィ ル タ	加 湿 器		——(気化式加湿器組込可能)	
	高 性 能 フ ィ ル タ		——(組込可能)	
遠 方 発 停 用 機 能			遠方発停入力用コネクタ(CNT：6P, CNTA：2P)を保有(室内基板上)	
外 部 制 御 用 出 力 機 能			——	
遠 方 表 示 用 出 力 機 能			運転表示・異常表示出力用コネクタ(CNT：6P)を保有(室内基板上)	
保 護 機 能			ファンモータ：インターナルサーモ, 凍結防止サーモ	
冷 媒 封 入 量			kg	
防 振 装 置			送風用電動機：防振ゴム	
防 音 ・ 断 熱 材			外板：吸音断熱材内貼	
配管寸法 (室内側)	冷 媒 配 管 (外径)	液 管	φ9.52(フレア接続)	
		ガ ス 管	φ15.88(フレア接続)	
	排 水 管		VP20(I.D.20, O.D.26)の排水管接続可能	
I P コ ー ド			IPX0	

注(1) 冷房・暖房能力および電気特性はJIS B 8616：2015条件によります。

(2) 運転音(パワーレベル)は、JRA 4065：2013規格に基づいた値です。

(3) 運転音(音圧レベル)は、JIS B 8616：2006規格に準拠し無響室にて測定した値です。実際に部屋に据付けた場合は周囲の騒音や部屋の反響を受け表示値より大きくなるのが普通です。

(4) ワイヤレスリモコン使用時は風量設定が3速(急・強・弱)となります。P急モードをご使用の場合は高天井設定(P急・急・強)としてください。

運転特性

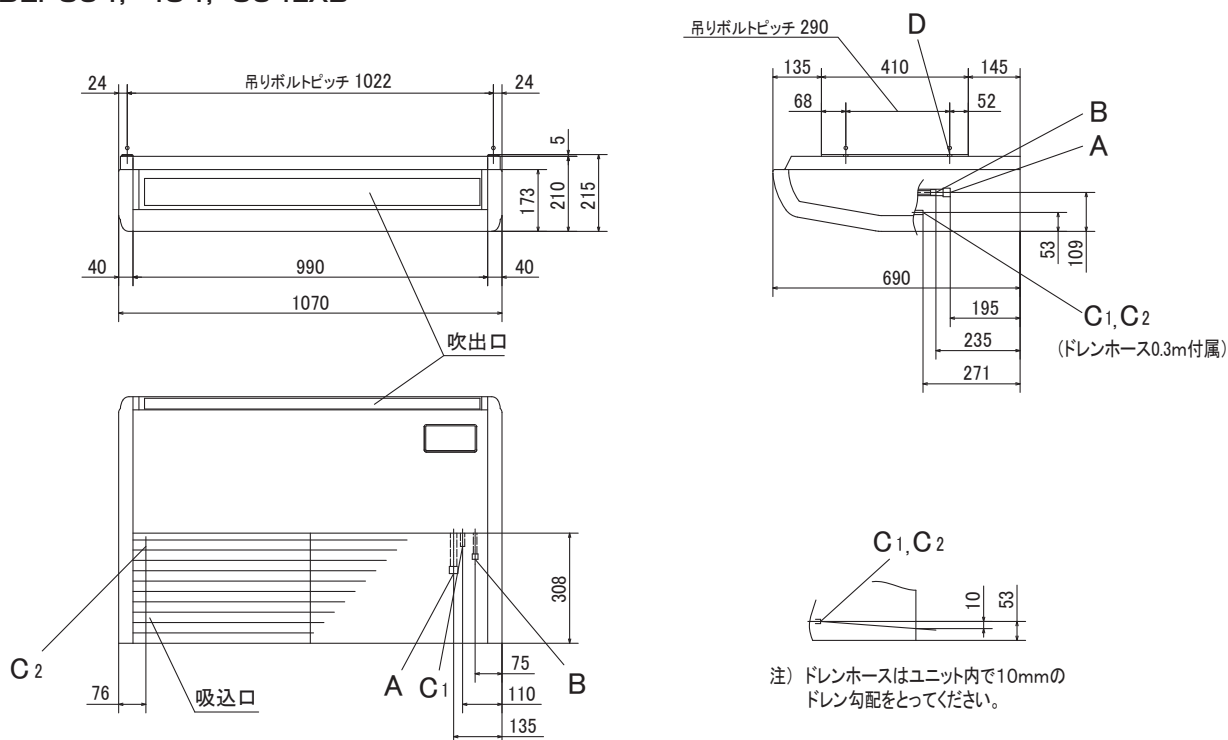
区分	容量	1404形	1604形
消費電力(kW)		0.13	0.14
運転電流(A)		1.30	1.40

PFA004Z029

2. 外形図

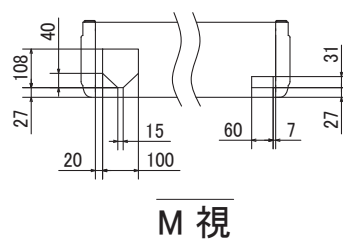
(1) 室内ユニット

FDEP364, 454, 564LXB

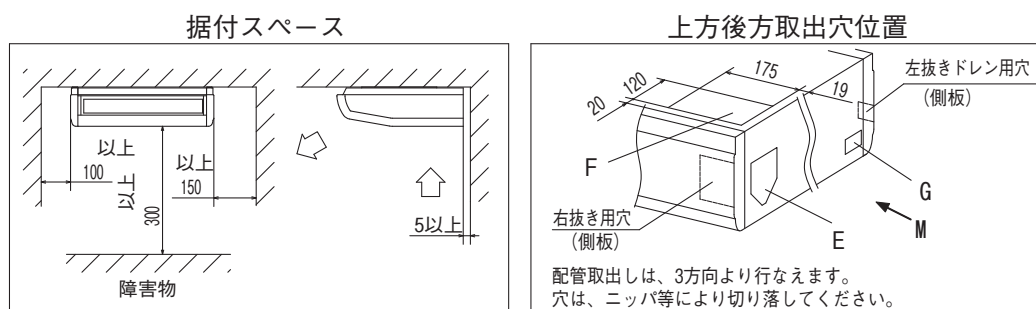


●記号説明

記号	内 容
A	ガス配管接続口 $\phi 12.7$ (フレア)
B	液配管接続口 $\phi 6.35$ (フレア)
C 1,2	ドレン配管接続口 VP20(I.D.20.O.D.26)
D	吊りボルト用穴 M10又はM8
E	後抜き用穴 PEリッド
F	上抜き用穴 PEリッド
G	左後ろ抜きドレン用穴 ノックアウト



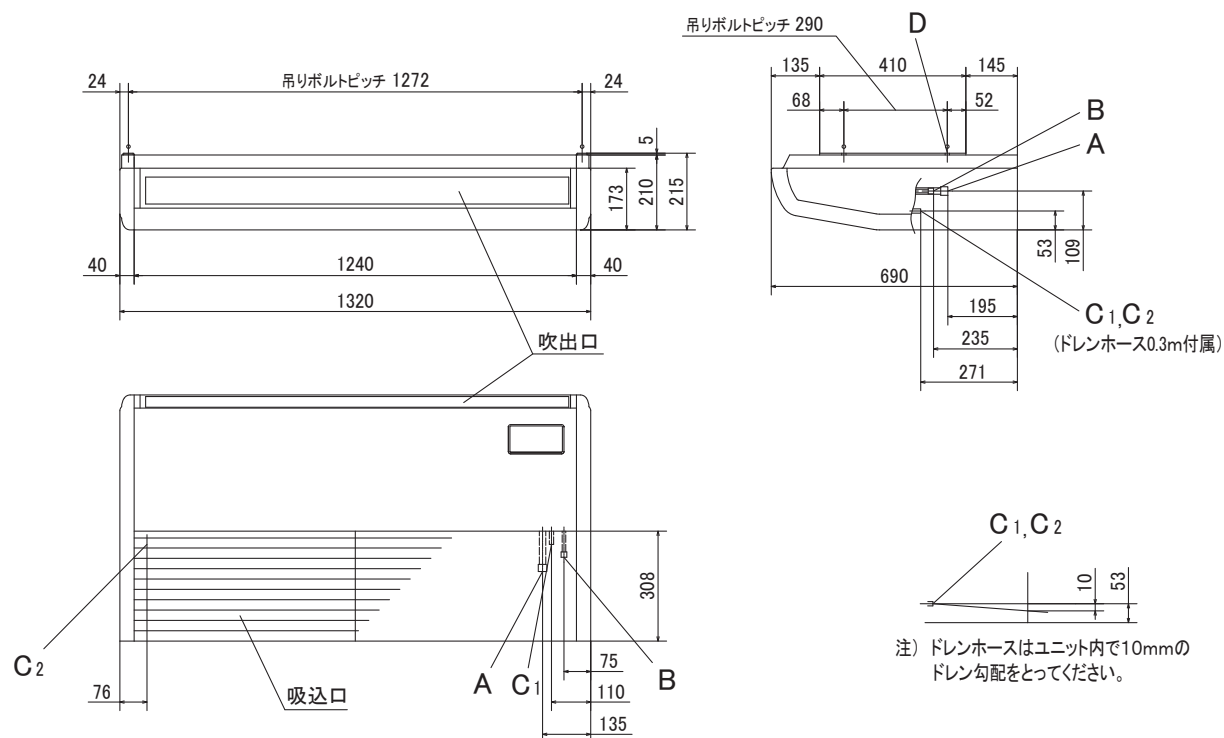
注 (1) 装置銘板は吸込グリル内のファンケース正面についています。



隣接設置の場合は、ユニット間を4000以上離してください。

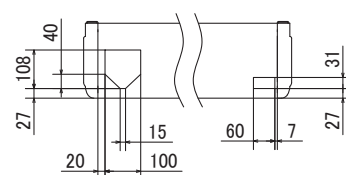
PFA004Z031

FDEP714, 804, 904LXB



●記号説明

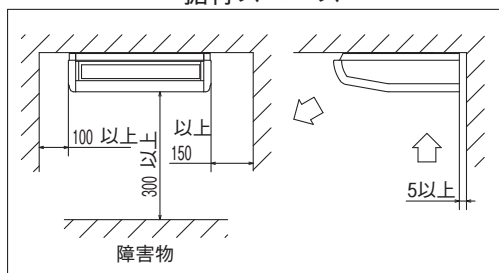
記号	内 容
A	ガス配管接続口 $\phi 15.88$ (フレア)
B	液配管接続口 $\phi 9.52$ (フレア)
C 1,2	ドレン配管接続口 VP20 (I.D.20, O.D.26)
D	吊りボルト用穴 M10又はM8
E	後抜き用穴 PEリッド
F	上抜き用穴 PEリッド
G	左後ろ抜きドレン用穴 ノックアウト



M 視

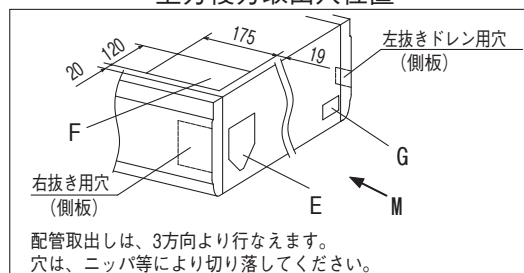
注(1) 装置銘板は吸込グリル内のファンケース正面についています。

据付スペース

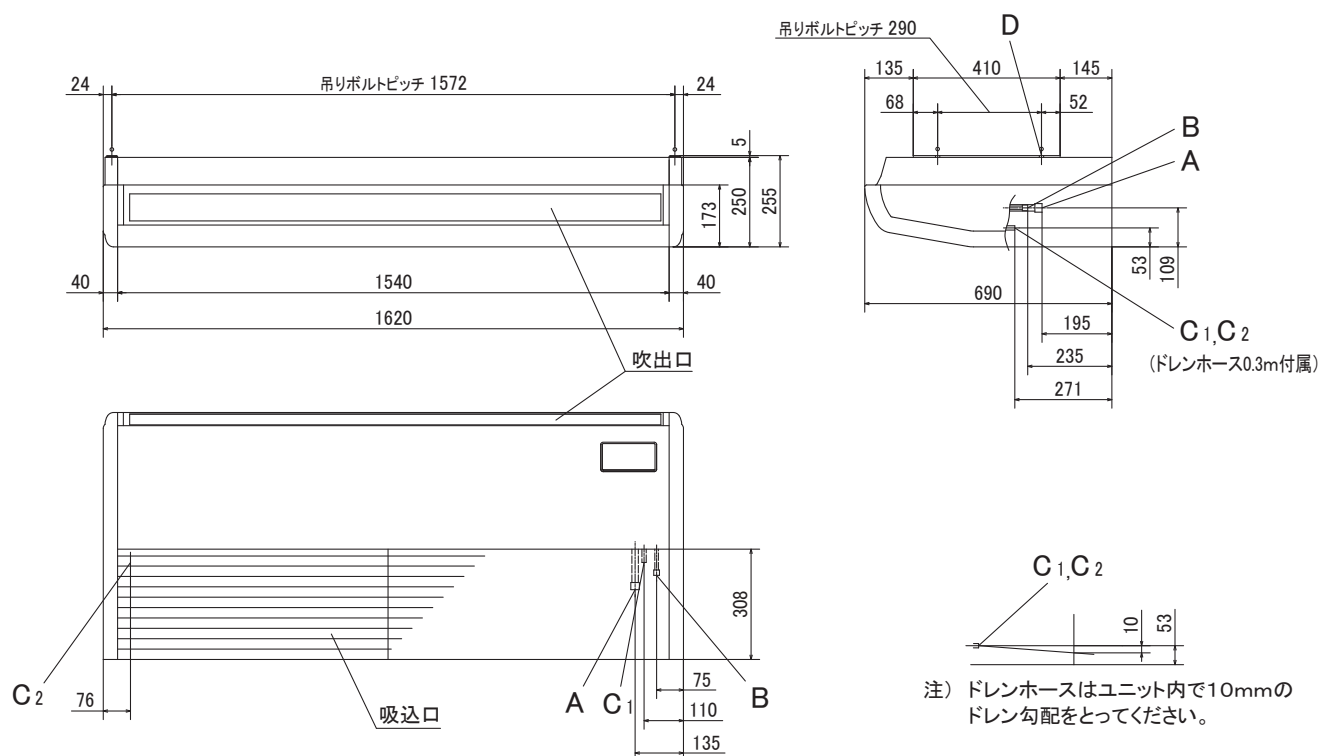


隣接設置の場合は、ユニット間を4500以上離してください。

上方後方取出穴位置

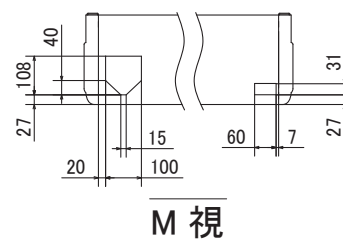


FDEP1124, 1404, 1604LXB

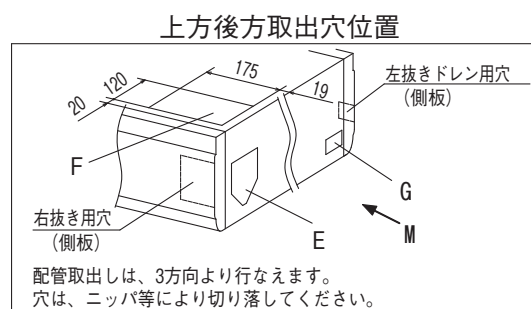
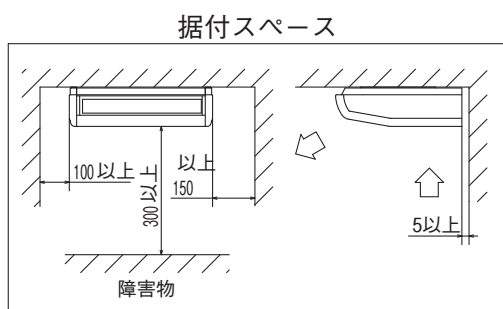


●記号説明

記号	内 容
A	ガス配管接続口 $\phi 15.88$ (フレア)
B	液配管接続口 $\phi 9.52$ (フレア)
C 1,2	ドレン配管接続口 VP20 (I.D.20, O.D.26)
D	吊りボルト用穴 M10又はM8
E	後抜き用穴 PEリッド
F	上抜き用穴 PEリッド
G	左後ろ抜きドレン用穴 ノックアウト



注 (1) 装置銘板は吸込グリル内のファンケース正面についています。



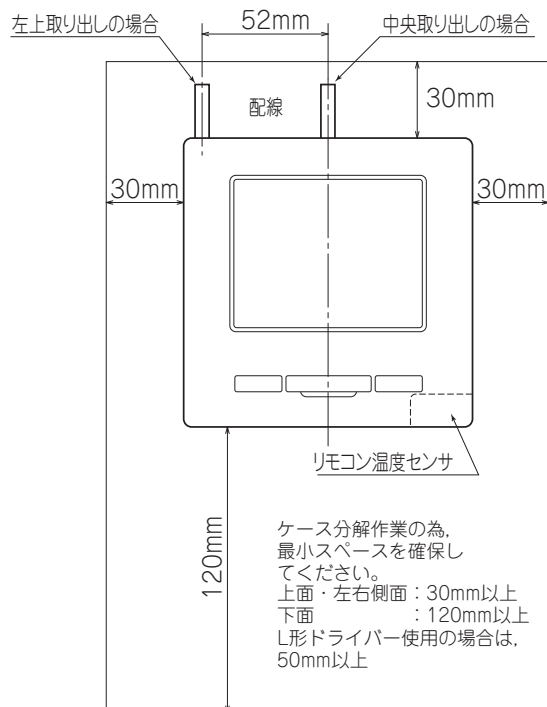
隣接設置の場合は、ユニット間を5000以上離してください。

PFA004Z033

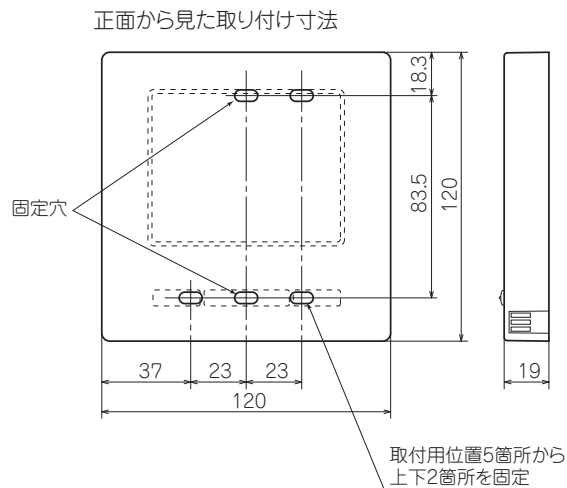
(2) リモートコントローラ（別売品）

(a) RC - DX2

設置スペース



リモコン取付寸法



リモコンコードを延長する場合の注意

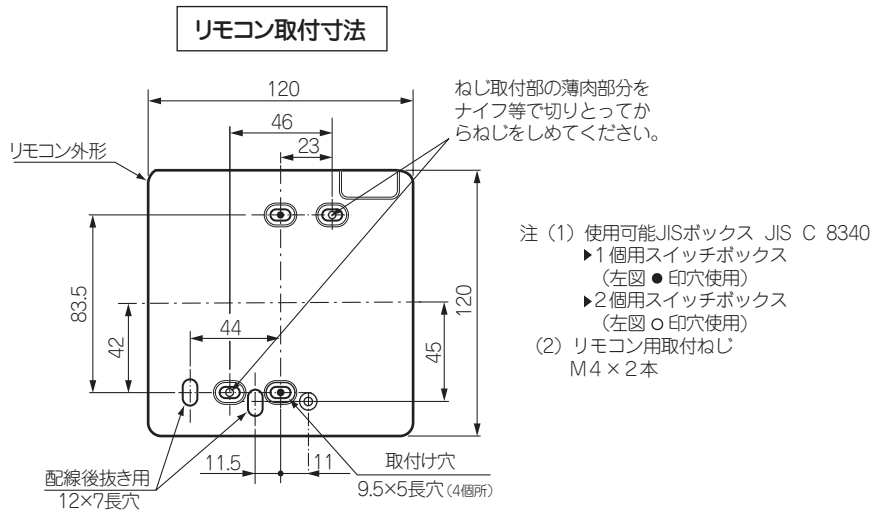
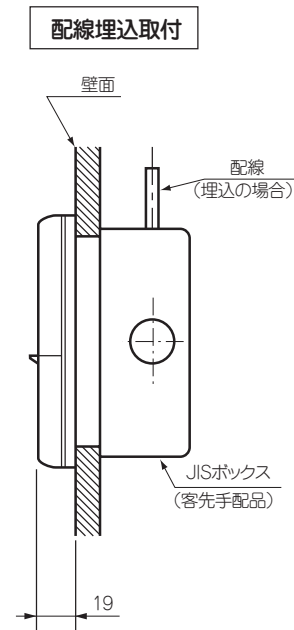
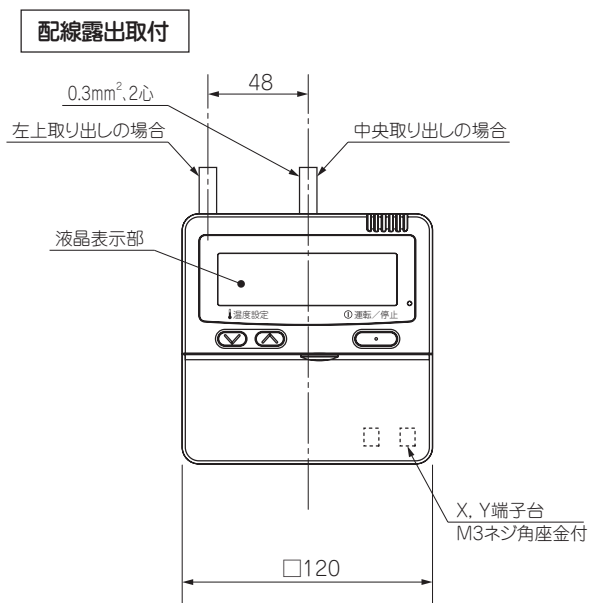
最大総延長600m

●リモコンコードは0.3mm²×2心です。

延長は600mまで可能です。延長距離が100mを超える場合は、下記サイズに変更してください。但し、リモコンケース内を通る配線は最大0.5mm²以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズを変更してください。配線接続する際は、水分等が浸入しないような処置を行ってください。また、配線の接続は、接触不良のないように確実に行ってください。

- 100～200m以内…0.50mm²×2心
- ～300m以内…0.75mm²×2心
- ～400m以内…1.25mm²×2心
- ～600m以内…2.00mm²×2心

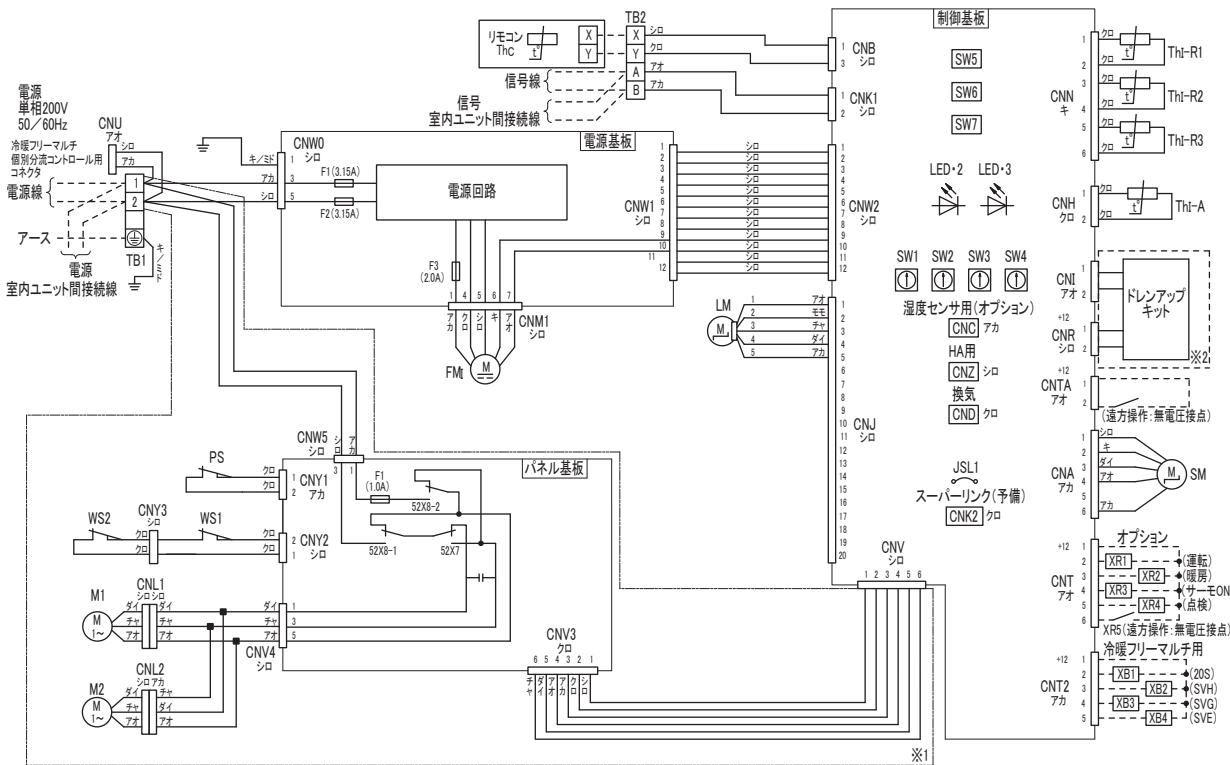
(b) RC - D4G



リモコンコードを延長する場合の注意 最大総延長600m

- リモコンコードは0.3mm²×2心です。
- 延長は600mまで可能です。延長距離が100mを超える場合は、下記サイズに変更してください。但し、リモコンケース内を通る配線は最大0.5mm²以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズを変更してください。配線接続する際は、水分等が浸入しないような処置を行ってください。また、配線の接続は、接触不良のないように確実に行ってください。
- 100～200m以内…0.50mm²×2心
- ～300m以内…0.75mm²×2心
- ～400m以内…1.25mm²×2心
- ～600m以内…2.00mm²×2心

3. 電気配線図



記号	名称
CNA~Z	コネクタ
DM	ドレンモータ
F1(3.15A) F1(1.0A) F2(3.15A) F3(2.0A)	ヒューズ
FMI	ファンモータ
FS	フロートスイッチ
JSL1	スーパーリンク(予備)切換
LED・2	表示灯(緑-マイコン正常表示)
LED・3	表示灯(赤-点検表示)
LM	ルーバモータ
MT.2	グリル自動昇降用モータ
PS	パネルスイッチ
SM	ステッピングモータ(電子膨張弁用)
SW1	室内アドレスNo.10の位
SW2	室内アドレスNo.1の位
SW3	室外アドレスNo.10の位
SW4	室外アドレスNo.1の位
SW5-1	スーパーリンク自動判定ノ旧固定
SW5-2	室内アドレスNo.100の位
SW6	機種容量切替
SW7-1	運転チェック・ドレン試運転
SW7-3	パワフルモード 有効/無効
TB1	端子台(電源)
TB2	端子台(通信)
ThC	リモコン温度サーミスタ
Th-A	吸込温度センサ
Th-R1,2,3	熱交温度センサ
WS1,2	昇降ワイヤゆるみ検知スイッチ
■印	閉路接線子
52X7	正逆転用リレー
52X8-1,2	M1~4用リレー

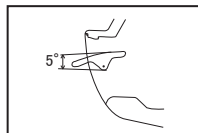
- 記事 1. ---- は現地配線を示します。
2. TB1は強電用端子台(電源線)、TB2は弱電用端子台(リモコン線、信号線)です。
3. 室内外接続線(信号線)及び室内ユニット間接続線(信号線)は、
- ・シールド線、太さ0.75mm²を使用する場合は1500mまで
 - ・シールド線、太さ1.25mm²を使用する場合は1000mまで
 - ・シールド線以外を使用する場合は、太さ2.0mm²とし、2000mまで
4. リモコン配線は0.3mm² X 2心を使用してください。
5. リモコン配線、信号線は電源線や他の動力線と並行配列しないでください。
6. 2点鎖線内(※1印)の回路は自動昇降(オプション)無しの場合配線されていません。
7. 2点鎖線内(※2印)の回路はドレンアップキット(オプション)無しの場合配線されていません。

4. 気 流 分 布

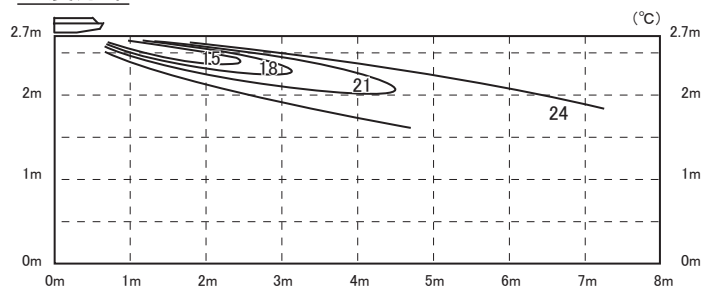
(1) FDEP364, 454, 564LXB

(a) 冷房 風量: **P** 急

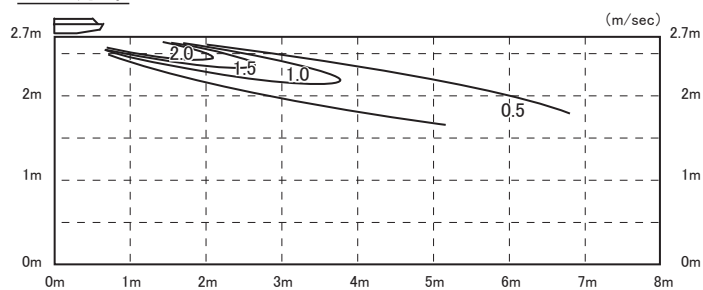
ルーバ位置



温度分布

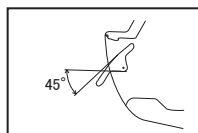


風速分布

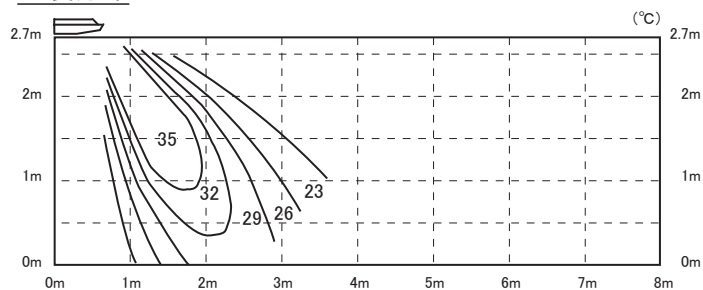


(b) 暖房 風量: **P** 急

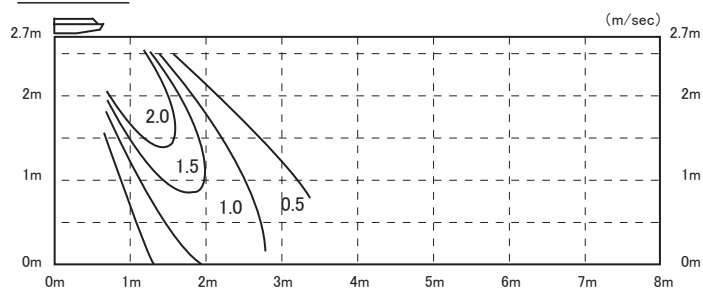
ルーバ位置



温度分布



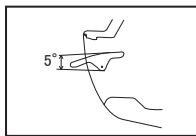
風速分布



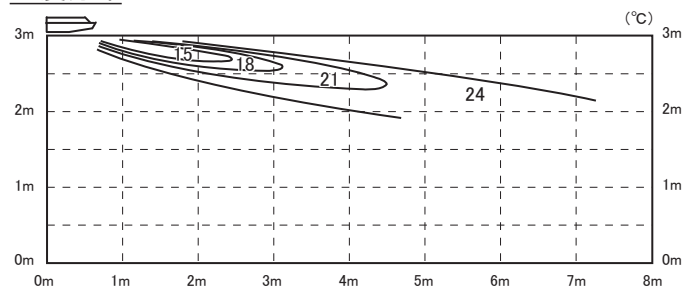
(2) FDEP714LXB

(a) 冷房 風量: **P** 急

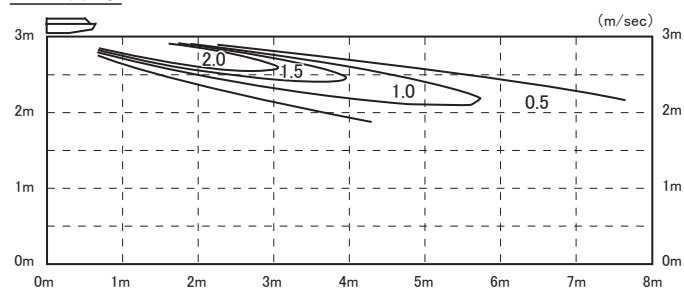
ルーバ位置



温度分布

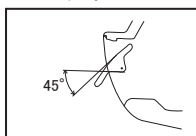


風速分布

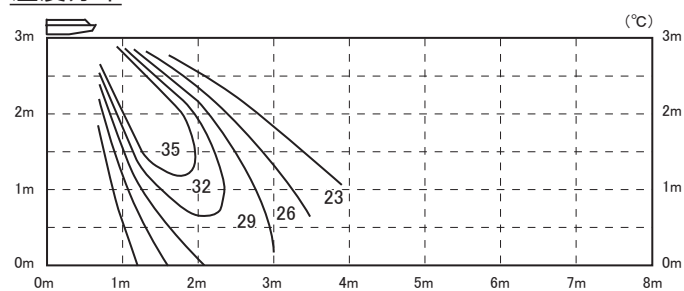


(b) 暖房 風量: **P** 急

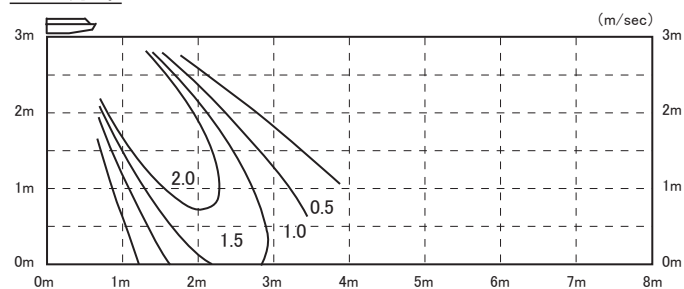
ルーバ位置



温度分布



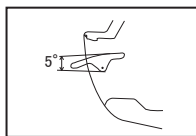
風速分布



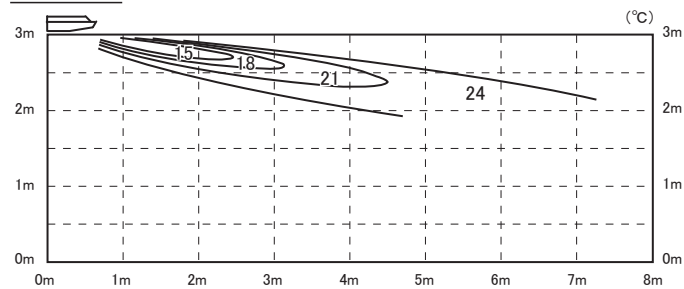
(3) FDEP804, 904LXB

(a) 冷房 風量: **P** 急

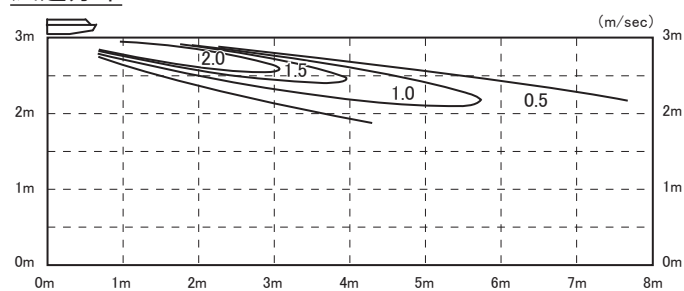
ルーバ位置



温度分布

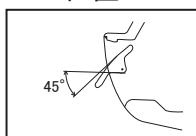


風速分布

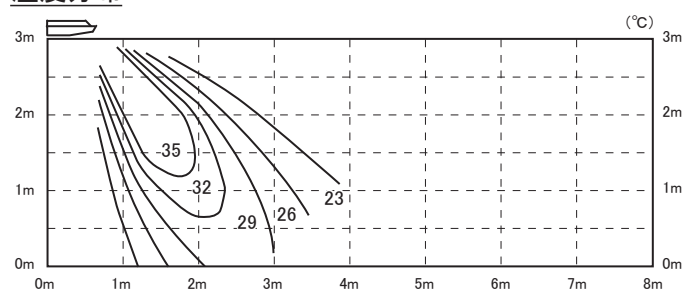


(b) 暖房 風量: **P** 急

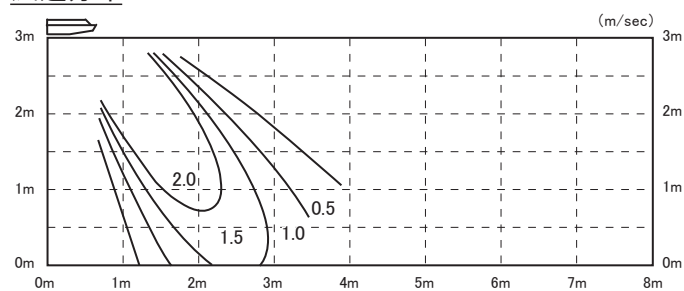
ルーバ位置



温度分布



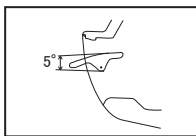
風速分布



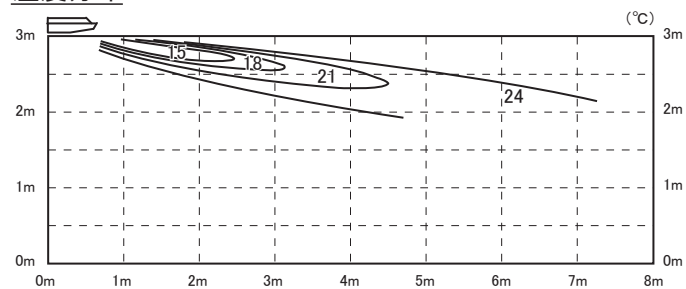
(4) FDEP1124LXB

(a) 冷房 風量: **P** 急

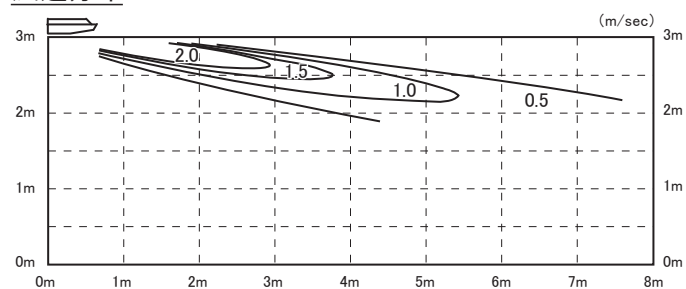
ルーバ位置



温度分布

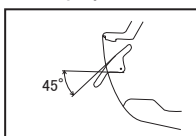


風速分布

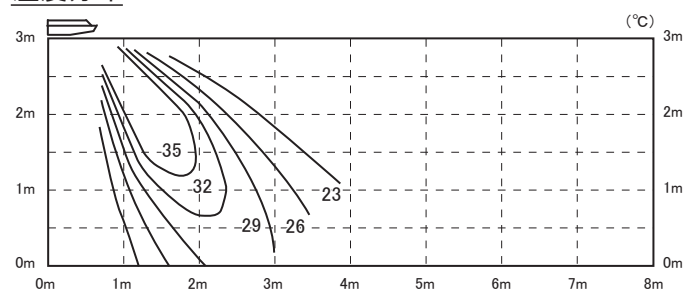


(b) 暖房 風量: **P** 急

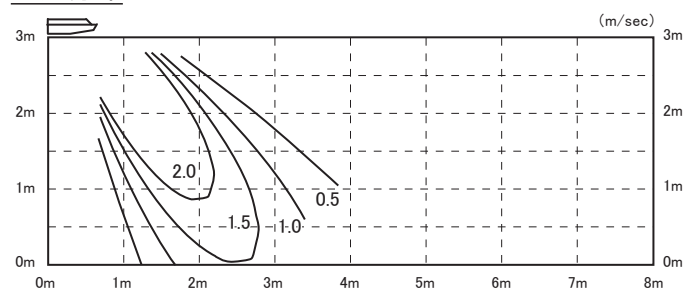
ルーバ位置



温度分布



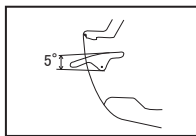
風速分布



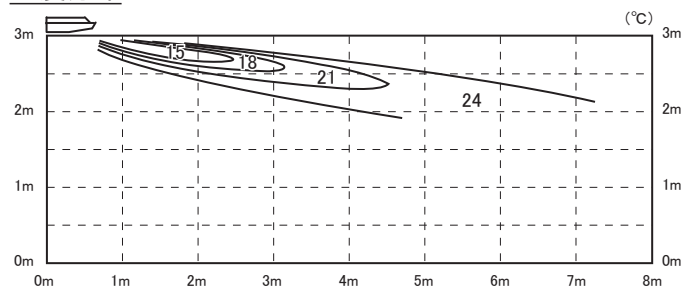
(5) FDEP1404LXB

(a) 冷房 風量: **P** 急

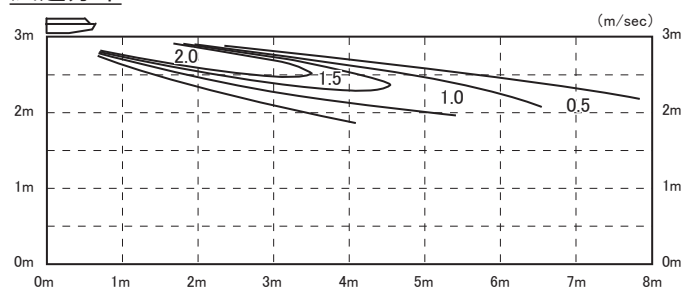
ルーバ位置



温度分布

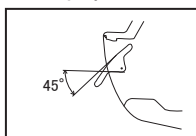


風速分布

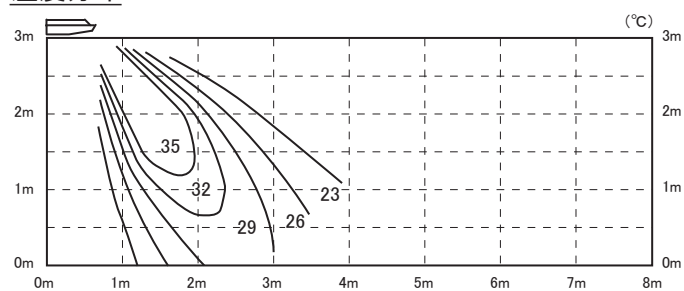


(b) 暖房 風量: **P** 急

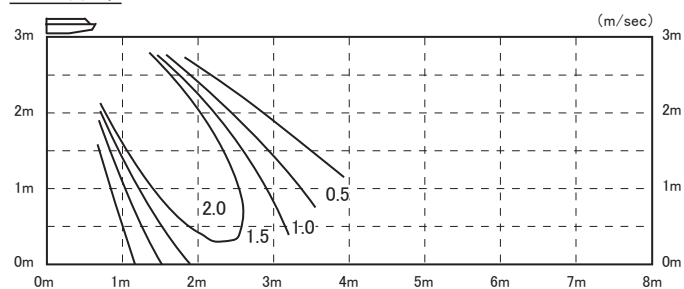
ルーバ位置



温度分布



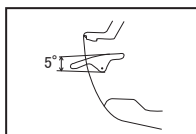
風速分布



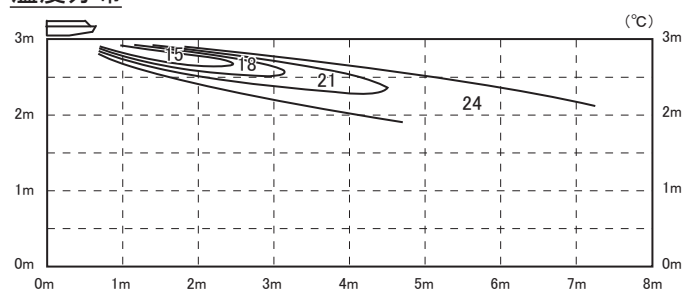
(6) FDEP1604LXB

(a) 冷房 風量: **P** 急

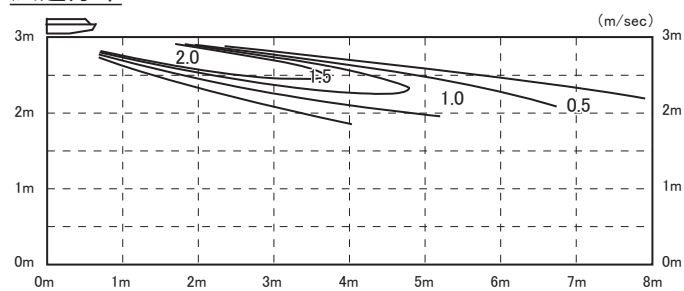
ルーバ位置



温度分布

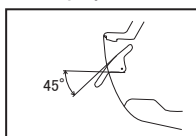


風速分布

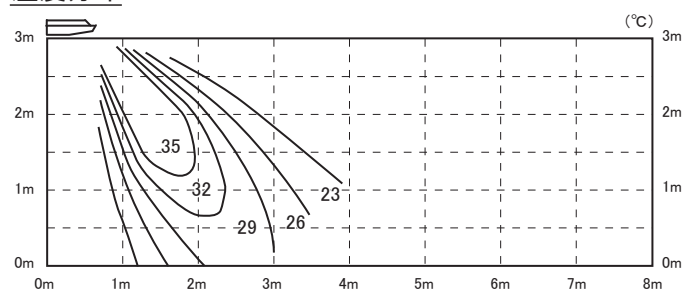


(b) 暖房 風量: **P** 急

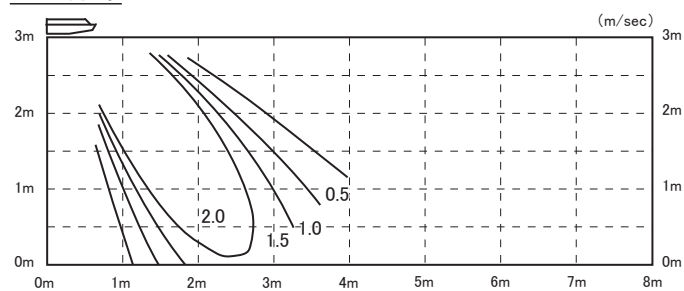
ルーバ位置



温度分布



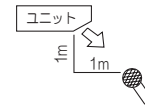
風速分布



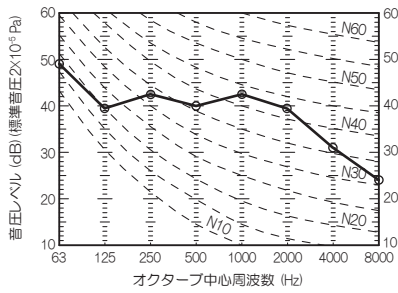
5. 運 転 音

運転音は、JIS規格に準拠し、反響の少ない無響室にて測定した値です。実際に据え付けた場合は、周囲の騒音や部屋の反響を受け表示値より大きくなるのが普通です。

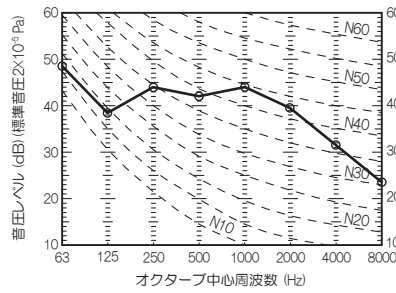
(測定条件：JIS B 8616・冷房 測定場所：無響室)
(マイク位置：ユニット前方 1m, 下方 1m)



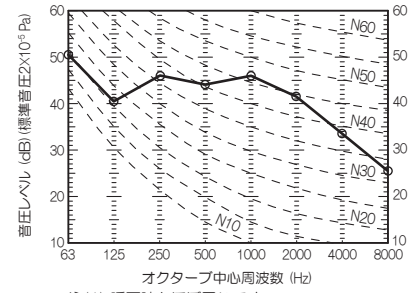
FDEP364, 454, 564LXB



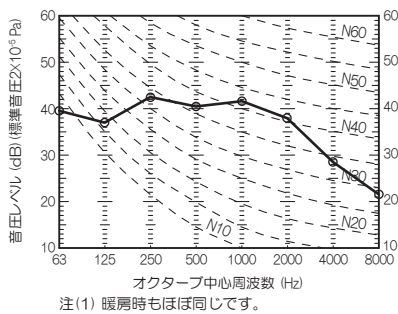
FDEP714LXB



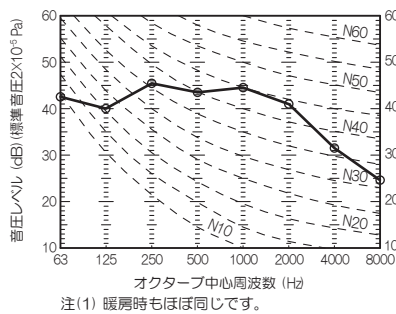
FDEP804, 904LXB



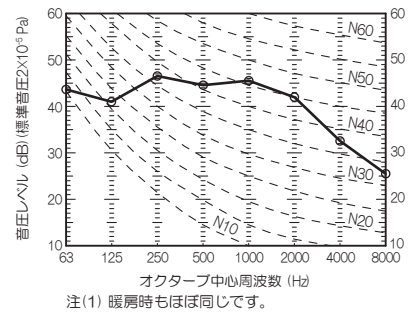
FDEP1124LXB



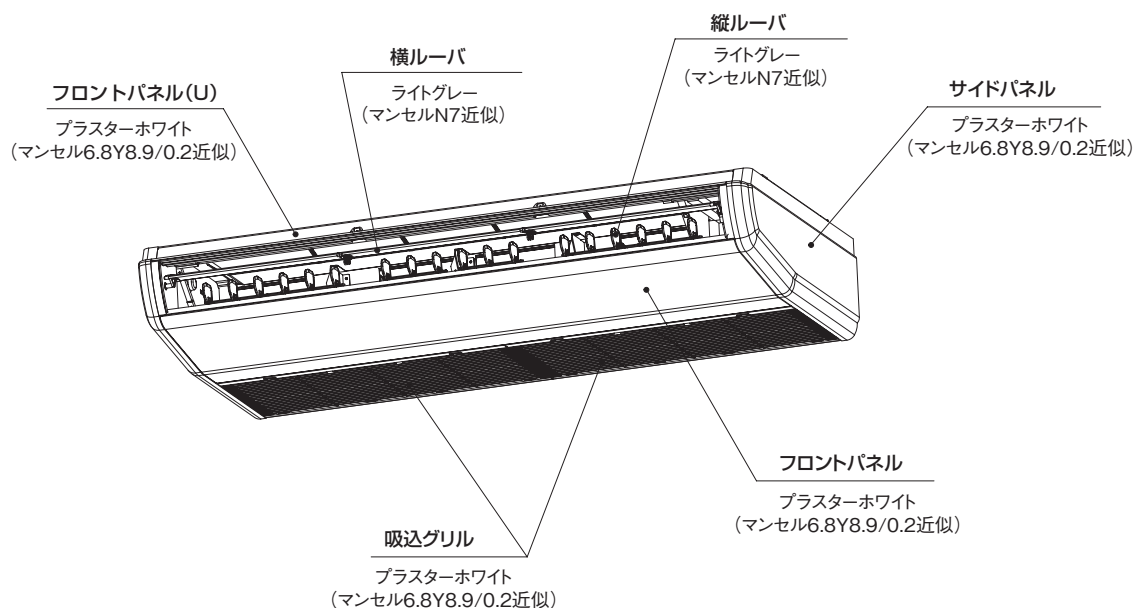
FDEP1404LXB



FDEP1604LXB



6. 塗装色

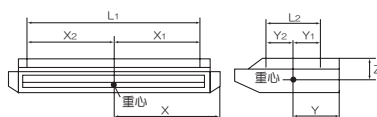


7. 防振設計用参考資料

(1) 耐震データ

形 式	製品外形寸法 (1) 幅×奥行×高さ (mm)	製品質量 (kg)	重心位置 (mm)(1)								
			幅方向				奥行方向				高さ Z
			X	X1	X2	L1	Y	Y1	Y2	L2	
FDEP364LXB	1070×690×210	28	530	506	516	1022	302	185	105	290	92
FDEP454LXB											
FDEP564LXB											
FDEP714LXB											
FDEP804LXB	1320×690×210	33	638	614	658	1272	302	185	105	290	93
FDEP904LXB											
FDEP1124LXB											
FDEP1404LXB	1620×690×250	43	814	790	782	1572	334	153	137	290	110
FDEP1604LXB											

注 (1) L1 (X1, X2), L2 (Y1, Y2) 寸法は据付ボルトの位置を示します。



(2) 防振データ

形 式	送風機回転数 (min ⁻¹)	形 式	送風機回転数 (min ⁻¹)
FDEP364LXB	1170	FDEP904LXB	1330
FDEP454LXB		FDEP1124LXB	1075
FDEP564LXB		FDEP1404LXB	1200
FDEP714LXB	1230	FDEP1604LXB	1250
FDEP804LXB	1330		

注 (1) P急運転時の数値を示します。

8. 据付関連事項

(1) 室内ユニット

PFA012D627B

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。

電気配線（室内）は、54ページをご覧ください。リモコンの取付方法は、27ページをご覧ください。

ワイヤレスキットの取付方法は、64ページをご覧ください。

安全上のご注意

- 据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、**【△警告】**、**【△注意】**に区分していますが、誤った据付けをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に**【△警告】**の欄にまとめて記載しています。しかし、**【△注意】**の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ここで使われる「図記号」の意味は右のとおりです。**【○】** 絶対に行わない **【!】** 必ず指示に従い行う
- 据付工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、「安全上のご注意」や正しい使用方法・お手入れの仕方（エアフィルタの清掃、運転操作の仕方、温度調節の方法等）をお客様に説明してください。この据付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に取扱説明書等をお渡しいただくよう依頼してください。

△警告

- | | |
|--|---|
| ●据え付けは、お買い上げの販売店又は専門業者に依頼する。
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、ユニット落下によるケガの原因になります。 | ! |
| ●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。
据付けに不備があると破裂・ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災等の原因になります。 | ! |
| ●小部屋に据付けの場合は万一冷媒が漏れても、限界濃度を超えない対策をする。(JRA GL-13)
限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据え付ける。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。 | ! |
| ●設置工事は必ず付属品および指定の部品を使用する。
当社指定の部品を使用しないと、ユニット落下、水漏れや、火災、感電等の原因になります。 | ! |
| ●作業中に冷媒が漏れた場合は換気をする。
冷媒が火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。 | ! |
| ●据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。
強度が不足している場合は、ユニットの落下等により、ケガの原因になります。 | ! |
| ●台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行う。
据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になることがあります。 | ! |
| ●エアコンの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒（R410A）以外の空気等を入れない。
空気などが混入すると冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガ等の原因になります。 | ○ |
| ●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。 | ! |
| ●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。 | ! |
| ●室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。
カバーの取り付けが不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。 | ! |
| ●据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する。
冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロ等の火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。 | ! |
| ●配管、フレアナット、工具はR410A専用のものを使用する。
既存（R22）の部材を使用すると、機器の故障と同時に冷凍サイクルの破裂などの重大な事故の原因になります。 | ! |
| ●フレアナットは、トルクレンチで指定の方法で締め付ける。
フレアナットの締め付け過ぎがあると、長期経過後フレアナットが割れ冷媒漏れの原因になります。 | ! |
| ●ドレン配管はイオウ系ガス等有毒ガスの発生する排水溝に直接入れない。
室内に有毒ガスが侵入し、中毒や酸素欠乏になる恐れがあります。また、室内機を腐食させ、故障や冷媒漏れの原因になります。 | ○ |
| ●据付作業では圧縮機を運転する前に確実に冷媒配管を取付ける。
冷媒配管を取り付けておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。 | ! |
| ●ポンプダウン作業では、サービスバルブを閉じた後配管を外す前に圧縮機を停止する。
圧縮機を運転したままサービスバルブ開放状態で冷媒配管をはずすと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、ケガなどの原因になります。 | ! |
| ●オプション部品は、必ず当社指定の部品を使用する。また取り付けは専門業者に依頼する。
ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。 | ! |
| ●改修は絶対にしないでください。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。
修理に不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。 | ○ |
| ●エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。
据え付けに不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。 | ! |
| ●室内機の修理・点検作業に際して「室内ユニット電源ブレーカ」を必ず落とす。
点検・修理にあたって、室内ユニット電源ブレーカがONのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。 | ! |
| ●パネルやガードを外した状態で運転しない。
機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。 | ○ |
| ●元電源を切った後に電気工事を行う。
感電、故障や動作不良の原因になることがあります。 | ! |

⚠注意

●アース（接地）を確実に行う。 アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。	⚡
●漏電遮断器は必ず取り付け。 漏電遮断器が取り付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。	!
●正しい容量の全極遮断するブレーカ（漏電遮断器・手元開閉器（開閉器＋B種ヒューズ）・配線遮断器）を使用する。 不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。	!
●正しい容量のヒューズ以外は使用しない。 針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。	⊘
●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わない。 万一ガスがユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。	⊘
●腐食性ガス（亜硫酸ガス等）、可燃性ガス（シンナー、ガソリン等）の発生、滞留の可能性のある場所、揮発性引火物を取扱う所での据付け、使用は行わない。 熱交の腐食、プラスチック部品の破損等の原因になることがあります。また可燃性ガスは発火の原因になることがあります。	⊘
●工事、点検、メンテナンス作業のための規定のスペースを確保してください。 スペースが不足する場合は、設置場所からの転落によるケガの原因になることがあります。	!
●洗濯室等、水の掛かる場所では使用しない。 室内ユニットは水の浸入に対する保護はしておりません。水が掛かると感電、火災等の原因になることがあります。	⊘
●食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない。 保存物の品質低下等の原因になることがあります。	⊘
●病院、通信事業所などの電磁波を発生する機器の近く、高周波の発生する機器の近くでは据え付け、使用しない。 インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤作動や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音等弊害の原因になることがあります。	⊘
●直射日光の当たる所にリモコンを設置しない。 リモコンの故障や変形の原因になることがあります。	⊘
●次の場所への据え付けは避ける。 ・可燃性ガスの漏れる恐れがある所 ・硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ・アンモニアなど、機器に影響する物質の発生する所 ・油の飛沫や蒸気が多い所（調理場、機械工場等） ・高周波を発生する機械を使用する所 ・海浜地区等塩分の多い所 ・性能を著しく低下させたり、部品が腐食、破損したりする原因になることがあります。	⊘
●次の場所への室内機の据付けは避ける。（機種により異なる制限があるので、その指示に従うこと）。 ・吸込口、吹出口に風の障害物がある所 ・強度が不十分で振動が発生する所 ・ワイヤレス機の場合、受光部に直接太陽光や強い光が当たる所 ・高周波に影響される機器のある所（TV およびラジオ等の近傍） ・ドレンの排水がとれない所 ・性能や機能等に影響をおよぼす原因になります。	⊘
●エアコンの下部には、濡れて困るものは置かない。 湿度が 80% 以上の時や、ドレン排水が詰まった場合に、室内ユニットから露が滴下し損害が生じる恐れがあります。	⊘
●長期使用で傷んだままの据付台を使用しない。 傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、ケガ等の原因になることがあります。	⊘
●ユニット近くで溶接作業を行う場合は十分注意し、ユニット内へのスパッタの進入を防止する。 溶接作業時に発生するスパッタがユニットにあたった場合、ドレンパン等に損傷（ピンホール）をあたえ、水漏れ等の原因になることがあります。ユニット内へのスパッタの進入を防ぐため梱包状態のままとしておくか、覆いなどにより必ずカバーをしてください。	!
●ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管する。 不確実な場合、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。	!
●冷媒配管工事終了後は窒素ガスによる気密試験を行い、漏れの無いことを確認してください。 万一、狭い部屋に冷媒ガスが漏洩して限界濃度を超過すると酸欠事故の原因となる場合があります。	!
●GHP（ガスヒートポンプ）の場合、室外ユニットの排気ドレン管と室内ユニットの排水ドレン管は共用しない。 室内に有毒ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になることがあります。	⊘
●ドレン配管は下り勾配（1/100 以上）とし、途中山越えやトラップを作らない。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けない。 試運転時に排水が確実に行われていることを確認する。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保する。	⊘
●冷媒配管の断熱は結露しないように確実にを行う。 不完全な断熱施工を行うと配管等表面が結露して、露たれ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になることがあります。	!
●室外ユニットは、小動物のすみかになるような場所に設置しない。 小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。 また、お客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。	⊘
●製品の運搬は充分注意して行う。 20kg 以上の製品は原則として 2 人以上で行ってください。PP バンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。素手でフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。	!
●梱包材の処理は確実にを行う。 梱包材にクギ等の金属あるいは、木片等を使用していますので放置状態にしますとケガをする恐れがあります。	!
●フィルターをはずしたまま運転しない。 内部に油・ゴミ等が詰まり、故障の原因になることがあります。	⊘
●濡れた手でスイッチを操作しない。 感電の原因になることがあります。	⊘
●運転中の冷媒配管を素手で触れない。 運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や、やけどになることがあります。	⊘
●エアコンを水洗いしない。 感電の原因になることがあります。	⊘
●運転停止後、すぐに電源を切らない。 必ず 5 分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。	⊘
●電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。 火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。	⊘

①据付のまえに

●据付はこの据付説明書に従って正しく行ってください。

●次の項目を確認してください。

○機種・電源仕様

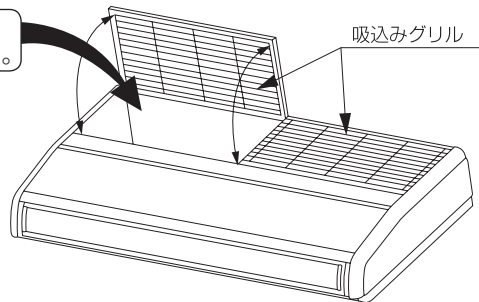
○配管・配線・小物部品

○付属品

付属品

本体吊り込み用		冷媒配管用			ドレン配管用					吸込みグリル用
平座金 (M10)	型紙	パイプカバー (大)	パイプカバー (小)	バンド	ドレンホース (クランプつき)	ホース クランプ	固定金具	ねじ	断熱材	ねじ
8 個	1 個	1 個	1 個	4 本	1 個	1 個	1 個	2 個	1 個	4 個
ユニット 吊下げ用	ユニット 吊込み調整用	ガス管 断熱用	液管 断熱用	パイプカバー 固定用	ドレン配管 接続用	ドレンホース 取付用	ドレンホース 固定用	固定金具 取付用	ドレンホース 断熱用	グリル 固定用

付属品はここに
収納されています。



②室内ユニットの据付場所の選定

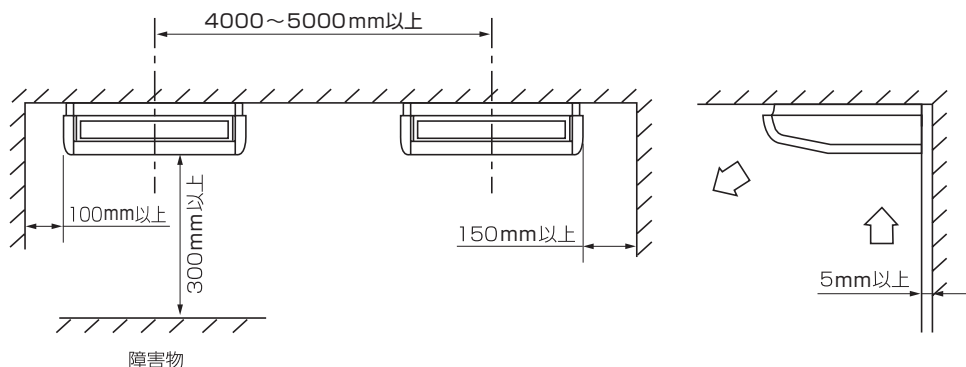
①据付場所は、下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。

- ・冷風または温風が十分に行きわたる所。据付高さが 3 m を超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をご指導ください。
- ・据付・サービス時の作業スペースが確保できる所。
- ・ドレン排水が確実にできる所。ドレン勾配のとれる所。
- ・吸込口、吹出口に風の障害のない所。火災報知器の誤作動しない所。ショートサーキットしない所。
- ・侵入外気の影響のない所。
- ・直射日光の当たらない所。
- ・周囲の露点温度が 23℃ 以下、相対湿度 80% 以下の所。
本ユニットは JIS 露付条件にて試験を行い、不具合のないことを確認しておりますが、ユニット周囲が上記条件以上の高湿度・曇り気の状態が運転すると水滴が落下する恐れがあります。天井埋込で据付ける際は、ユニット天面に断熱材を貼り付ける等、結露に対する配慮をしてください。
- ・テレビ、ラジオより 1m 以上離れた所。(映像の乱れや雑音が生じることがあります。)
- ・ユニット真下に食品・食器やパソコン・サーバー、医療機器等濡れて困るものを置かない所。
- ・調理器具が発する熱の影響を受けない所。
- ・フライヤーの真上など油・粉・蒸気等を直接 吸込まない所。

②据付けようとする場所がユニット重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら板、桁等で補強して据付作業を行ってください。強度不足の場合は、ユニット落下により、ケガの原因になります。

③室内ユニットを隣接して設置する場合は、ユニット間距離を 4 ～ 5 m 以上離して設置してください。

室内ユニット据付スペース

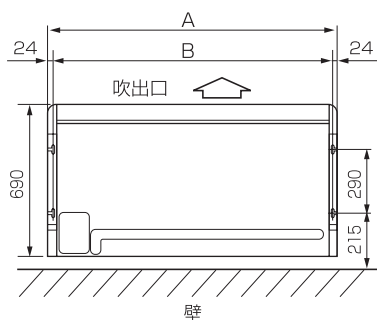


③ 据付け前の準備

- 吊りボルト長さが長くなる場合は耐震補強を実施してください。
- システム天井（グリッド天井・ライン天井）の場合
吊り長さ（吊りボルト長さ）500mm以上又は天井ふところ高さ700mm以上の場合に耐震ブレースを設置する。
- 強度が充分にある天井面に設置され直接スラブから吊り下げる場合
吊り長さ（吊りボルト長さ）1000mm以上の場合に耐震ブレースを設置する。
- 吊りボルト・ナット・バネ座金（M10）を4組現地にて手配してください。

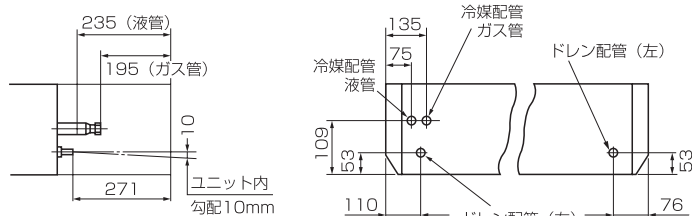
天井開口穴・吊りボルトピッチ・各配管の位置

天井開口穴・吊りボルトピッチ

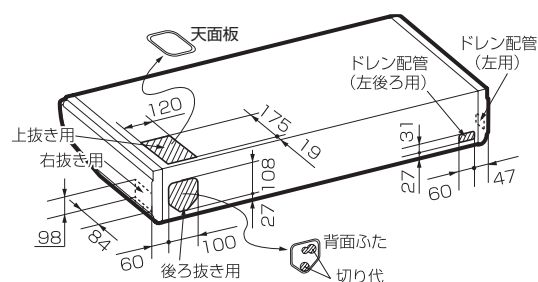


店舗	40～56形	63～80形	112～160形
ビル空調	36～56形	71～90形	112～160形
ガスヒートポンプ			
A	1070	1320	1620
B	1022	1272	1572

冷媒配管位置



配管取り出し位置



※配管取り出しは3方向（後ろ・右・上）より行えます。

- ・穴はニップ等により切り落としてください。
- ・背面ふたは切り代にしたがって配管取り出し穴を切り抜いてください。
- ・上取り出しの場合は、天面板を取り外してください。
- ・右取り出しの場合は、サイドパネル内側の溝に沿って切り抜いてください。
- ・配管・配線の据付後、埃などが浸入しないよう、隙間をパテなどで塞いでください。

ユニット内への埃の浸入およびエッジ部での配線損傷防止のため、背面・天面ふたは、必ず取り付けてください。右取り出しの場合、切り抜き部は、バリ等取り除いてください。

ユニットの搬入、据付

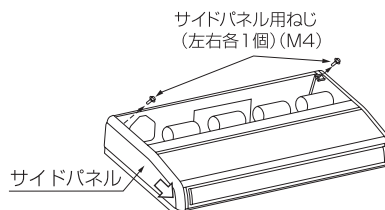
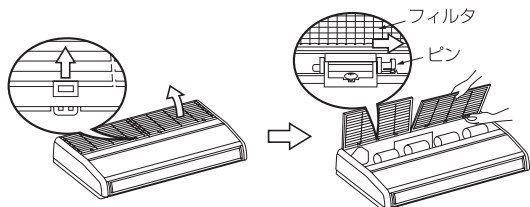
- 搬入時はできるだけ据付現場の近くまで梱包のまま搬入してください。
- 開梱して搬入する場合は、ナイロンスリングなどで包み、ユニットを傷つけないよう注意してください。
※サイドパネル、吹出ルーバ等、プラスチック部分を持たないでください。
- 開梱後ユニットをおく場合は、必ず吸込みグリル側を上にして置いてください。



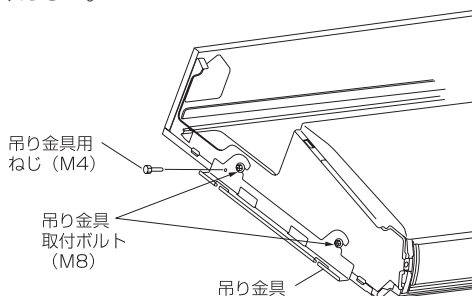
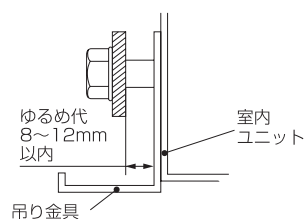
吊り込み前の準備

1. 吸込みグリルの取り外し
ストッパーをスライドさせ、ピンを抜いてください。

- ## 2. サイドパネルの取り外し
- ねじを外し、矢印方向にスライドさせてください。



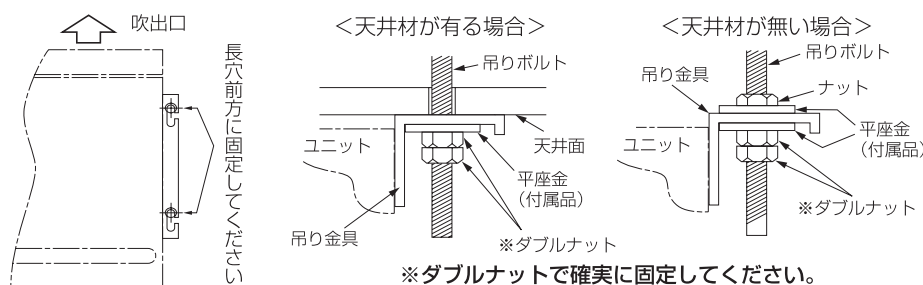
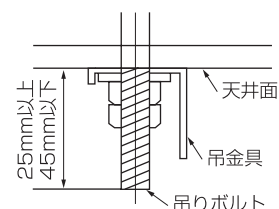
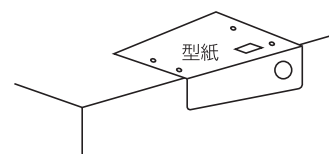
- ### 3. 吊り金具の取り外し
- ねじを外し、取付ボルトをゆるめてください。



④室内ユニットの据付け

作業手順

1. 吊りボルト位置、配管位置を選定してください。
(1) 付属の型紙を目安にして、吊りボルト位置、配管穴位置を選定し、
吊りボルトと配管用の穴あけを行ってください。
※注意：位置決定は、実測により行ってください。
(2) 位置決定後、型紙は取り外してください。
2. 所定の位置に吊りボルトを設置してください。
3. 吊りボルトは4本使用し、1本当たり500Nの引抜き荷重に耐えられるよう固定してください。
4. 吊りボルト長さは右図の寸法を厳守ください。
5. 吊り金具を吊りボルトに固定してください。

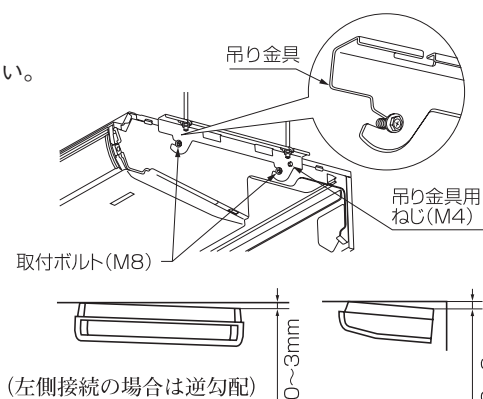


6. ユニートを金具に据付けてください。(右図参照)
(1) 吊り金具前方より、ユニットをスライドさせ、ボルトを引っかけてください。
(2) 取付ボルト (M8) を左右4箇所確実に締め付けてください。
(3) ねじ (M4) を左右2箇所締め付けてください。

⚠警告：サイドパネルは前から後方へ向け引っかけた後、本体に確実にねじ止めしてください。
ねじ止めされない場合、本体が落下し、ケガの原因になります。

※ドレン水を流れやすくするためにユニットを排水側に下り勾配を設け、据付けてください。

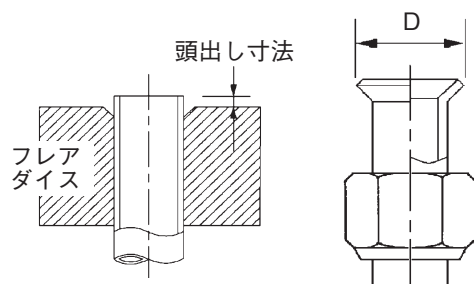
⚠注意：逆勾配にすると水が漏れる恐れがあります。



⑤冷媒配管

冷媒配管時の注意事項

- 冷媒配管は、新規配管をご使用ください。フレアナットは、製品付属のもの又は JIS B 8607 2種適合品をご使用ください。既設配管再利用の可否及び洗浄方法については、室外ユニットの説明書又はカタログ・技術資料で確認すること。
- 1) 再利用する場合、フレアナットは流用せずユニットに付属のもの又は JIS B 8607 2種適合品を使用すること。
- 2) 再利用する場合、部分的に交換した新しい配管に、R410A 用のフレア加工をしてください。



配管径 d mm	配管の 最小肉厚 mm	フレア加工 頭出し寸法 mm		フレア外径 D mm	フレアーナット 締め付けトルク N・m
		リジッド（クラッチ式）			
		R410A 用	従来ツール		
6.35	0.8	0 ～ 0.5	0.7 ～ 1.3	8.9 ～ 9.1	14 ～ 18
9.52	0.8			12.8 ～ 13.2	34 ～ 42
12.7	0.8			16.2 ～ 16.6	49 ～ 61
15.88	1			19.3 ～ 19.7	68 ～ 82
19.05	1.2			23.6 ～ 24.0	100 ～ 120

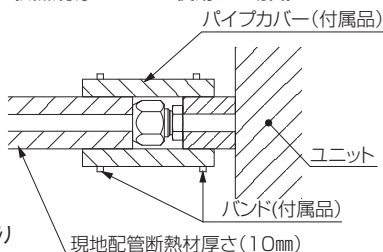
⑤冷媒配管の続き

- 冷媒配管は、リン脱酸銅合金継目無銅管（C1220T、JIS H 3300）をご使用ください。
また管の内外面は美麗であり、使用上有害な硫黄、酸化物、ゴミ、切粉等（コンタミ）の付着がないことを確認してください。
冷媒配管の内部にコンタミの付着があると冷凍機油劣化などの原因になります。
- R410A以外の冷媒は使用しないでください。
R410A以外（R22など）の冷媒を使用すると、冷凍機油劣化などの原因になります。また空気などが混入すると、異常高圧になり、破裂などの原因になります。
- 据付けに使用する配管は屋内に保管し、両端ともろう付する直前までシールしてください。
冷媒回路内に埃、ゴミ、水分が混入すると、油の劣化・圧縮機の故障の原因になります。
- 工具はR410A専用ツールを使用してください。

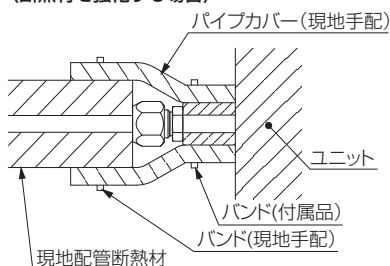
作業手順

1. 室内ユニットのフレアナット及びキャップを取外す。
※ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで2丁掛けして外してください。
（このときガスが出ることがありますが、異常ではありません。）
●フレアナット飛びに注意してください。（内部に圧力がかかっている場合があります。）
2. 液管・ガス管をフレア加工し、冷媒配管を接続する。
・後ろ・上取り出しの場合は、配管は⑦の電気配線と一緒に、付属のふたを通して取り付けてください。
・埃などが浸入しないよう、隙間をパテなどで塞いでください。
※配管の曲げは4D以上の大きな半径で行い、曲げなおしを行わないでください。
また配管をねじったり、2/3D以下につぶしたりしないでください。
※フレア接続は、以下のように行ってください。
・ユニットの配管端部のフレアナットは、必ずスパナで2丁掛けして外してください。
・フレアナット接続時は、フレア中心を合わせ、最初手回しで3～4回転ねじ込み、2丁スパナ掛けで左表の締付力で締めてください。
3. 室内ユニットのフレア部はガス漏れチェック後、右図に示すように断熱材をかぶせ、バンドでしっかりと締め付けてください。
●ガス側配管・液側配管ともに断熱は完全に行ってください。
※配管は断熱しないと結露し水漏れします。
●ガス側配管の断熱材は耐熱120℃以上のものを使用してください。
●高湿度雰囲気で使用する場合は設置環境に合わせて、冷媒配管の断熱を強化してください。
強化しない場合は断熱材表面に結露することがあります。
4. 冷媒は室外ユニットに充填されています。
室内および接続配管分の冷媒追加量については室外ユニットに付属の説明書をご覧ください。

〈断熱材厚さ10mmを使用する場合〉

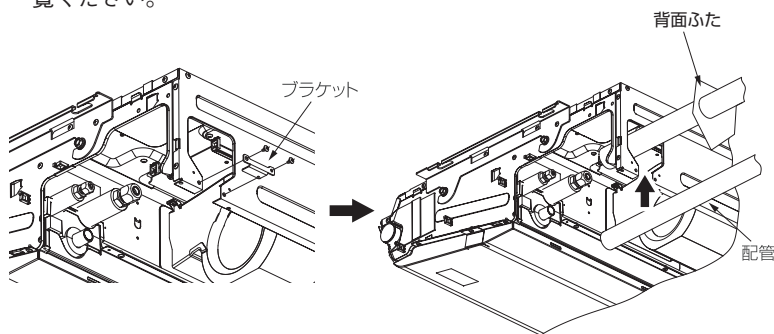


〈断熱材を強化する場合〉



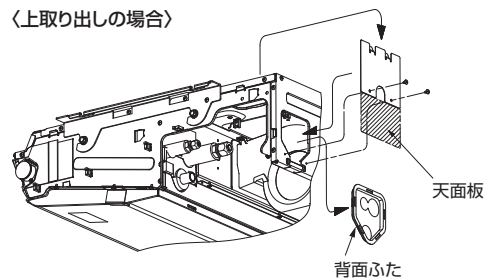
注意

同一締付けトルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が下がることにより、軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、ユニオンねじ部、又はフレア外面への冷凍機油塗布は推奨しない。
冷凍機油を塗布する場合は、フレア内面へのみとすること。



配管取り出しは、後、右、上の3方向より行えます。
後ろ配管の場合、ブラケットを取り外すと作業が容易になります。
※配管作業終了後、ブラケットを元通り取り付けてください。

〈上取り出しの場合〉



1. 天面板を取り外してください。
2. 天面板の斜線部をカットしてください。
3. 天面板を背面ふたとして取り付けてください。

⑥ドレン配管

- ドレン配管の取出方向は、後向き、右向き、左向きがあります。

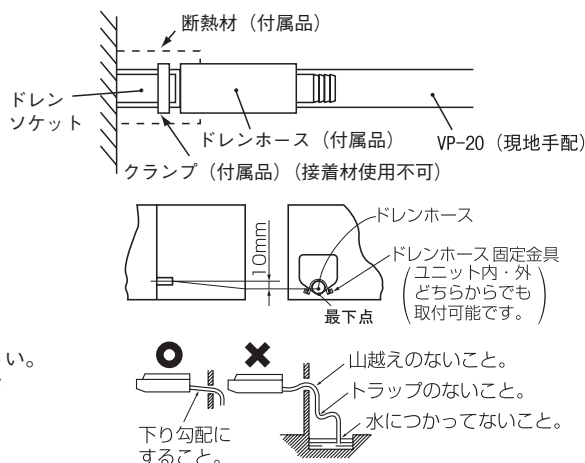
ドレン配管時の注意事項

- ドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管してください。
不確実な場合、屋内に浸水し、家財等を濡らす原因になることがあります。
- ドレン配管はイオウ系ガス等有害ガス及び可燃性ガスが発生する排水溝には、入れないでください。
室内に有害ガス及び可燃性ガスが流入し、中毒や酸素欠乏になる恐れがあります。また熱交換器の腐食、異臭の原因になります。
- 接続部から水漏れのないように確実に施工してください。
- 水漏れが起こらないように、断熱工事を確実に行ってください。
- 施工後、ドレンが排水されていることを、ユニットドレン口及びドレン配管最終出口部で確認してください。
- ドレン配管は下り勾配（1/100以上）とし、途中山越えやトラップを作らない。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けない。
試運転時に排水が確実に行われていることを確認する。また、点検・メンテナンス作業のためのスペースを確保する。

⑥ ドレン配管の続き

作業手順

1. 付属のドレンホースを本体ドレンソケットの根元まで差し込み、付属のクランプで確実に締付けてください。(接着剤使用不可)
※ドレン配管を左側に行う場合、本体の左側配管接続口に付いているゴム栓と断熱材(筒状)を右側接続口に付け替えてください。
△注意：ドレンプラグを外す時には、水の飛び出しに注意してください。
2. ドレンホースを付属の金具で最下点にて固定してください。
※ドレンホースはたるまないように固定し、右図のように10mmの勾配をつけてください。
●電気配線がドレンホースの下に入り込まないようにしてください。
△注意：ドレンホースは必ず金具で固定してください。
ドレン水がオーバーフローする恐れがあります。
3. ドレンホースにVP-20(現地手配)を接続してください。
(接着剤使用不可)
※ドレン管は、市販の硬質塩ビパイプ一般VP-20を使用してください。
4. ドレン配管は下り勾配(1/100以上)とし、途中山越えやトラップを作らないように施工してください。
●エア抜きは絶対に設けないでください。
5. ドレン配管の断熱施工を行ってください。
●ドレンホースクランプは付属の断熱材を使用して断熱してください。
●高湿度の環境で使用する等、ドレン配管に結露する恐れがある場合は、ドレン配管に断熱材を追加する等結露に対する配慮をしてください。

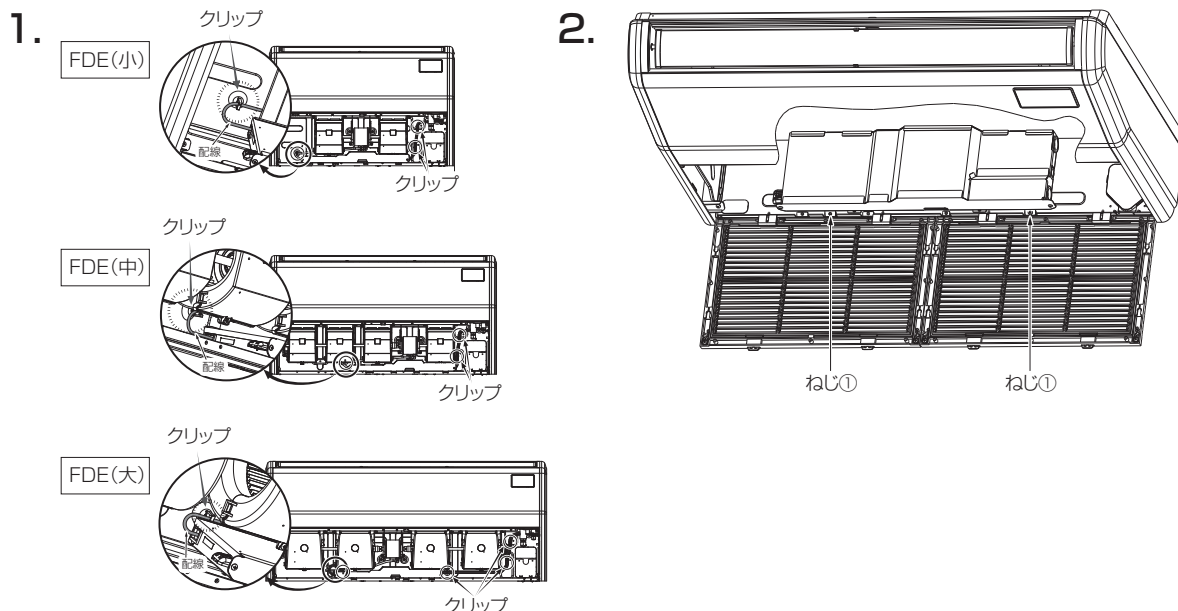


ドレン排水テスト

- ドレン配管工事の完了後に、排水が確実に行われていることと、水漏れのないことを確認してください。
- 暖房期の据付の際にも必ず実施してください。

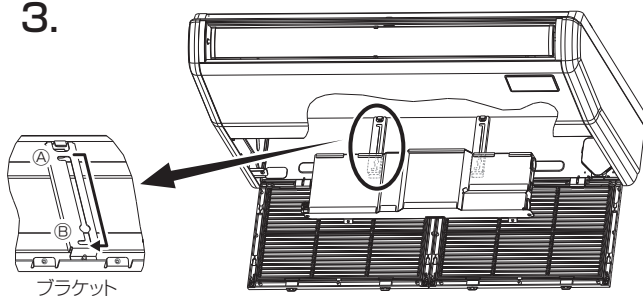
⑦ 電気配線取出し位置および電気配線接続

- 電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」及び電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
 - 配線は、所定のケーブルを使用して接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
 - D種設置工事を必ず行ってください。
 - 電気配線工事の詳細は、付属の電気配線工事説明書をご覧ください。
1. 配線をクリップから外してください。
 2. 制御箱(ねじ①2本)を取外してください。
 3. 制御箱をブラケットの溝に沿ってスライドさせ引き出してください。(A→Bの方向)
 4. 制御箱のふた(ねじ②2本)を取外してください。
 5. 各配線をユニット内に入れ、端子台に接続してください。
 6. 各配線を電源線クランプで固定してください。
 7. 制御箱のふた(ねじ②2本)を取付けてください。
 8. 制御箱をブラケットの溝に沿ってスライドさせ(B→Aの方向)、制御箱を元の位置へ戻してください。
 9. 取外した部品を元通りに取付けてください。
- ※1 工場出荷時、端子台X、Y(現地接続側)には、ワイヤレスキット(オプション)受信部用配線が接続されています。
ワイヤードリモコン接続時は外す必要はありません。
ワイヤード/ワイヤレスを併用する場合はリモコンの親子設定が必要となります。

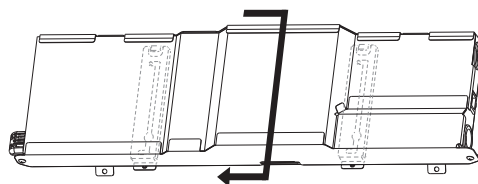


⑦電気配線取出し位置および電気配線接続の続き

3.

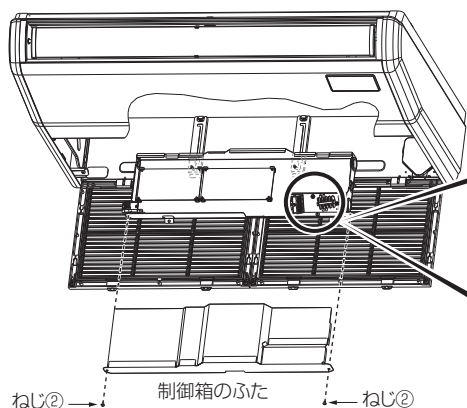


制御箱のスライド方法



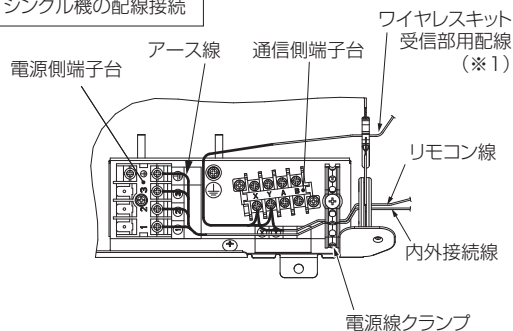
※制御箱を引き出す前に配線をクリップから外してください。

4.

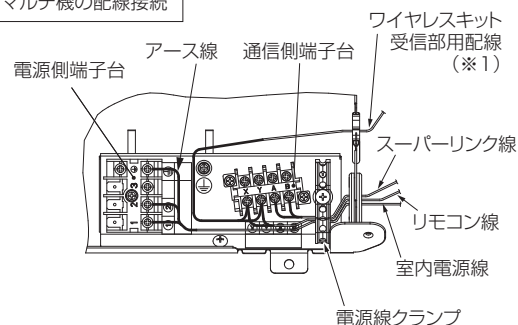


5・6.

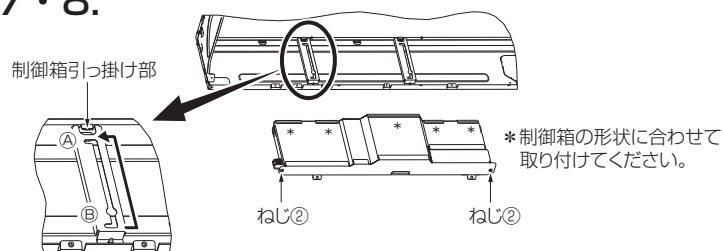
シングル機の配線接続



マルチ機の配線接続



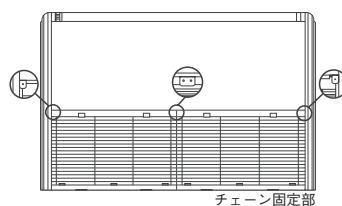
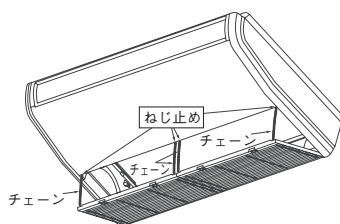
7・8.



⑧吸込みグリルの固定

●電気配線工事完了後、吸込みグリルを固定してください。

1. 吸込みグリルに固定されているチェーンを、付属のねじで室内ユニット本体に取付け、吸込みグリルを閉じてください。



チェーン固定部

⑨ユニット据付工事完了後のチェック項目

●ユニット・パネル据付工事、電気配線工事完了後、下記項目についてチェック願います。

チェック項目	不良だと…	チェック欄
室内外ユニットの取付けはしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
ガス漏れ検査は行いましたか。	冷えない	
断熱は完全に行いましたか。	水漏れ	
ドレン排水はスムーズに流れていますか。	水漏れ	
電源電圧は本体の銘板と同じですか。	運転不能・焼損	
誤配線・誤配管はありませんか。	運転不能・焼損	
アース工事はされていますか。	漏電時危険	
配線の太さは仕様どおりですか。	運転不能・焼損	
室内外ユニットの吸込・吹出口が障害物でふさがれていませんか。	冷えない	

(2) ワイヤードリモコン

(a) RC-DX2

この据付説明書は、リモコン関連の据付方法・注意事項を記載しております。
室内ユニット・室外ユニット・他に付属の説明書と合わせてご覧ください。
正しく工事していただくために、工事前に、必ずこの説明書をよくお読みください。

PJZ012D088 



1. 安全上のご注意

●工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく据付工事をしてください。

いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ **警告** 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。

⚠ **注意** 誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性のあるもの。

状況によっては重大な結果に結びつく可能性があるもの。

●本文中に使われる「絵表示」の意味は次の通りです。

 絶対にしないでください。  必ず指示どおりに行ってください。

●お使いになる方は、この取扱説明書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事される方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

⚠ 警告

●据付工事説明書に従って、専門業者が据付工事を行うこと。
施行不備があると感電、火災、故障の原因になります。



●元電源を切った後に電気工事をする。
感電、故障や動作不良の原因になります。



●特殊環境、可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところへは設置禁止。
油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用すると、著しい性能の低下・腐食による感電、火災、故障の原因になります。



●大量の水蒸気が発生するところ・結露するところには据付禁止
感電、火災、故障の原因になります。



●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。



●リモコンケーブル引込口をパテでシールすること。
露・水・虫などが浸入すると感電、火災、故障の原因になります。



●病院・通信事業所などに据付けする場合、ノイズに対する備えを行うこと。
インバーター機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響により、誤作動や故障の原因になります。
リモコン側から医療機器・通信機器への影響により、医療行為の妨げ・映像放送の乱れや雑音の弊害が生じる原因になります。



⚠ 注意

●リモコンを下記場所に設置しない。
リモコンの故障や変形の原因になることがあります。
(1) 直射日光の当たる場所
(2) 発熱器具の近く
(3) 取付面に凹凸がある所



●リモコンの上ケースを取り外したまま放置しない。
上ケースを取り外した場合は、内蔵の基板にゴミや水分等が付着しないように、梱包箱或いは梱包袋に入れて保護してください。



2. 部品確認

付属品	リモコン本体、木ねじ（φ 3.5 × 16）2 本 取扱説明書・据付工事説明書
-----	--

現地手配部品

品 名	所要量	記 事
スイッチボックス 1 個用 又は 2 個用 (JIS C 8340)	1	壁面に直接据付ける場合は 不要です。
薄鋼電線管 (JIS C 8305)	必要量	
ロックナット・ブッシング (JIS C 8330)	必要量	
モール (JIS C 8425)	必要量	リモコンケーブルを壁面に 這わす場合に必要です。
パテ	適量	隙間シール用
モリーアンカー	必要量	
リモコンケーブル (0.3mm ² × 2 心)	必要量	100m を超える場合は右表

延長距離が 100m を超える場合リモコンケース内を通る配線は最大 0.5mm² 以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズ変更してください。配線する際は水分等が浸入しない様な処置をおこなってください。

200m 以内	$0.5\text{mm}^2 \times 2$ 心
300m 以内	$0.75\text{mm}^2 \times 2$ 心
400m 以内	$1.25\text{mm}^2 \times 2$ 心
600m 以内	$2.0\text{mm}^2 \times 2$ 心

3. 据付場所

据付方式 「スイッチボックスを使用」

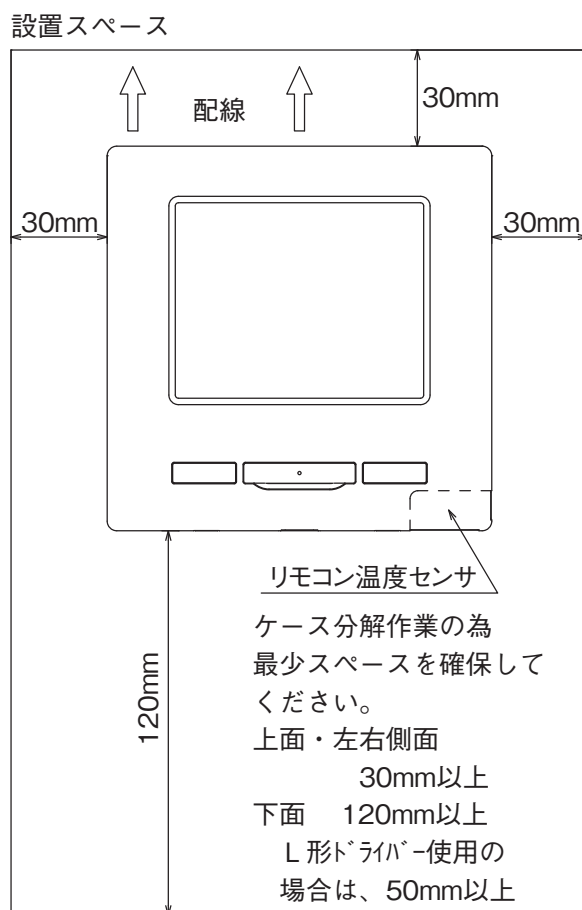
「壁面に直接据付」

配線方向「背面」

「上面中央」「上面左」

据付場所選定の注意事項

- (1) 据付面が平らで強度を有すること。
リモコンケースが変形しないこと。
- (2) リモコンが正確な室内温度を検知できる所
モコンの温度センサーを使用して室内温度を検知する
場合は、必ず守ってください。
 - ・リモコンは、部屋の平均的な温度を検知できる場所
に設置してください。
 - ・リモコンは、熱源の影響を受けない場所に設置して
ください。
 - ・リモコンは、ドアの開閉による室外空気の影響を受
けない場所に設置してください。直射日光やエアコンから吹き出した風が直接あたる場
所壁面温度と室内空気温度の差がでない場所
- (3) ラクリーナパネルを採用される場合は、グリルの昇降が
確認しやすい場所。



お願い

リモコン設置壁面付近の温度と実際の室温と差が大きい場所に据付ないでください。
検知した室温と実際の室温に差がでることトラブルの原因になります。
リモコンの検知温度補正は、検知温度全体を補正するため差を解消することはできません。



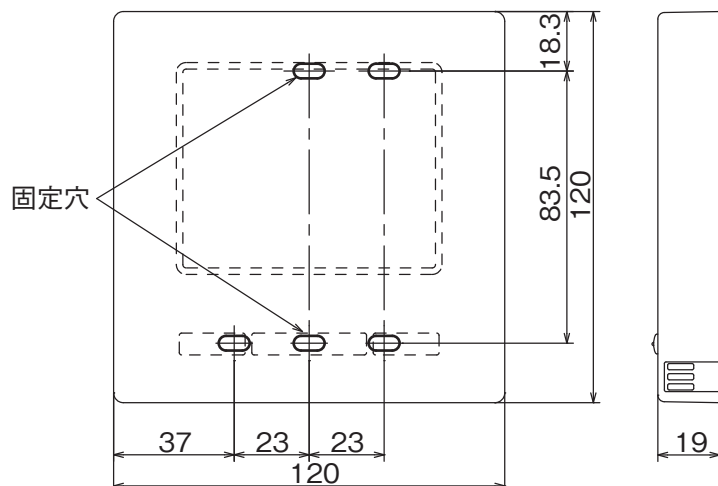
お願い

直射日光のあたる場所、周囲温度が 40℃以上・0℃以下になる場所にリモコンを据付けないこと。
日焼け・変形・誤作動・故障の原因になります。

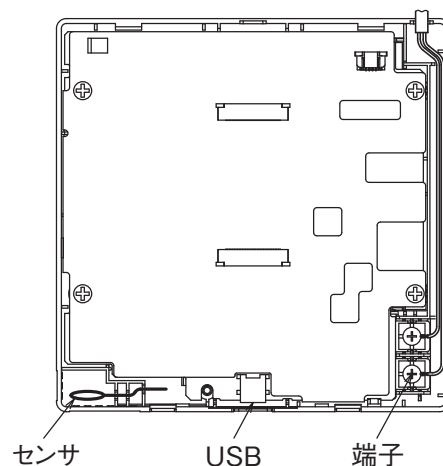


4. 据付・配線工事

正面から見た取り付け寸法図



裏面から見た基板面



① リモコンの上下ケースの分離

- ・リモコン下面の凹部にマイナスドライバ等を挿し込んで軽くねじって外してください。

取り外した上ケースは、水分・ゴミが付かない様に注意してください。



② リモコン端子X、Yと室内ユニットの端子X、Yを接続してください。

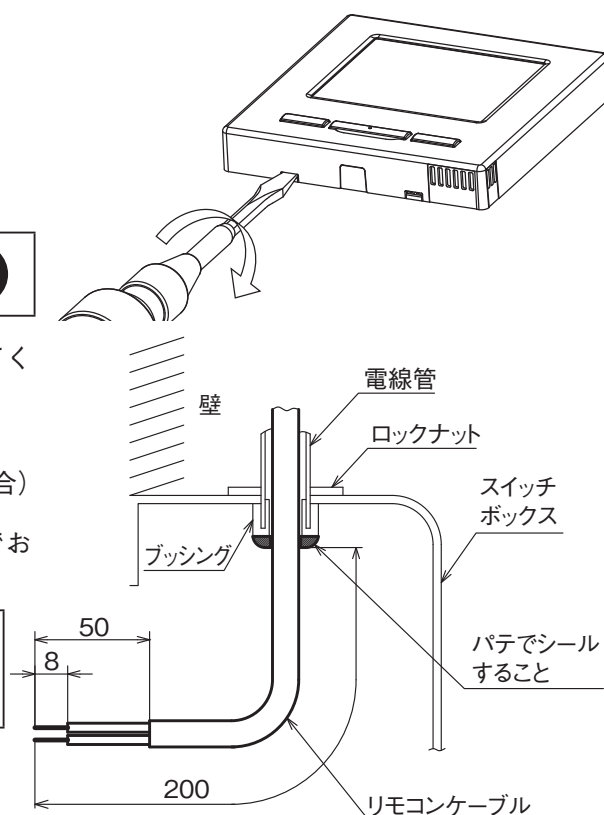
配線X、Yの極性はありません。

スイッチボックスを使用する場合 (配線方向「背面」の場合)

③ スwitchボックスとリモコンコードをあらかじめ埋め込んでおきます。

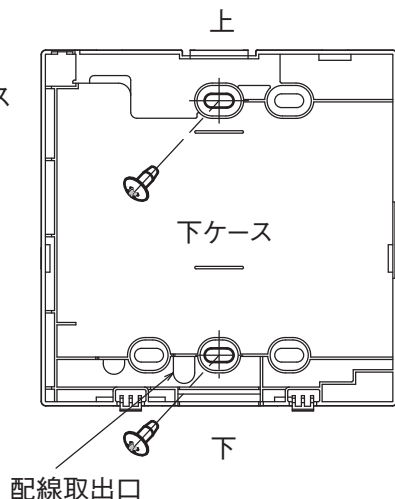
リモコンケーブル引込口をパテでシールすること。

- 露・虫などが浸入すると、感電・火災・故障の原因になります。

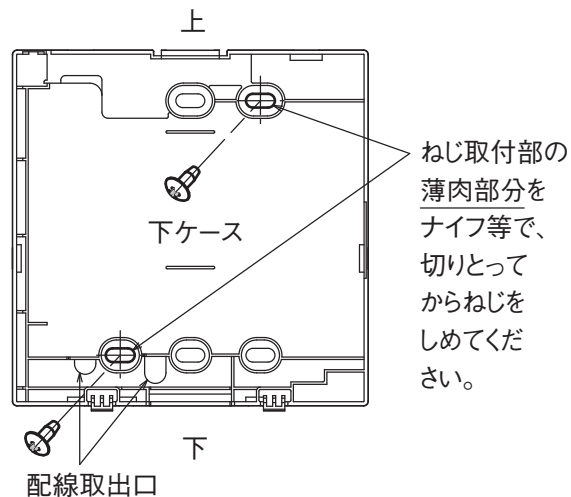


④ 下ケースに配線を通した後、スイッチボックスに2箇所固定してください。

1個用
スイッチボックス
の場合



2個用
スイッチボックス
の場合



4. 据付・配線工事 (つづき)

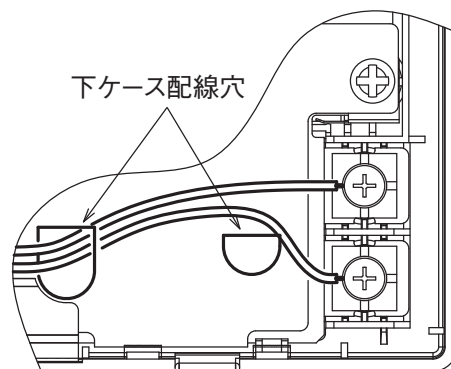
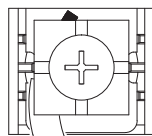
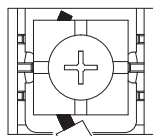
- ⑤斜め2箇所で固定の場合は、ケース薄肉部をきり欠いてください。
- ⑥リモコン上ケース端子ねじを巻く様に配線を固定してください。
- ⑦リモコン配線が噛みこまないように、上ケースを取付けてください。

配線接続時のご注意

リモコンケース内を通る配線は 0.5 mm^2 以下とし、シースをかみこまない様に接続してください。

配線接続は、手締め ($0.7\text{ N} \cdot \text{m}$ 以下) で行ってください。

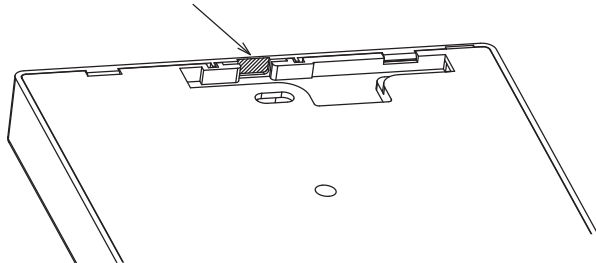
電動ドライバーを使用すると、故障や変形の原因になることがあります。



スイッチボックスを使用しない場合 (配線取出 「上面中央」「上面左」の場合)

- ③ケース薄肉部を配線太さに合わせ切欠いてください。

上面中央の場合



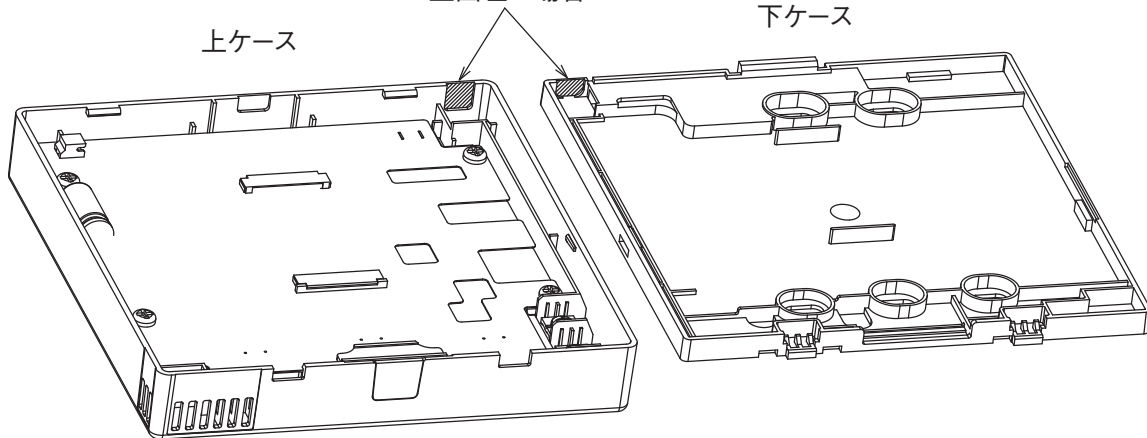
上面中央の場合は、上下ケース分解前に実施してください。基板内部への影響が少なく作業がやり易くなります。

上面左の場合は、基板内部への影響を与えない様に行い、切り取った破片が内部に残らない様に注意してください。

上面左の場合

上ケース

下ケース



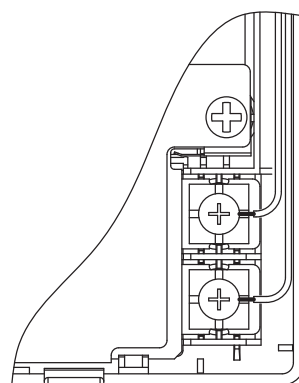
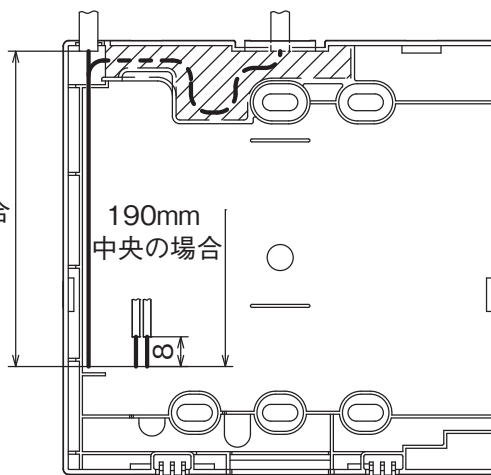
切欠き部が大きいと、水分・ホコリ・虫の浸入の原因になります。
必要に応じてパテ等で封止してください。



- ④リモコン下ケースを付属の木ねじ2本で平らな面に固定してください。
- ⑤上面中央の場合はケース背面に配線を通してください。(斜線部分)
- ⑥リモコン上ケース端子ねじを巻く様に配線を固定してください。
- ⑦リモコン配線が噛みこまないように、上ケースを取付けてください。

120mm
左側の場合

190mm
中央の場合

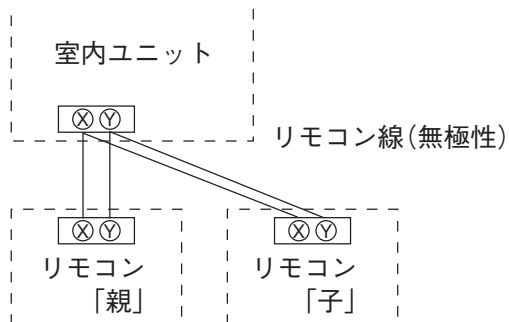


5. 複数リモコン使用時の親子設定

室内ユニット1台又は1グループに対して最大2個までのリモコンを接続できます。

片側が親リモコン、反対側が子リモコンになります。

リモコンは、親・子で操作できる範囲が異なります。



6項の操作で「親」「子」の設定をしてください。

リモコン機能	親	子
運転／停止 室温 風量 風向 操作	○	○
ハイパワー 省エネ運転 操作	○	○
省エネ運転設定	○	—
リモコンセンサー	○	—
グリル昇降操作	○	○※
試運転メニュー操作	○	—
室温設定範囲の設定	○	—
室内機の設定	○	—
フリーフロー設定	○	—
運転データ表示	○	—
異常履歴の表示	○	○
お掃除パネル操作	○	—

○※ eco タッチリモコン同士で親子となった場合に有効。詳細は、技術資料で確認してください。

お知らせ パソコン接続について

USB コネクタ (mini-B) を介してパソコンからの設定が可能です。

上ケース下面カバーを外して接続してください。

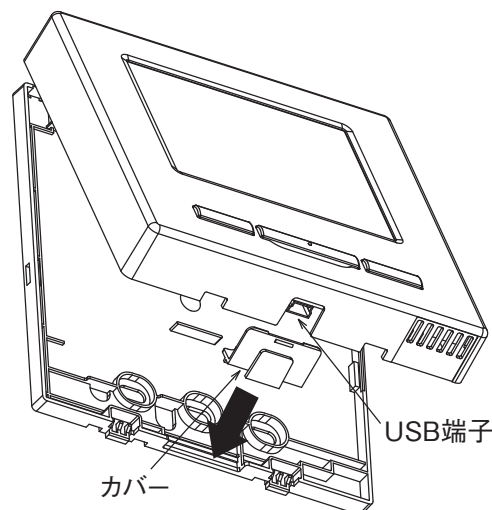
使用後はカバーを元の位置にはめてください。
ホコリ・虫などが浸入すると、感電・故障の原因になります。



接続には、専用のソフトが必要です。

詳細は、ホームページ・技術資料を参照してください。

専用ソフトを使用しないで、パソコン接続をしないこと。パソコンは、他のUSB機器と同時に接続しないこと。
リモコン・パソコンの誤作動・故障の原因になります。



お知らせ パスワード初期化

管理者パスワード (日常使用する項目設定用) と

サービスパスワード (据付・試運転・メンテナンス用) があります。

○管理者パスワード初期値は、0000 です。設定変更ができます (取扱説書参照)。

管理者パスワードを忘れた場合は、管理者パスワード入力画面で [ハイパワー] [省エネ] ボタンを同時に5秒長押しするとパスワードは初期化されます。

○サービスパスワードは、9999 です。設定変更ができません。

管理者パスワード入力の時、サービスパスワードでも受付られます。



お知らせ リモコン・室内機 との組合せ

(1) RC-D3・RC-D4 形リモコン・ワイヤレスオプションと親子での使用が可能です。

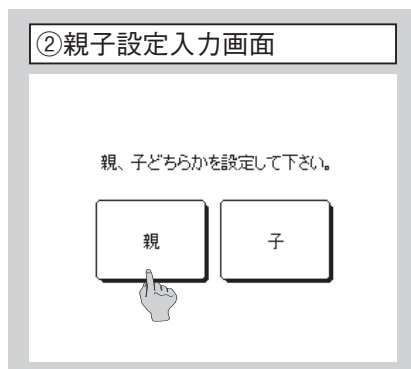
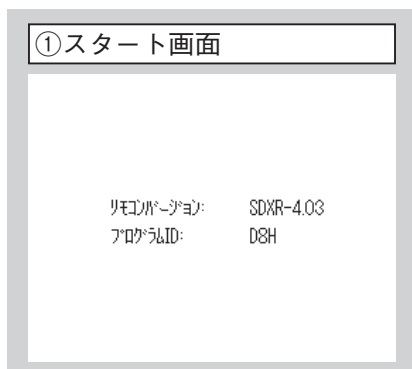
(2) 室内ユニット 3形以降のタイプと組合せが可能です。

(3) 室内ユニット 3D形以前のタイプと組合せの場合、使用できない制御があります。
操作できない機能を操作・設定しようとすると、「操作無効です」と表示されます。

6. 電源投入初期設定

電源投入時の表示に沿って親子リモコン設定を行います。

- (1) 親子が設定されていない場合、①⇒②親子入力画面を表示します。
枠で囲まれた「親」「子」どちらかをタッチしてください。初期設定作業を開始します。
誤ってタッチした場合は、初期設定作業が終了後に設定変更することができます。
- (2) リモコンの親子が設定されている場合、⑥設定継続確認画面を表示します。
- (3) ecoタッチリモコン2個の親子の場合、1個目を「親」で設定開始すると2個目は自動で「子」になります。

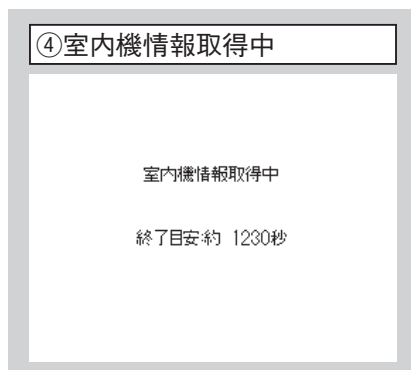
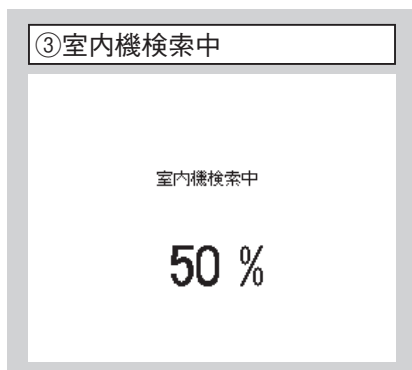


「親」⇒③⇒④⇒⑤

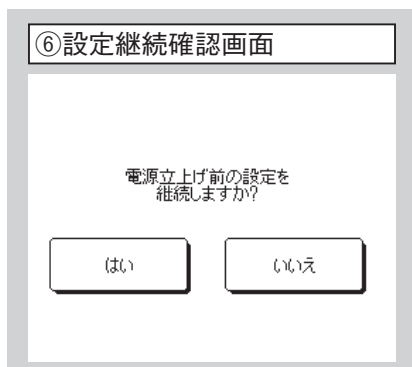
「子」⇒①⇒⑧⇒⑤

ご注意

リモコン 1 台の場合は、「親」をタッチしてください。
初期状態では、どちらか選択されるまで、待ち続けます。
複数リモコンの場合は、片方の設定で、設定作業を開始します。



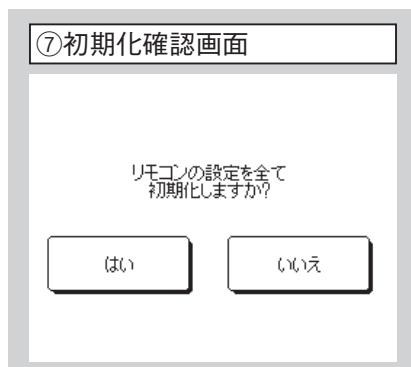
通信が 10 分間確定しない場合、赤 LED が点滅します。



「はい」 継続 ⇒⑧⇒⑤

「いいえ」 変更 ⇒⑦

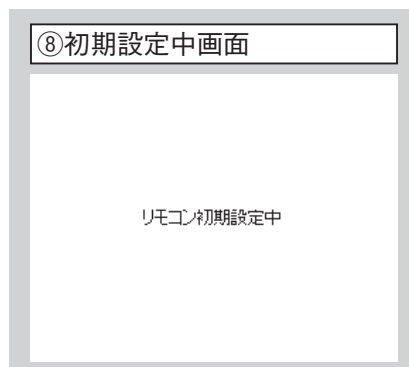
表示 15 秒間タッチされない場合は「はい」継続を認識して⑤画面に変わります



「はい」⇒①⇒②

「いいえ」⇒⑥

初期化すると出荷状態に戻ります。



ラクリーナパネルを採用のお客様へ

[7. 据付設定 ⑦グリル昇降操作設定] を行ってください。

7. 据付設定 試運転

TOP画面 ⇒ メニュー ⇒ 次ページ ⇒ 据付設定

① TOP 画面

16:14(月)

冷房 ※

設定温度 23.0℃

風向

タイマー設定

停止しています。

変更はパネルをタッチしてください。

[メニュー] ボタンをタッチしてください。

②メニュー画面 # 1

メニュー

省エネ設定

グリル昇降

フリーフロー設定

換気

見てみて

次ページ 戻る

操作を選択してください。

③メニュー画面 # 2

メニュー

お掃除パネル設定

フィルターサインルセット

初期設定

タイマー設定

ウィークリータイマー

前ページ 次ページ 戻る

操作を選択してください。

④メニュー画面 # 3

メニュー

るす番運転

管理者設定

据付設定

リモコン設定

室内設定

前ページ 次ページ 戻る

操作を選択してください。

[据付設定] ボタンをタッチしてください。

⑤サービスパスワード入力

パスワード入力

サービスパスワードを入力してください。

0 1 2 3 4 削除

5 6 7 8 9 セット

4桁の数字を入力してください。

戻る

サービスパスワードは 9999 です。

⑥据付設定メニュー # 1

据付設定

据付日登録 ←8

サービス情報入力 ←9

試運転 ←12

グリル昇降操作 ←17

ダクト機静圧補正 ←18

次ページ 戻る

操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

⑦据付設定メニュー # 2

据付設定

自動アドレス変更 ←19

親室内機アドレス設定 ←21

バックアップ制御 ←22

前ページ 戻る

操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

⑧据付日登録

据付日登録

年 月 日

2010 / 1 / 1

年 月 日

年 月 日

年月日を設定してください。

セット 戻る

[▲] [▼] で設定してください。
[セット] で登録されます。

⑨サービス情報入力

サービス情報入力

連絡先名 ←10

連絡先TEL ←11

戻る

操作を選択してください。

お客様がサービスを依頼される際の
連絡先を入力してください。

⑩連絡先名登録

連絡先名

カナ 英字 数字 漢字

A B C D E F G H I

J K L M N O P Q R

削除 次 戻る

名称を入力してください。

連絡先名を半角 26 文字相当以内
で入力し、[セット] ボタンをタッ
チしてください。

⑪連絡先 TEL 登録

連絡先TEL

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 -

0 1 2 3 4 削除

5 6 7 8 9 セット

電話番号を入力してください。

戻る

連絡先電話番号を 13 文字以内で
入力し、[セット] ボタンをタッチ
してください。

⑫試運転

試運転

冷房試運転 ←13

ドレンポンプ試運転 ←14

お掃除試運転 ←15

周波数固定運転 ←16

戻る

操作を選択してください。

冷暖房運転は、冷房運転中及び停止中
に操作可能です。周波数固定運転は、
運転中及び停止中に操作可能です。

7. 据付設定 試運転 (つづき)

⑬冷房試運転

冷房試運転

開始

開始をタッチすると
冷房5℃で30分間試運転します。
30分経過及び、TOP画面で運転/停止、
運転モード、設定温度を変更すると
試運転を終了します。

戻る

室温が低く冷房試運転ができない場合、室温設定を30分間5℃に下げて運転します。

⑭ドレンポンプ試運転

ドレンポンプ試運転

運転 停止

操作を選択してください。

戻る

ドレンポンプのみで運転が可能です。

⑮お掃除試運転

お掃除試運転

フィルタ清掃

ブラジ清掃

戻る

操作を選択してください。

フィルタ自動清掃機能付 お掃除パネルを組合せの場合に操作できます。
お掃除パネルの説明書をご覧ください。

ラクリーナパネル設定

⑯周波数固定運転

周波数固定運転

▲ ▲ ▲ ▲ 開始

0 1 0 . 0 Hz 解除

▼ ▼ ▼ ▼

操作を選択してください。

戻る

インバータ室外ユニットの運転周波数を固定する事ができます。
[開始] ボタンより開始します。
室外ユニットにより有効に制御できない場合があります。

⑰グリル昇降操作設定

グリル昇降操作

無効

有効50Hz

有効60Hz

操作を選択してください。

戻る

ラクリーナパネルを組合せに関する設定を行ってください。
組合せの際は、据付場所電源周波数をタッチしてください。

⑱ダクト静圧補正

ダクト機静圧補正

▲

10 Pa

▼

AUTO

セット

戻る

▲▼で補正値の変更ができます。

機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニットに組み合わせの場合に操作できます。
機外静圧を選択し、[セット]をタッチしてください。
[AUTO] ボタンを選択し、[セット]をタッチすると、室内ユニットが自動で静圧設定を行います。
※機種により自動静圧設定ができない機種もあります。

⑲自動アドレス変更

自動アドレス変更

確定

室内機No.	室外機No.
000 ⇒ 001	00 ⇒ 01
001	00 ⇒ 01
002	00
003 ⇒ 004	00
004	01
005	01

変更 次ページ 戻る

変更する室内機を選択してください。

個別発停マルチシリーズで使用の際に自動アドレス設定で登録されている場合に操作できます。
室内ユニット毎の室内外アドレスを変更するための機能です。室内ユニットを選択して
[変更] をタッチすると右の新アドレス入力画面に変わります。
[セット] をタッチすると左画面に戻り新アドレスが表示されます。
[確定] をタッチすると登録されます。

⑳自動アドレス変更

自動アドレス変更

室内機 No.2 接続室外機 No.0

003 01

▲ ▼ ▲ ▼

セット

戻る

▲▼でアドレスを選択してください。

㉑親室内機アドレス設定

親室内機アドレス設定

127

▲ ▼

解除

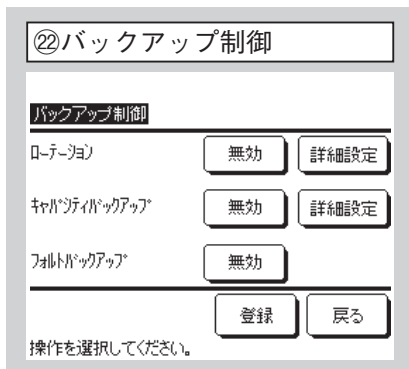
セット

戻る

▲▼でアドレスを選択してください。

個別発停マルチシリーズで親室内ユニットのみ、冷房-暖房運転モードの選択を許可します。子とする室内ユニットに対し、親室内機アドレスを設定します。親室内機アドレスが設定された子室内ユニットは、親室内ユニットの設定に追従します。

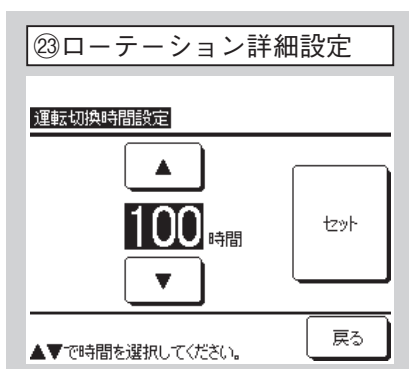
7. 据付設定 試運転 (つづき)



1 台のリモコンに室内ユニット 2 台 (2 グループ) が接続されている時に、以下の制御が可能です。

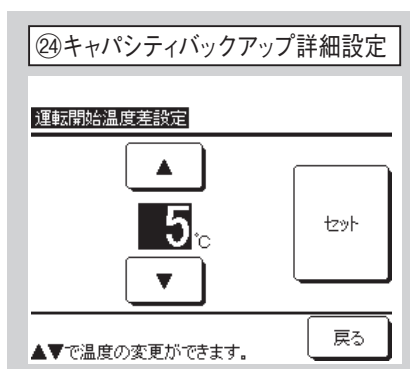
- ① ローテーション：2 台の室内ユニットが設定した時間毎に、交互に運転します。
- ② キャパシティバックアップ：設定温度と室温の温度差により、室内ユニットの運転台数を 1 台⇄2 台へ切り換えます。
- ③ フォルトバックアップ：室内ユニット 2 台中 1 台が運転している場合、運転している室内ユニットが異常停止すると、もう 1 台の室内ユニットが運転を開始します。

[有効 / 無効] を選択し ([無効] をタッチすると [有効] に変わります。)、[登録] ボタンをタッチすると、設定内容が確定します。



ローテーションの運転を切り換える時間を設定します。

10 ～ 990 時間の間で 10 時間刻みで設定可能です。設定後バックアップ制御画面に戻って [登録] をタッチしてください。



キャパシティバックアップの 1 台⇄2 台を切り換える設定温度と室温の温度差を設定します。

2 ～ 5℃の間で 1℃刻みで設定可能です。設定後バックアップ制御画面に戻って [登録] をタッチしてください。

バックアップ制御の制約条件

1. 運転モードが「自動」の場合、バックアップ制御はできません。運転モードが「自動」に設定された空調機にバックアップ制御を設定すると、運転モードは自動的に「冷房」モードに切り換わります。
2. ローテーション制御を設定した場合は、自動的にフォルトバックアップ制御も有効に設定されます。この場合、フォルトバックアップ制御のみを無効にすることはできません。ローテーション運転を無効にした場合は、フォルトバックアップ制御も無効になります。
3. キャパシティバックアップ制御を設定した場合は、自動的にフォルトバックアップ制御も有効に設定されます。この場合、フォルトバックアップ制御のみを無効にすることはできません。キャパシティバックアップ制御を無効にした場合は、フォルトバックアップ制御も無効になります。
4. フォルトバックアップ制御を単独で有効に設定することも可能です。
5. るす番運転、ウォームアップ設定、外部入力設定は、バックアップ制御と同時に設定することはできません。
6. ローテーション運転制御または、フォルトバックアップ制御設定時には、設定対象となっている室内機 2 台 (2 グループ) の内、どちらか一方のみが運転します。両方同時に運転することはありません。
7. いずれの制御も、室内アドレスの若い室内機が先に運転開始します。

お知らせ

日常使用に関する下記設定は、取扱説明書・技術資料を参照してください。

初期設定

時刻設定 時刻表示設定 サマータイム補正 コントラスト バックライト ブザー音

省エネ設定

切忘れタイマー ピークカットタイマー 温度設定自動復帰

フリーフロー設定

タイマー設定

時間入 時間切 時刻入 時刻切 タイマー設定内容の確認 ウィークリータイマー

るす番運転

管理者設定

操作制限設定 室外清音タイマー設定 設定温度の範囲設定 温度設定刻み切換 設定温度表示切換
リモコン表示設定 管理者パスワード

8. リモコン機能設定

お知らせ：停止中のみ操作可能

TOP 画面 ⇒ メニュー ⇒ 次ページ ⇒ リモコン設定

① TOP 画面

16:14(月)

冷房
設定温度
23.0℃

メニュー

風向

タイマー設定

停止しています。
変更はパネルをタッチしてください。

[メニュー] ボタンをタッチしてください。

②メニュー画面 # 1

メニュー

省エネ設定

グリル昇降

フリーフロー設定

換気

見てみて

次ページ 戻る

操作を選択してください。

③メニュー画面 # 2

メニュー

お掃除パネル設定

フィルターサインリセット

初期設定

タイマー設定

ウィークリータイマー

前ページ 次ページ 戻る

操作を選択してください。

④メニュー画面 # 3

メニュー

るす番運転

管理者設定

据付設定

リモコン設定

室内設定

前ページ 次ページ 戻る

操作を選択してください。

[リモコン設定] ボタンをタッチしてください。

⑤サービスパスワード入力

パスワード入力

サービスパスワードを入力してください。

0 1 2 3 4 削除

5 6 7 8 9 セット

戻る

4桁の数字を入力してください。

サービスパスワードは9999です。

⑥リモコン設定メニュー # 1

リモコン設定

リモコン親子設定 ←9

吸込センサー制御 ←10

リモコンセンサー ←11

リモコンセンサー補正 ←12

運転モード選択 ←15

次ページ 戻る

操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

⑦リモコン設定メニュー # 2

リモコン設定

温度設定単位 ←16

ファン速度 ←17

外部入力設定 ←18

換気設定 ←19

ルーバー制御 ←20

前ページ 次ページ 戻る

操作を選択してください。

⑧リモコン設定メニュー # 3

リモコン設定

停電補償 ←21

設定温度自動設定 ←22

風量自動設定 ←23

前ページ 戻る

操作を選択してください。

⑨リモコン親子設定

リモコン親子設定

親

子

戻る

操作を選択してください。

リモコンの親子設定を変更する場合に操作します。

⑩吸込センサー制御

吸込センサー制御

個別

親機

平均

戻る

操作を選択してください。

室内ユニットの吸込センサーの検知温度によりサーモ判定を行います。
1 台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる吸込温度センサーを選択できます。

- ①個別：各々の室内ユニットの吸込温度でサーモ判定します。プルーフ接続されている場合はプルーフ親機の吸込温度を基準とします。
- ②親機：接続されている室内ユニットの中で、アドレスの若い室内ユニットの吸込温度でサーモ判定します。
1 台のリモコンに、プルーフ接続が複数接続されている場合は、プルーフ親機間でアドレスが若い室内ユニットの吸込温度を基準とします。
- ③平均：接続されている室内ユニットの吸込温度を平均し、サーモ判定します。

8. リモコン機能設定 (つづき)

⑪ リモコンセンサー

リモコンセンサー

無効

有効

有効(暖房のみ)

有効(冷房のみ)

操作を選択してください。

戻る

お知らせ

リモコンセンサー有効中

(1) 室温表示は、リモコンセンサー検知温度になります。

⑫ リモコンセンサー補正

リモコンセンサー補正

冷房時補正 <⑬

暖房時補正 <⑭

操作を選択してください。

戻る

室内ユニット本体吸込センサーをリモコン側に変更できます。

[無効] 本体側センサーになります。

[有効] リモコン側センサーになります。

[有効(暖房のみ)] 暖房中リモコン側、暖房以外で運転中は本体側になります。

[有効(冷房のみ)] 暖房以外で運転中はリモコン側、暖房中本体側になります。

リモコンセンサー検知温度の補正ができます。

[冷房時補正] ⇒ ⑬ 画面へ

[暖房時補正] ⇒ ⑭ 画面へ

⑬ 冷房時補正

冷房時補正

▲▼で補正温度の変更ができます。

+1℃

▲

▼

セット

戻る

冷房運転中のリモコンセンサー検知温度補正ができます。

－3～＋3の範囲で設定します。

⑭ 暖房時補正

暖房時補正

▲▼で補正温度の変更ができます。

0℃

▲

▼

セット

戻る

暖房運転中のリモコンセンサー検知温度補正ができます。

－3～＋3の範囲で設定します。

⑮ 運転モード

運転モード選択

自動	無効	有効
冷房	無効	有効
暖房	無効	有効
除湿	無効	有効

設定を選択してください。

セット

戻る

各運転モード毎に有効・無効を設定可能です。

冷房又は暖房を無効にした場合、自動も無効になります。

⑯ 温度設定単位

温度設定単位

℃

°F

操作を選択してください。

戻る

設定温度の単位を設定します。

⑰ ファン速度

ファン速度

4速

3速

2速(急-弱)

2速(急-強)

1速

操作を選択してください。

戻る

ファン速度選択の変更が可能です。

室内ユニットにより対応できない場合があります。

⑱ 外部入力方式

外部入力設定

個別

全台

操作を選択してください。

戻る

1つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、CnTの入力の適用範囲が設定されます。

[個別] CnT入力された室内ユニットのみに適用されます。

[全台] リモコンが接続されている室内ユニット全てに適用されます。

8. リモコン機能設定 (つづき)

①⑨換気設定	
換気設定	
無効	☒
連動	☐
単独操作	☐
操作を選択してください。	
戻る	

換気組合せが設定されます。
[無効] 接続無し
[連動] エアコン運転／停止に、換気も連動します。
[単独操作] メニューから換気を選択により換気単独で運転／停止します

②⑩ルーバー制御	
ルーバー制御	
4位置停止	☒
フリー停止	☐
操作を選択してください。	
戻る	

[4 位置停止] 吹出ルーバーを 4 段階で設定可能
[フリー停止] リモコン SW 操作直後の位置に停止します。

②⑪停電補償	
停電補償	
有効	☐
無効	☒
操作を選択してください。	
戻る	

運転中に停電した場合、
[有効] 停電復旧（電源投入後の制御終了）しだい、停電前の状態に戻ります。
[無効] 停電復旧後、停止します。

②⑫設定温度自動	
設定温度自動設定	
有効	☐
無効	☒
操作を選択してください。	
戻る	

[有効] 室温設定画面から自動の選択が可能になります。
[無効] 室温設定の画面上に自動の選択スイッチが表示されません。

②⑬風量自動設定	
風量自動設定	
有効	☐
無効	☒
操作を選択してください。	
戻る	

[有効] 風量設定画面から自動の選択が可能になります。
[無効] 風量設定の画面上に自動の選択スイッチが表示されません。

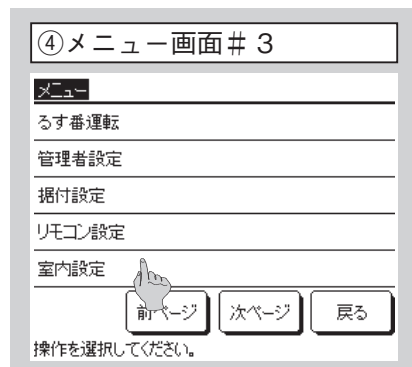
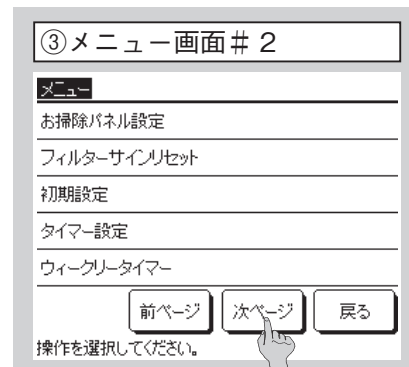
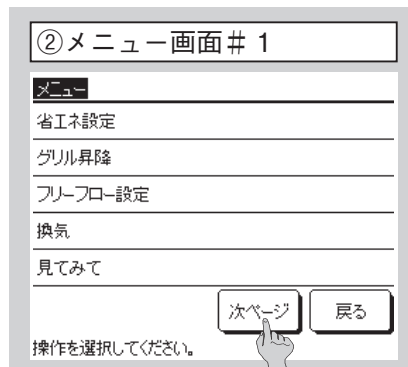
9. 室内機能設定

お知らせ：停止中のみ操作可能

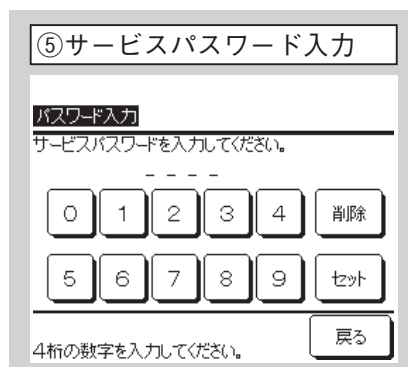
TOP 画面 ⇒ メニュー ⇒ 次ページ ⇒ 室内設定



[メニュー] ボタンをタッチしてください。



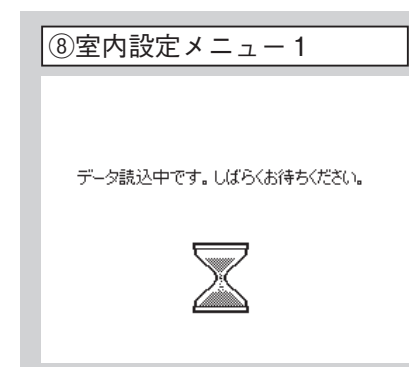
[室内設定] ボタンをタッチしてください。



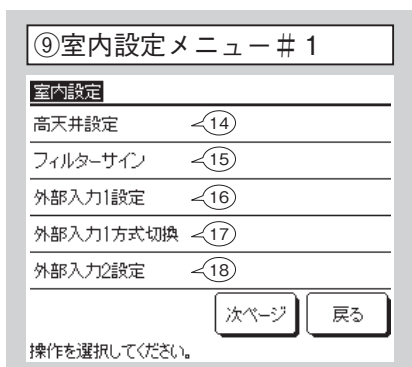
サービスパスワードは 9999 です。



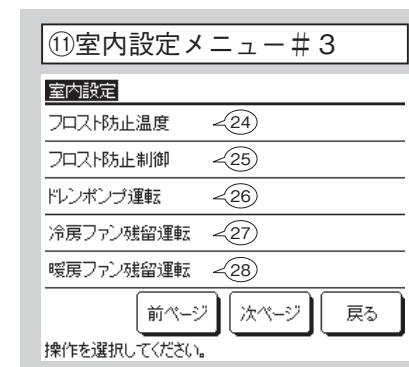
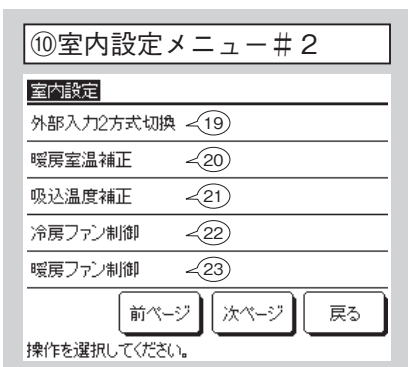
複数室内ユニットを接続の場合、接続された室内ユニットが表示されます。
[アドレス] 各室内ユニット毎に個別設定されます。
[全台] 全台同一設定されます。



室内ユニットからデータ受信後⑨へ



選択した画面に移ります。



9. 室内機能設定 (つづき)

⑫室内設定メニュー # 4

室内設定

暖房ファン間欠 (29)
送風サーモ運転 (30)
外調機設定 (31)
運転モード自動設定 (32)
サーモ判定切換 (37)

前ページ

次ページ

戻る

操作を選択してください。

⑬室内設定メニュー # 5

室内設定

風量自動切換 (39)
室内過負荷アラーム (40)

前ページ

戻る

操作を選択してください。

⑭高天井設定

高天井設定

標準

高天井 1

高天井 2

戻る

操作を選択してください。

室内ユニットの風量タップを設定します。組合せ室内ユニットにより対応しない場合があります。

⑮フィルターサイン

フィルターサイン

表示なし

設定 1

設定 2

設定 3

設定 4

戻る

操作を選択してください。

フィルターサイン点灯時間を設定します。

	標準	FDTお掃除
表示なし	無し	無し
設定 1	180Hr	1,00Hr
設定 2	600Hr	2,000Hr
設定 3	1,000Hr	2,500Hr
設定 4	1,000Hr後 運転停止	2,500Hr後 運転停止

⑯外部入力 1 設定

外部入力1設定

運転/停止

許可/禁止

冷房/暖房

緊急停止

戻る

操作を選択してください。

室内ユニット CnT 入力時の制御を設定します。
詳細は、技術資料を参照願います。

⑰外部入力 1 方式

外部入力1方式切換

レベル入力

パルス入力

戻る

操作を選択してください。

室内ユニットCnTへの入力信号方式を設定します。
詳細は、技術資料を参照願います。

⑱外部入力 2 設定

外部入力2設定

運転/停止

許可/禁止

冷房/暖房

緊急停止

戻る

操作を選択してください。

外部入力 2 を装備している室内ユニットと組合わせた場合に操作できます。
詳細は、技術資料を参照願います。

⑲外部入力 2 方式

外部入力2方式切換

レベル入力

パルス入力

戻る

操作を選択してください。

⑳暖房室温補正

暖房室温補正

▲▼で補正温度の変更ができます。

+2.0℃



セット

戻る

暖房サーモ判定温度を補正します。
0℃ / +1℃ / +2℃ / +3℃

㉑吸込温度補正

吸込温度補正

▲▼で補正温度の変更ができます。

+1.5℃



セット

戻る

本体吸込センサー検知温度を補正します。
-2℃ / -1.5℃ / -1℃ / 0℃ /
+1℃ / +1.5℃ / +2℃

㉒冷房ファン制御

冷房ファン制御

弱風

設定風量

間欠

停止

戻る

操作を選択してください。

冷房サーモ OFF 中のファン速度設定
[弱風] 弱風運転
[設定風量] サーモ ON 中と同風量
[間欠] 2 分 Lo(ULo) 運転 / 5 分停止
[停止] 停止

9. 室内機能設定 (つづき)

②③暖房 ファン制御

暖房ファン制御

弱風

設定風量

間欠

停止

操作を選択してください。

戻る

暖房サーモ OFF 中のファン速度設定
 [弱風] 弱風運転
 [設定風量] サーモ ON 中と同風量
 [間欠] 2分Lo(ULo)運転／5分停止
 [停止] 停止

②④フロスト防止温度

フロスト防止温度

温度 低

温度 高

操作を選択してください。

戻る

フロスト防止制御温度の切換ができます。

②⑤フロスト防止制御

フロスト防止制御

有効

無効

操作を選択してください。

戻る

フロスト防止制御後、ファン速度が
 [有効] アップします。
 [無効] 変化しません。

②⑥ドレンポンプ運転

ドレンポンプ運転

通常

暖房時連動運転

暖房/送風時連動運転

送風時連動運転

操作を選択してください。

戻る

[通常] 冷房・除湿時に運転
 [暖房時連動] 通常+暖房
 [暖房/送風時連動] 全運転中
 [送風時連動] 通常+送風

②⑦冷房ファン残留運転

冷房ファン残留運転

なし

設定1

設定2

設定3

操作を選択してください。

戻る

冷房運転、停止又はサーモOFF後の
 残留時間を設定します。
 設定1：0.5時間
 設定2：2時間
 設定3：6時間

②⑧暖房ファン残留運転

暖房ファン残留運転

なし

設定1

設定2

設定3

操作を選択してください。

戻る

暖房運転、停止又はサーモOFF後の
 残留時間を設定します。
 [設定1] 0.5時間
 [設定2] 2時間
 [設定3] 6時間

※残留時間が異なる場合があります。

②⑨暖房ファン間欠

暖房ファン間欠

非連動

20分停止5分送風

5分停止5分送風

操作を選択してください。

戻る

暖房運転、停止又はサーモOFF後の
 ファン制御を設定します。
 [非連動] 停止
 [20分停止5分送風] 25分毎に条件
 チェックして5分送風
 [5分停止5分送風] 10分毎に条件
 チェックして5分送風

③⑩送風サーモ運転

送風サーモ運転

無効

有効

操作を選択してください。

戻る

サーキュレーター運転として使用する場合
 [無効] 送風時連続運転
 [有効] 送風時リモコンと本体の温
 度差を見て送風運転／停止します。

③⑪外調機設定

外調機設定

圧力制御標準

圧力制御切換

操作を選択してください。

戻る

マルチシステムにて、外調機の場合
 に設定します。
 [圧力制御標準] 通常
 [圧力制御切換] 運転中の室内ユ
 ニットが全て、この設定の場合、
 圧力制御値が変わります。

9. 室内機能設定 (つづき)

③② 運転モード自動設定

運転モード自動設定

自動1・2・3切換 ←33

自動1関連設定 ←34

自動2関連設定 ←35

自動3関連設定 ←36

戻る

操作を選択してください。

③③ 自動1・2・3切換

自動1・2・3切換

自動1

自動2

自動3

戻る

操作を選択してください。

自動運転、冷房／暖房切換方式を3方式から選択できます。
各方式の条件を設定をします。

③④ 自動1関連設定

自動1関連設定

冷房切換温度 ←37

暖房切換温度 ←38

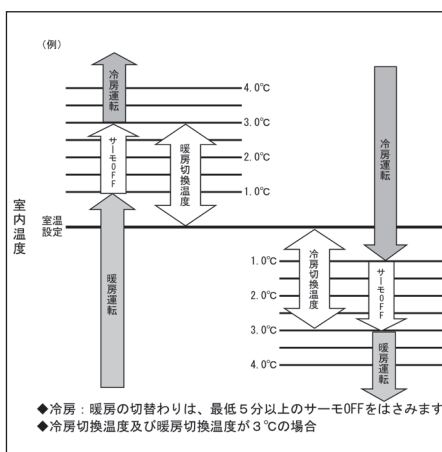
戻る

操作を選択してください。

冷房／暖房の切換温度を設定します。
切換わり温度は1～4℃の範囲で
設定できます。

設定温度－冷房切換温度
＜室内吸込温度の場合
⇒運転モード：冷房

設定温度＋暖房切換温度
＞室内吸込温度の場合
⇒運転モード：暖房



③⑤ 自動2関連設定

自動2関連設定

冷房切換温度 ←37

暖房切換温度 ←38

冷房室外温度 ←39

暖房室外温度 ←40

戻る

操作を選択してください。

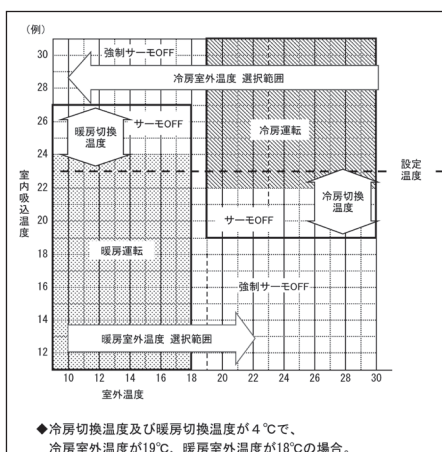
冷房／暖房の切換温度、冷房／暖房
室外温度を設定します。

「設定温度－冷房切換温度＜室内
吸込温度」かつ「設定した冷房
室外温度＜室外吸込温度」の
場合

⇒運転モード：冷房

「設定温度＋暖房切換温度＞室内
吸込温度」かつ「設定した暖房
室外温度＞室外吸込温度」の
場合

⇒運転モード：暖房



③⑥ 自動3関連設定

自動3関連設定

冷房室外温度 ←39

暖房室外温度 ←40

冷房室内温度 ←41

暖房室内温度 ←42

戻る

操作を選択してください。

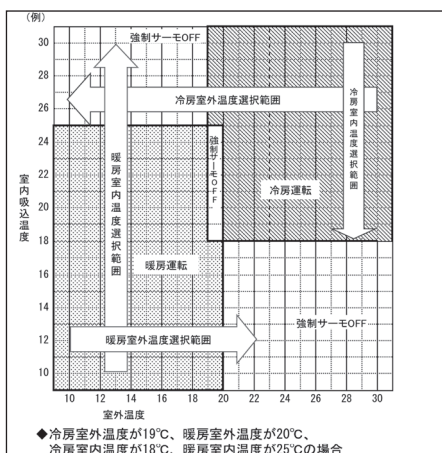
冷房／暖房室外温度、冷房／暖房
室内温度を設定します。

「設定した冷房室内温度＜室内
吸込温度」かつ「設定した冷房
室外温度＜室外吸込温度」の
場合

⇒運転モード：冷房

「設定した暖房室内温度＞室内
吸込温度」かつ「設定した暖房
室外温度＞室外吸込温度」の
場合

⇒運転モード：暖房



9. 室内機能設定 (つづき)

③⑦冷房切換温度

冷房切換温度

▲▼で補正温度の変更ができます。

3.0℃

▲

▼

セット

戻る

自動1、自動2で冷房切換温度を設定します。

1～4℃の範囲で設定できます。

③⑧暖房切換温度

暖房切換温度

▲▼で補正温度の変更ができます。

3.0℃

▲

▼

セット

戻る

自動1、自動2で暖房切換温度を設定します。

1～4℃の範囲で設定できます。

③⑨冷房室外温度

冷房室外温度

▲▼で補正温度の変更ができます。

18℃

▲

▼

セット

戻る

自動2、自動3で冷房室外温度を設定します。

10～30℃の範囲で設定できます。

④⑩暖房室外温度

暖房室外温度

▲▼で補正温度の変更ができます。

20℃

▲

▼

セット

戻る

自動2、自動3で暖房室外温度を設定します。

10～22℃の範囲で設定できます。

④⑪冷房室内温度

冷房室内温度

▲▼で補正温度の変更ができます。

22℃

▲

▼

セット

戻る

自動3で冷房室内温度を設定します。

18～30℃の範囲で設定できます。

④⑫暖房室内温度

暖房室内温度

▲▼で補正温度の変更ができます。

24℃

▲

▼

セット

戻る

自動3で暖房室内温度を設定します。

10～30℃の範囲で設定できます。

④③サーモ判定切換

サーモ判定切換

通常制御/室外温度制御 <44>

室外温度_冷房補正 <45>

室外温度_暖房補正 <46>

戻る

操作を選択してください。

④④通常制御/室外温度制御

通常制御/室外温度制御

通常制御

室外温度制御

戻る

操作を選択してください。

室温制御、サーモ ON / OFF 切換方式・条件の設定

[通常制御] 室内温度と設定温度の差でサーモ判定をします。

[室外温度制御] 外気温度±補正值と室内温度でサーモ判定します。室温設定は無効となります。

9. 室内機能設定（つづき）

④⑤ 室外温度 _ 冷房補正

室外温度_冷房補正

※室温調整設定を「室外温度により制御」に設定した場合のみ有効です。

2℃

▲

▼

セット

戻る

④⑥ 室外温度 _ 暖房補正

室外温度_暖房補正

※室温調整設定を「室外温度により制御」に設定した場合のみ有効です。

3℃

▲

▼

セット

戻る

④⑦ 風量自動切換

風量自動切換

自動1

自動2

戻る

操作を選択してください。

室外温度と冷房／暖房補正值によりサーモ判定します。

(a) 室外温度 _ 冷房補正：冷房中にサーモ判定します。

室内温度 > (室外温度 - 冷房補正值) でサーモ ON します。

冷房補正值は 0 ～ 10℃ で設定できます。

(b) 室外温度 _ 暖房補正：暖房中にサーモ判定します。

室内温度 < (室外温度 + 暖房補正值) でサーモ ON します。

暖房補正值は 0 ～ 5℃ で設定できます。

風量自動の切換範囲を設定

[自動 1] 急⇄強⇄弱

[自動 2] P 急⇄急⇄強⇄弱

④⑧ 室内過負荷アラーム設定

室内過負荷アラーム

キャンセル

▲

▼

7℃

セット

戻る

▲▼で温度の変更ができます。

運転開始 30 分後、設定温度と吸込温度差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力 (CNT-5) から過負荷アラーム信号を送信します。

10. サービス・メンテ方法

TOP 画面 ⇒ メニュー ⇒ 次ページ ⇒ サービス・メンテナンス

① TOP 画面

16:14(月)

メニュー

冷房
設定温度
23.0℃
風向
タイマー設定
風速

停止しています。
変更はパネルをタッチしてください。

[メニュー] ボタンをタッチしてください。

②メニュー画面 # 1

メニュー

省エネ設定
グリル昇降
フリーフロー設定
換気
見てみて

次ページ 戻る

操作を選択してください。

③メニュー画面 # 2

メニュー

お掃除パネル設定
フィルターサインリセット
初期設定
タイマー設定
ウィークリータイマー

前ページ 次ページ 戻る

操作を選択してください。

④メニュー画面 # 3

メニュー

るす番運転
管理者設定
据付設定
リモコン設定
室内設定

前ページ 次ページ 戻る

操作を選択してください。

⑤メニュー画面 # 4

メニュー

サービス・メンテナンス
言語切替設定
困ったときは・・・

前ページ 戻る

操作を選択してください。

[サービス・メンテナンス] ボタンをタッチしてください。

⑥サービスパスワード入力

パスワード入力

サービスパスワードを入力してください。

0 1 2 3 4 削除
5 6 7 8 9 セット

4桁の数字を入力してください。 戻る

サービスパスワードは 9999 です。

⑦サービス・メンテナンス メニュー

サービス・メンテナンス

エアコンNo.表示 <9>
次回点検日 <11>
運転データ表示 <13>
点検表示 <21>
お掃除パネル点検 <32>

次ページ 戻る

操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

⑧サービス・メンテナンス メニュー

サービス・メンテナンス

室内設定保存 <33>
特殊操作 <36>

前ページ 戻る

操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

⑨エアコン No. 表示

個別送風

エアコンNo.表示

室内機No.	室内機名称	室外機No.
000		
001		
002		
003		
004		
005		
006		

次ページ 戻る

8 台以上接続の場合は、次ページ以降に表示がでます。室内ユニット選択後 [個別送風] ボタンをタッチすると、選択した室内ユニットが送風運転します。

⑩個別送風運転

個別送風運転

送風運転 運転 停止

動作を選択してください。 戻る

[運転] をタッチすると、送風運転開始。
[停止] をタッチすると、送風運転停止。

⑪次回点検日

次回点検日

年 月 日
2010 / 1 / 1

設定なし セット 戻る

年月日を設定してください。

次回点検日を入力すると、点検月の運転開始/停止時メッセージが表示されます。表示は、次回点検日を更新するとリセットされます。
[設定なし] をタッチするとメッセージは表示されません。

⑫点検メッセージ

ご使用期間 0年7ヶ月
次回の点検 2010年8月頃
連絡先名 ミ光ッ
連絡先TEL 000-000-0000

10. サービス・メンテ方法 (つづき)

⑬運転データ画面 1

運転データ 全更新

室内機 000	室外機	項目	データ	表示
		01 運転モード	冷房	✓
		02 設定温度	28°C	✓
		03 吸込温度	28°C	✓
		04 リモコン温度	29°C	
		05 室内熱交温度1	10°C	

選択表示 次ページ 戻る

表示項目を6つ選択してください。

⑭運転データ画面 2

運転データ 全更新

室内機 000	室外機	項目	データ	表示
		06 室内熱交温度2	10°C	
		07 室内熱交温度3	10°C	
		08 室内ファン速度	5速	
		09 要求周波数	51.2Hz	
		10 アパー周波数	32Hz	

選択表示 前ページ 次ページ 戻る

表示項目を6つ選択してください。

⑮運転データ画面 3

運転データ 全更新

室内機 000	室外機	項目	データ	表示
		11 室内EEV開度	256P	
		12 室内運転時間	100H	
		13 吹出	21°C	
		21 外気温度	22°C	
		22 室外熱交温度1	29°C	

選択表示 前ページ 次ページ 戻る

表示項目を6つ選択してください。

運転データが表示されます。[全更新] タッチで全データが更新されます。
データを自動更新させて表示したい場合、6項目まで選択できます。6項目選択後、[選択表示] ボタンをタッチすると⑳の画面に変わります。

⑯運転データ画面 4

運転データ 全更新

室内機 000	室外機	項目	データ	表示
		23 室外熱交温度2	29°C	
		24 コイル回転数	51.2Hz	
		25 高圧圧力	1.2MPa	
		26 低圧圧力	0.2MPa	
		27 吐出管温度	78°C	

選択表示 前ページ 次ページ 戻る

表示項目を6つ選択してください。

⑰運転データ画面 5

運転データ 全更新

室内機 000	室外機	項目	データ	表示
		28 ドラム下温度	27°C	
		29 電流	8A	
		30 SH制御	48°C	
		31 SH	48°C	
		32 TOSH	48°C	

選択表示 前ページ 次ページ 戻る

表示項目を6つ選択してください。

⑱運転データ画面 6

運転データ 全更新

室内機 000	室外機	項目	データ	表示
		33 保護制御	No.1	
		34 室外ファン速度	5速	
		35 63H1	ON	
		36 フォット	ON	
		37 コイル運転時間	100H	

選択表示 前ページ 次ページ 戻る

表示項目を6つ選択してください。

⑲運転データ画面 7

運転データ 全更新

室内機 000	室外機	項目	データ	表示
		38 室外EEV1開度	512P	
		39 室外EEV2開度	512P	

選択表示 前ページ 戻る

表示項目を6つ選択してください。

⑳運転データ個別表示画面

運転データ

運転モード	冷房
設定温度	28°C
吸込温度	29°C
リモコン温度	28°C
室内熱交温度1	10°C
室内熱交温度2	15°C

戻る

㉑点検表示メニュー

点検表示

異常履歴表示	←㉒
異常時運転データ表示	←㉓
異常時運転データ消去	←㉔
定期点検リセット	←㉕

戻る

操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

㉒異常履歴表示 (例)

異常履歴表示 消去

時刻	室内機	異常コード
2011/01/19 PM 6:57	014	E16
2011/01/19 PM 6:57	015	E15
2011/01/19 PM 6:57	012	E14

戻る

㉓異常時運転データ表示 1

異常時運転データ表示

室内機 000	異常コード E09	室外機
項目	データ	
01 運転モード	冷房	
02 設定温度	28°C	
03 吸込温度	26°C	
05 室内熱交温度1	10°C	
06 室内熱交温度2	10°C	

次ページ 戻る

㉔異常時運転データ表示 2

異常時運転データ表示

室内機 000	異常コード E09	室外機
項目	データ	
07 室内熱交温度3	10°C	
08 室内ファン速度	5速	
09 要求周波数	51.2Hz	
10 アパー周波数	32Hz	
11 室内EEV開度	256P	

前ページ 次ページ 戻る

異常発生日時・室内アドレス・異常コードを表示します。
[消去] ボタンをタッチすると、異常履歴を消去します。

異常発生直前の運転データが表示されます。

10. サービス・メンテ方法 (つづき)

②⑤ 異常時運転データ表示 3

異常時運転データ表示		
室内機	000	異常コード E09 室外機
項目	データ	
12 室内運転時間	100H	
13 吹出	21°C	
21 外気温度	22°C	
22 室外熱交換温度1	29°C	
23 室外熱交換温度2	29°C	

前ページ 次ページ 戻る

②⑥ 異常時運転データ表示 4

異常時運転データ表示		
室内機	000	異常コード E09 室外機
項目	データ	
24 コア回転数	512Hz	
25 高圧圧力	1.2MPa	
26 低圧圧力	0.20MPa	
27 吐出管温度	76°C	
28 ドラム下温度	27°C	

前ページ 次ページ 戻る

②⑦ 異常時運転データ表示 5

異常時運転データ表示		
室内機	000	異常コード E09 室外機
項目	データ	
29 電流	8A	
30 SH制御	48°C	
31 SH	3°C	
32 TDSH	48°C	
33 保護制御	No.1	

前ページ 次ページ 戻る

異常発生直前の運転データが表示されます。

②⑧ 異常時運転データ表示 6

異常時運転データ表示		
室内機	000	異常コード E09 室外機
項目	データ	
34 室外ファン速度	5速	
35 63H1	ON	
36 フロスト	ON	
37 コア運転時間	100H	
38 室外EEV1開度	512P	

前ページ 次ページ 戻る

②⑨ 異常時運転データ表示 7

異常時運転データ表示		
室内機	000	異常コード E09 室外機
項目	データ	
39 室外EEV2開度	512P	

前ページ 戻る

③⑩ 異常時運転データ消去

異常時運転データ消去

はい

操作を選択してください。 戻る

異常時運転データが消去されます。

③⑪ 定期点検リセット

定期点検リセット

定期点検をリセットしますか?

はい

設定を選択してください。 戻る

定期点検リセット操作により、時間カウントがリセットされます。

③⑫ お掃除パネル点検

お掃除パネル点検

駆動部個別点検

位置認識指令

位置合わせ制御

点検お掃除運転

戻る

操作を選択してください。

フィルタ自動清掃パネル組込みの場合、お掃除パネル説明書を参照ください。

③⑬ 室内設定保存

室内設定保存

室内設定を保存

室内設定自動保存 ←③⑭

保存データの転送 ←③⑮

操作を選択してください。 戻る

[室内設定を保存] リモコンに接続されている室内ユニットすべての設定をリモコンに保存します。
 [室内設定自動保存] 毎日の自動保存時刻を設定します。
 [保存データの転送] リモコンに保存した室内設定データを室内ユニットに転送します。

③⑭ 室内設定自動保存

室内設定自動保存

設定時刻に室内設定を自動保存します。

▲ AM 0:00 ▼

セット

設定なし 戻る

▲▼で時間を選択し、セットを押してください。

毎日の自動保存時刻を設定します。[設定なし]を選択すると、自動保存は行いません。

③⑮ 室内機選択

室内機選択

000 001 002 003

004 005 006 007

次ページ 戻る

室内機No.を選択してください。

転送する室内ユニットを選択すると、確認画面が表示されますので、データ転送を行ってください。

お知らせ

室内機基板を交換したが、設定内容が判らなくなったことはありませんか?
 リモコンに室内機設定を保存しておくと、[保存データの転送]により、保存されたデータを室内機に書込まれます。

10. サービス・メンテ方法（つづき）

③⑥特殊操作

特殊操作

室内機アドレス消去

CPUリセット

初期化設定

タッチパネル調整 ③⑦

戻る

操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

[室内機アドレス消去] マルチ室内ユニットの記憶が消去されます。

[CPUリセット] 接続されている、室内ユニット・室外ユニットのマイコンがリセット（停電復帰状態）されます。

[初期化] 接続されている、リモコン・室内ユニットの設定が初期値（出荷状態）になります。

[タッチパネル調整] 表示とタッチ位置が一致しない場合に調整します。

③⑦タッチパネル調整

タッチパネル調整

調整開始

戻る

調整開始をタッチしてください。

③⑧タッチパネル調整画面#1

右下の「+」をタッチしてください。

+

③⑨タッチパネル調整画面#2

+

左上の「+」をタッチしてください。

④⑩タッチパネル調整画面#3

+

+

+

「+」をタッチして位置を確認してください。

+

キャンセル

やり直し

確定

+

表示とタッチ位置が一致しない場合に調整します。

画面の指示にそって、[+] マーク中心をタッチしてください。

[確定] で終了します。

室内ユニットの据付説明書と共にお読みください。

⚠警告

- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。

接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

- 元電源を切った後に電気工事をする。

感電、故障や動作不良の原因になります。

⚠注意

- リモコンを下記場所に設置しない。

リモコンの故障や変形の原因になることがあります。

- | | |
|------------------|---------------------|
| (1) 直射日光の当たる場所 | (4) 取付面が発熱・結露する場所 |
| (2) 発熱器具の近く | (5) 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所 |
| (3) 湿気の多い所・水の掛る所 | (6) 取付面に凹凸がある所 |

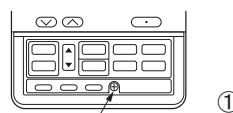
- リモコンの上ケースを取り外したまま放置しない。

上ケースを取り外した場合は、内蔵の基板にゴミや水分等が付着しないように、梱包箱或いは梱包袋に入れて保護してください。

付属品	リモコン本体、 木ねじ (φ3.5×16) 2本
客先手配品	リモコンコード (2心) [埋込取付の場合] JIS ボックス、M4 ねじ (2本) [露出取付の場合] コードクランプ (適時)

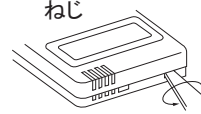
取付要領

- ① リモコンの蓋を開け、スイッチ下部のねじを必ず外してください。



- ② リモコンの上ケースを外してください。

リモコン上部の凹部にマイナスドライバ等を差し込んで軽くねじると、容易にはずれます。

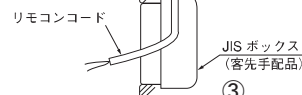


[埋込取付の場合]

- ③ JIS ボックスとリモコンコードをあらかじめ埋め込んでおきます。

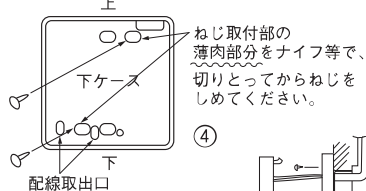
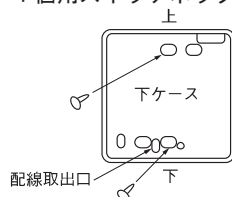
[使用可能な JIS ボックス]

JIS C 8340 1 個用スイッチボックス
2 個用スイッチボックス

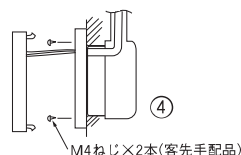


- ④ M4 ねじ 2 本 (推奨長さ 12~16mm) を用意して、下ケースを JIS ボックスに取り付けてください。

1 個用スイッチボックスの場合 2 個用スイッチボックスの場合

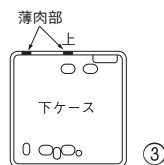


ねじ取付部の
薄肉部分をナイフ等で、
切りとってからねじを
しめてください。



- ⑤ リモコンコードを端子台に接続してください。
リモコンの端子 (X, Y) と室内機の端子 (X, Y) とを
接続してください。(X, Y の極性はありません。)

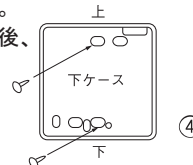
- ⑥ リモコンコードが噛みこまないように、上ケースを元通り取り付け、
外したねじで固定してください。



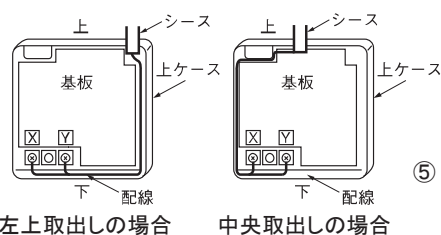
[露出取付の場合]

- ③ リモコンコードの取り出し方向は、上部左上又は、中央から可能です。
リモコン下ケースの上方の薄肉部をニッパー・ナイフ等で切り取った後、
ヤスリ等でバリを取ってください。

- ④ リモコンの下ケースを付属の木ねじ 2 本 (付属) で
平らな壁に取り付けます。

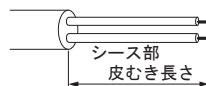


- ⑤ リモコンコードを端子台に接続してください。
リモコンの端子 (X, Y) と室内機の端子 (X, Y) とを接続してください。
(X, Y の極性はありません。)
取り出し方向によって、配線経路は右図の通りとなります。



リモコン内部のリモコンコードは、0.3mm² (推奨) ~ 最大 0.5mm² 以下としてください。また、リモコンケース内を通る部分はシース部を皮むきしてください。
各配線の皮むき長さは、下記の通りです。

左上取り出しの場合	中央取り出しの場合
X 配線 : 215mm	X 配線 : 170mm
Y 配線 : 195mm	Y 配線 : 190mm



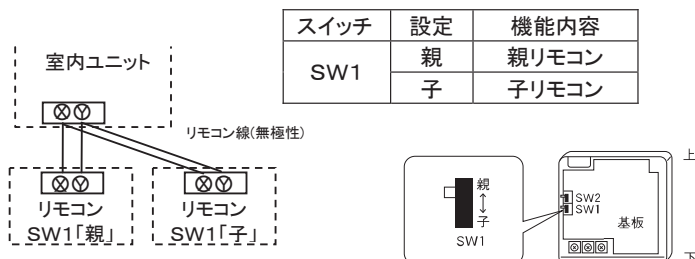
- ⑥ リモコンコードが噛みこまないように、上ケースを元通り取り付け、外したねじで固定してください。
⑦ 露出取付の場合は、リモコンコードがたるまないようにコードクランプ等で壁面に固定します。

リモコンコードを延長する場合の注意 最大総延長600m

- リモコンコードは 0.3mm² × 2 心です。
延長距離が 100m を超える場合は、下記サイズに変更してください。
但し、リモコンケース内を通る配線は最大 0.5mm² 以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズ変更してください。配線接続する際は、水分等が浸入しない様な処置を行ってください。また、配線の接続は、接触不良のない様確実に行ってください。
100~200m 以内.....0.5mm² × 2 心
300m 以内.....0.75mm² × 2 心
400m 以内.....1.25mm² × 2 心
600m 以内.....2.0mm² × 2 心

複数リモコン使用時の親子設定

室内ユニット1台 (又は1グループ) に対して最大2個までのリモコンを接続できます。

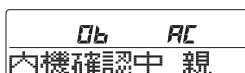


子リモコンの切換スイッチ SW1 を「子」に設定してください。工場出荷時は「親」設定です。
(注) リモコンセンサ有効設定は親リモコンのみ可能です。
親リモコンを室温検知させる位置に取り付けてください。
リモコンの親子設定をした場合、後操作優先で運転されます。

電源投入時の表示

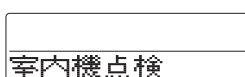
電源投入時、リモコンとエアコンの通信が確定する間、リモコンには、下記表示がでます。
親リモコンの場合: 「内機確認中 親」
子リモコンの場合: 「内機確認中 子」

室内ユニット1台 (又は1グループ) に、1個のリモコンを接続する場合は、必ず親リモコン (出荷時設定) としてください。子リモコンにすると、通信ができません。
上記表示と同時に、最初の2秒間、記号又は数字が点灯いたします。
これらはリモコンのソフトウェアの管理番号を表示させているものであり、異常コードの表示ではありません。



※左記記号は一例です。
別の記号が出る場合もあります。

リモコンと室内ユニットの通信ができない状態が30分程度続くと、下記表示がでます。
室内ユニット及び室外ユニットの配線及び、リモコンの親子設定等をご確認願います。



温度範囲設定

工場出荷時、設定温度範囲は、運転モードによって異なり、下記の様になっています。

暖房時：18～28℃(中温パッケージエアコンの場合10～30℃)

暖房以外(冷房、送風、除湿、自動)：20～30℃(中温パッケージエアコンの場合10～30℃)

●リモコンから、設定温度の上限及び下限を設定することができます。

上限値設定…暖房運転時に有効。20～30℃の範囲で設定可能です。

下限値設定…暖房以外(自動、冷房、送風、除湿)時に有効。18～26℃(中温パッケージエアコンの場合10～18℃)の範囲で設定可能です。

本機能により、上限及び下限を設定した場合、下記制御となります。

1. 機能設定モードのリモコン機能の⑫温度範囲設定が「表示変更有り」の時(出荷時設定)、

【上限値を設定すると】

① 暖房時、リモコンから上限値より高い温度が設定された場合：

30分間設定温度で運転し、その後自動的に上限値温度を送信します。

リモコン表示もそれに付随します。

② 暖房時、上限値以下の温度が設定された場合：

設定温度を送信します。

【下限値を設定すると】

① 暖房以外の運転モードの時、リモコンから下限値より低い温度が設定された場合：

30分間設定温度で運転し、その後自動的に下限値温度を送信します。

リモコン表示もそれに付随します。

② 暖房以外の運転モードの時、下限値以上の温度が設定された場合：

設定温度を送信します。

2. 機能設定モードの「リモコン機能」⑫温度範囲設定が「表示変更無し」の時

【上限値を設定すると】

① 暖房時、リモコンから上限値より高い温度が設定された場合：

上限値を送信します。但し、リモコン表示はそれに付随せず、設定した温度のままです。

② 暖房時、上限値以下の温度が設定された場合：

設定温度を送信します。

【下限値を設定すると】

① 暖房以外の運転モードの時、リモコンから下限値より低い温度が設定された場合：

下限値を送信します。但し、リモコン表示はそれに付随せず、設定した温度のままです。

② 暖房以外の運転モードの時、下限値以上の温度が設定された場合：

設定温度を送信します

●上限値、下限値の設定方法

1. エアコンを停止させて、**セット**と**運転切換**ボタンを同時に3秒以上押します。

表示が「機能設定▼」となります。

2. **▼**ボタンを一度押し、「温度範囲▲」表示に切り換えます。

3. **セット**ボタンを押して、温度範囲設定モードに入ります。

4. **▲** **▼** ボタンにより、「上限設定▼」又は「下限設定▲」を選びます。

5. **セット**ボタンを押して確定します。

6. 「上限設定▼」を選んだ場合(暖房時に有効となります。)

① 表示:「VΛで設定」→「上限 28℃VΛ」

② 温度設定 **V** **Λ** ボタンにより、上限値を選びます。表示例:「上限 26℃VΛ」(点滅)

③ **セット**ボタンを押して確定します。表示例:「上限 26℃」(2秒間点灯)

確定した上限値を2秒間点灯後、表示は「上限設定▼」に戻ります。

7. 「下限設定▲」を選んだ場合(冷房、除湿、送風時に有効となります。)

① 表示:「VΛで設定」→「下限 20℃VΛ」

② 温度設定 **V** **Λ** ボタンにより、下限値を選びます。表示例:「下限 24℃VΛ」(点滅)

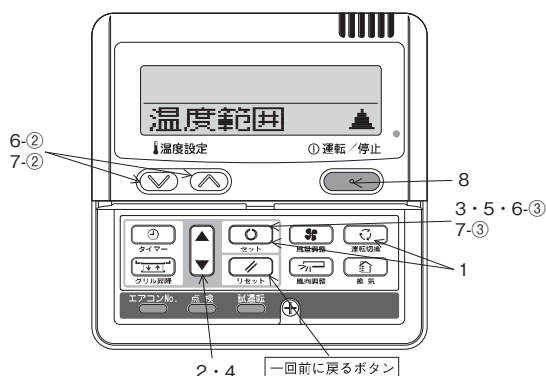
③ **セット**ボタンを押して確定します。表示例:「下限 24℃」(2秒間点灯)

確定した下限値を2秒間点灯後、表示は「下限設定▼」に戻ります。

8. **運転/停止**ボタンを押して、終了します。

・設定の途中で、**運転/停止**ボタンを押しても終了します。但し、設定が完了していない内容は無効となりますのでご注意ください。

・設定の途中で、**リセット**ボタンを押すと、一回前の設定画面に戻ります。



機能設定

●リモコンと室内ユニットの各機能は、リモコンと室内ユニットを接続した際に、標準的な使い方である初期設定に自動的に設定されます。標準的な使い方をする場合は、設定の変更はいりません。但し、グリル昇降設定や、「O」印の初期設定を変更したい場合は、その機能番号の項目のみ、設定を変更してください。

ラクリーナパネル使用時のご注意

初期設定では、リモコンはグリル昇降無効の設定となっています。ラクリーナパネルをご使用の場合は、必ずグリル昇降有効の設定をしてください。
据付地域の電源周波数に合わせ、50Hz 地区または 60Hz 地区のどちらかを選んで設定してください。

【グリル昇降有効設定のしかた（簡易設定）】

1. エアコン停止状態で、**「セッ」** ボタンと **「グリル昇降」** ボタンを同時に長押ししてください。
表示が「昇降無効」となります。
2. **▲** または **▼** ボタンにより設定を選択してください。
表示: 「昇降無効」 ⇔ 「有効 50Hz」 ⇔ 「有効 60Hz」
3. **「セッ」** ボタンを押す
表示が「設定完了」となります。 その後リモコンは停止状態に戻ります。

【機能設定のながれ】

開始: エアコン停止状態で **「セッ」**+**「運転切換」** ボタン同時3秒押し

確定: **「リセット」** ボタンを押す

戻る: **「リセット」** ボタンを押す

選択: **▲** **▼** ボタンを押す

終了: **「運転／停止」** ボタンを押す

(設定の途中で終了しますが、設定が完了していないものは無効になります。)

「O」: 初期設定

「※」: 自動判別

リモコン機能	機能	設定	機能	室内機能	室内ユニット No. 選択	機能	設定
01	グリル昇降設定	昇降無効 有効50Hz 有効60Hz	O	50Hz地区で使用的場合 60Hz地区で使用的場合	内000 内001 内002 内003 内004		
02	自動運転設定	自動運転有効 自動運転無効	※	自動運転不可			
03	温度設定	温度設定有効 温度設定禁止	O	温度設定ボタンの操作禁止			
04	運転切換	運転切換有効 運転切換禁止	O	運転切換ボタンの操作禁止			
05	運転／停止	運転／停止有効 運転／停止禁止	O	運転／停止ボタンの操作禁止			
06	風量切換	風量切換有効 風量切換禁止	※	風量調整ボタンの操作禁止			
07	風向切換	風向切換有効 風向切換禁止	※	風向調整ボタンの操作禁止			
08	タイマー	タイマー有効 タイマー禁止	O	タイマーボタンの操作禁止			
09	リモコンセンサ設定	リモコンセンサ無効 リモコンセンサ有効 リモコンセンサ+3.0℃ リモコンセンサ+2.0℃ リモコンセンサ+1.0℃ リモコンセンサ-1.0℃ リモコンセンサ-2.0℃ リモコンセンサ-3.0℃	O	リモコンセンサ有効、且つ+3.0℃温度補正する。 リモコンセンサ有効、且つ+2.0℃温度補正する。 リモコンセンサ有効、且つ+1.0℃温度補正する。 リモコンセンサ有効、且つ-1.0℃温度補正する。 リモコンセンサ有効、且つ-2.0℃温度補正する。 リモコンセンサ有効、且つ-3.0℃温度補正する。			
10	停電補償設定	停電補償無効 停電補償有効	O				
11	換気設定	換気なし 換気連動 換気連動なし	O	シングル機は室内基板CNT、マルチ機は室内基板CNDに換気機器を接続すると、室内ユニットの運転に連動し、換気機器の運転／停止を行います。 シングル機は室内基板CNT、マルチ機は室内基板CNDに換気機器を接続すると、換気ボタンの操作により、換気機器が単独で運転／停止を行います。			
12	温度範囲設定	表示変更有り 表示変更無し	O	温度設定範囲を変更した場合、設定温度表示は、制御に追従し変化します。 温度設定範囲を変更した場合、設定温度表示は、制御に追従せず、設定した温度のままとなります。			
13	室内ファン	3速HI-ME-LO 2速HI-LO 2速HI-ME 1速	※	ファン風量が、急-強-弱の3速又はP急-急-強-弱の4速となります。 ファン風量が、急-弱の2速となります。 ファン風量が、急-強の2速となります。 ファン風量が1速のみで固定されます。			
14	ルーバ制御設定	ルーバ4位置停止 ルーバフリー停止	※	リモコン機能「14ルーバ制御設定」を変更する場合は、室内機能「04ルーバ制御設定」も合わせて変更してください。 ルーバの停止位置は、4位置より選択します。 ルーバの停止位置は、任意の位置に停止します。			
15	冷専／ヒーボン	ヒーボン 冷専	※				
16	外部入力設定	一台運転 全台同一運転	O	室内基板のCNTに外部入力すると、その室内ユニットが単独で外部入力に従い運転します。 室内基板のCNTに外部入力すると、同一リモコンネットワークの全台が外部入力に従い運転します。			
17	室温表示設定	室温表示無し 室温表示有り	O	通常の運転表示において、風量表示の代わりに室温を表示します。(親リモコンのみ切換可能)			
18	暖房準備表示	表示有り 表示無し	O	暖房準備表示を出さない様になります。			

運転／停止ボタン

(終了)

設定内容を記録して保管してください。

各制御の詳細は、技術資料等でご確認ください。

注1: 「※」印の初期設定は、接続される室内ユニット及び室外ユニットにより異なり、下記の通り自動判別されます。

機能番号	項目	初期設定	機種
リモコン機能02	自動運転設定	自動運転有効	「自動」モード選択可能な機種
		自動運転無効	「自動」モードの無い機種
リモコン機能06	風量切換	風量切換有効	室内ファン風量切換えが2速又は3速の機種
		風量切換無効	室内ファン風量切換えが1速のみの機種
リモコン機能07	風向切換	風向切換有効	オートスイングルーバ搭載機種
		風向切換無効	その他
リモコン機能13	室内ファン	3速HI-ME-LO 2速HI-LO 2速HI-ME 1速	室内機ファン風量3速の機種 室内機ファン風量2速の機種
リモコン機能14	ルーバ制御設定	ルーバ4位置停止	室内ファン風量切換えが1速のみの機種
室内機能04		ルーバフリー停止	床置FDF以外のオートスイングルーバ搭載機種
リモコン機能15	冷専／ヒーボン	ヒーボン	床置FDF
		冷専	ヒーボン機
室内機能17	外機制御	圧力制御標準 圧力制御切換	給気処理室内機以外 給気処理室内機

注3: ツイン・トリプル・ダブルツイン機の場合、室内機能設定は親室内ユニット・子室内ユニット各々設定してください。但し、「05 外部入力切替」「06 運転許可／禁止」は親室内ユニットのみで設定可能です。

注2: 高天井設定時のファンタツプ

ファンタツプ	標準	室内風量設定			
		P急-急-強-弱	急-強-弱	急-弱	急-強
高天井設定	高天井1 高天井2	UH-Hi-Me-Lo UH-UH-Hi-Me	Hi-Me-Lo UH-Hi-Me	Hi-Lo UH-Me	Hi-Me UH-Hi

機種によって、初期設定が高天井設定の機種もあります。

180時間でフィルターサインを表示します。
600時間でフィルターサインを表示します。
1000時間でフィルターサインを表示します。
1000時間でフィルターサインを表示し、その後、24時間経過したら強制停止します。

室内機能「04ルーバ制御設定」を変更する場合は、リモコン機能「14ルーバ制御設定」も変更してください。
ルーバの停止位置は、4位置より選択します。
ルーバの停止位置は、任意の位置に停止します。

運転許可／禁止制御を有効にします。

(マルチ室内ユニットのみ)
マルチ室内ユニットの場合、同一室外ユニットに接続された全室内ユニットを緊急停止させる時に使用します。
遠方発停端子「CNT-6」から停止信号が入った場合、全室内ユニットが緊急停止します。

暖房時の設定温度を+3.0℃補正します。
暖房時の設定温度を+2.0℃補正します。
暖房時の設定温度を+1.0℃補正します。

室内ユニットの吸込温度を+2.0℃補正します。
室内ユニットの吸込温度を+1.5℃補正します。
室内ユニットの吸込温度を+1.0℃補正します。

室内ユニットの吸込温度を-1.0℃補正します。
室内ユニットの吸込温度を-1.5℃補正します。
室内ユニットの吸込温度を-2.0℃補正します。

暖房サーモOFF時、弱風で運転します。
暖房サーモOFF時、設定風量で運転します。
電気集塵機を取り付けた場合は「設定風量」に設定してください。
暖房サーモOFF時、間欠運転します。
暖房サーモOFF時、ファンは停止します。
リモコンセンサ有効時は、自動的に「停止」に設定されます。
本体サーモの時は、設定しないください。

フロスト防止制御を動作させる室内熱交換温度の切換。

シングル機のみ有効
フロスト防止制御時に、室内ファンタツプを上げます。

冷房・除湿時ドレンポンポン
冷房・除湿+暖房時ドレンポンポン
冷房・除湿+暖房+送風時ドレンポンポン
冷房・除湿+送風時ドレンポンポン

冷房停止、または冷房サーモOFF後、ファン残留運転なし。
冷房停止、または冷房サーモOFF後、0.5時間ファン残留運転する。
冷房停止、または冷房サーモOFF後、1時間ファン残留運転する。
冷房停止、または冷房サーモOFF後、6時間ファン残留運転する。

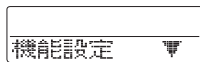
暖房停止、または暖房サーモOFF後、ファン残留運転なし。
暖房停止、または暖房サーモOFF後、0.5時間ファン残留運転する。
暖房停止、または暖房サーモOFF後、2時間ファン残留運転する。
暖房停止、または暖房サーモOFF後、6時間ファン残留運転する。

暖房停止、または暖房サーモOFF時、ファンは20分OFF5分弱風の間欠運転。
暖房停止、または暖房サーモOFF時、ファンは5分OFF5分弱風の間欠運転。

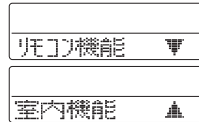
給気処理室内機を接続すると、圧力制御切換に自動的に設定されます。

機能設定の仕方

1. エアコンを停止させて、**セット**と**運転切換**ボタンを同時に長押しする。
表示が「機能設定 ▼」となります。



2. **セット**ボタンを押す。
3. 設定したい内容が「リモコン機能」か「室内機能」かを確認する。
4. **▲**または**▼**ボタンを押す。
「リモコン機能▼」又は「室内機能▲」を選びます。



5. **セット**ボタンを押す。

6. 【リモコン機能を選んだ場合】

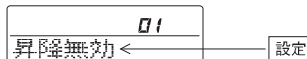
- ①「データ確認中」(約2秒間点滅表示)

↓
「01 グリル昇降設定」と、表示が切り換わります。

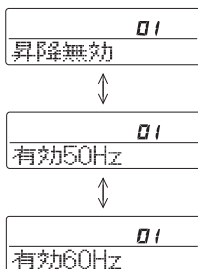


- ②**▲**または**▼**ボタンを押す。
リモコン機能一覧表の「番号と機能」が順番に表示されますので、機能を選びます。

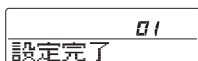
- ③**セット**ボタンを押す。
選択した機能の、現在の設定が表示されます。
(例)「昇降無効」←「01 グリル昇降設定」を選択した場合。



- ④**▲**または**▼**ボタンを押す。
設定を選びます。



- ⑤**セット**ボタンを押す。
「設定完了」が表示され、設定が完了します。
その後、「番号と機能」の表示に戻りますので、続けて設定する場合は、同じ要領で設定してください。
終了する場合は、7へお進みください。

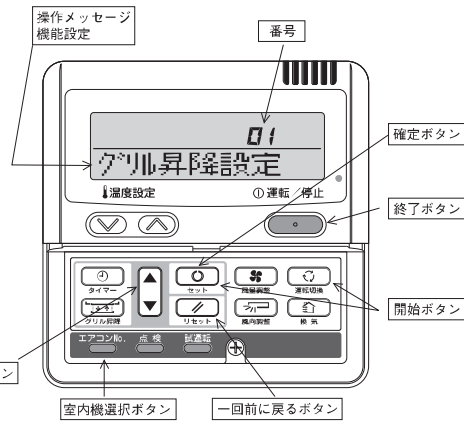


7. **運転／停止**ボタンを押す。
設定を終了します。

- ・設定の途中で、**運転／停止**ボタンを押しても終了します。但し、設定が完了していない内容は無効となりますのでご注意ください。
- ・設定の途中で、**リセット**ボタンを押すと、一回前の設定画面に戻ります。
- ・セット内容は、コントローラ内部に記憶され停電しても保存されております。

【現在設定の確認方法】

上記操作により、「番号と機能」を選び、**セット**を押した時に、最初に表示される「設定」が、現在設定されている内容です。(但し、「全台▼」を選んだ場合は、室内番号の最も若い機種の設定が表示されます。)

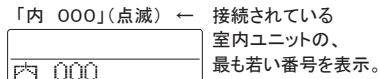


【室内機能を選んだ場合】

- ①「データ確認中」(データを読み込む間約2〜23秒点滅) ↓
「02 高天井設定」と、表示が切り換わります。
②へお進みください。

【注意】

- (1) 室内ユニットをリモコンに複数台接続している場合は、下記表示となります。



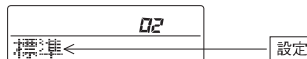
- (2) **▲**または**▼**ボタンを押す。
設定したい室内ユニットの番号を選びます。
「全台▼」を選択すると、全台同一の設定ができます。
- (3) **セット**ボタンを押す。

- ②**▲**または**▼**ボタンを押す。
室内機能一覧表の「番号と機能」が順番に表示されますので、機能を選びます。

(例)

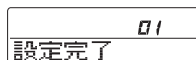


- ③**セット**ボタンを押す。
選択した機能の、現在の設定が表示されます。
(例)「標準」←「02 高天井設定」を選択した場合。



- ④**▲**または**▼**ボタンを押す。
設定を選びます。

- ⑤ **セット**ボタンを押す。
「設定完了」が表示され、設定が完了します。
その後、「番号と機能」の表示に戻りますので、続けて設定する場合は、同じ要領で設定してください。
終了する場合は、7へお進みください。



※ 室内ユニット複数台接続時、**エアコンNo**ボタンを押すと室内ユニット選択表示(例「内 000」)に戻りますので、室内ユニットを換えて設定する場合は、同じ要領で設定してください。

(3) 電気配線工事

PSB012D998A

電気配線工事は電気設備技術基準及び内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。

安全上のご注意

- 作業前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく作業してください。

安全のため必ずお守りください。

- 誤った作業、行為をしたときに生じる危害や損害を「**△警告**」と「**△注意**」に区分し、お守りいただく内容を「図記号」を使用し説明していますので、必ずお守りください。
- 「**△警告**」「**△注意**」の意味

 警告	守らないと、死亡または重大な障害にいたる危険性がある事項について説明しています。
 注意	守らないと、傷害や物的損害ある事項について説明しています。

- ここで使われる「図記号」の意味は右のとおりです。 絶対に行わない  必ず指示に従い行う
- 下記のことを必ず守ってください。守らないときは、感電による火災、感電又は過熱、ショートによる火災のおそれがあります。

△警告

- 電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。 
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。 
- 室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。
カバーの取付けが不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。 
- 別売品は、必ず当社指定の部品を使用する。また、取付けは専門業者に依頼する。
ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。 
- 改修は絶対にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。
修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。 
- エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。
据付けに不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。 
- 室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。
点検・修理にあたって、電源ブレーカが ON のままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。 
- 元電源を切った後に電気工事をする。
感電、故障や動作不良の原因になります。 

△注意

- アース（接地）を確実に行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。 
- 電源には必ず漏電遮断器（高調波対応品）を取付ける。
漏電遮断器が取付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。 
- 正しい容量の全極遮断するブレーカ（漏電遮断器・手元開閉器（開閉器＋B種ヒューズ）・配線遮断器）を使用する。
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。 
- 正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。 
- 電源配線は、電流容量に合った規格品の配線を使用する。
漏電や発熱、火災などの原因になることがあります。 
- 室内外接続用端子台および電源用端子台に単線とより線を併用しない。
また、異なったサイズの単線またはより線を併用しない。
端子台のねじゆるみや接触不良が生じ、発煙・発火の原因になることがあります。 
- 運転停止後、すぐに電源を切らない。
必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。 
- 電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。 

制御の切換

- 室内ユニットの制御内容を下記方法にて切換可能です。（☐は工場出荷時の設定）

スイッチNo.	制御内容
SW1	室内アドレス(10位)
SW2	室内アドレス(1位)
SW3	室外アドレス(10位)
SW4	室外アドレス(1位)
SW5-1 (注1)	ON 旧SL通信仕様固定 OFF 新SL/旧SL通信仕様自動判別
SW5-2	室内アドレス(100位)
SW6-1～4	機種容量
SW7-1	ON 運転チェックドレンポンプ運転試 OFF 通常運転

注1：通信方式であるスーパーリンクの仕様が選択できます。

旧 SL：ビル空調 2LX シリーズ，ガスヒートポンプ M7 シリーズ以前
新 SL：ビル空調 3LX シリーズ，ガスヒートポンプ M8 シリーズ以降
SW5-1 が OFF（工場出荷設定）の場合は，通信仕様（新 SL/旧 SL）を自動判別します。
旧 SL 通信仕様固定で使用する場合は，SW5-1 を ON にしてください。
各通信仕様の特徴，制限は室外ユニットに付属の据付説明書をご覧ください。

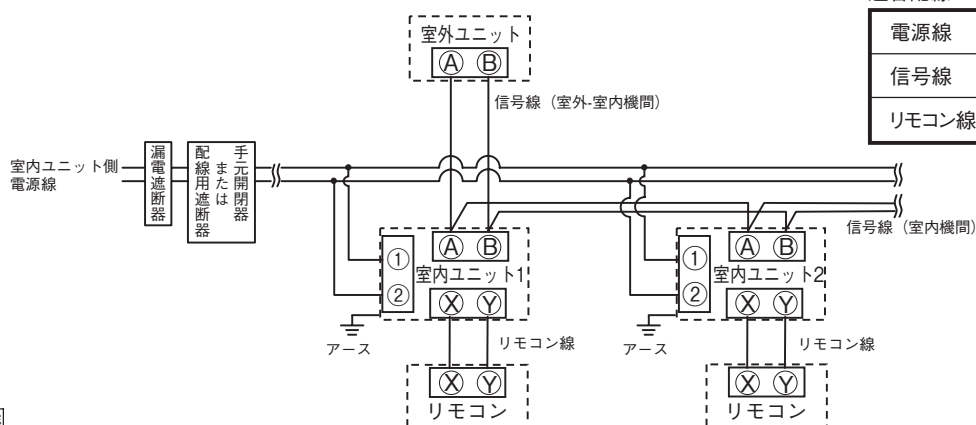
①電源・室内外配線の接続

●電気工事は電力会社の認定工事店で行ってください。本配線仕様は、下記に基づいて決定しています。

- ①配線は銅線以外のものを使用しないでください。
- ②電源は、室外ユニット・室内ユニット各々別電源としてください。
- ③電気ヒータ（別売品）はなしにて記載してあります。
注：電気ヒータを組込む場合は、電源仕様・配線仕様および配線本数が異なりますので、ご注意ください。
- ④同一系統内の室内ユニット電源は、必ず全て同時ON、同時OFFになるようにしてください。
- 配線の接続はねじの緩みのないように確実に行ってください。
- 電源は工事が完了するまで入れないでください。
- 専用の分岐回路を用い、他の機器と併用しないでください。併用した場合、電源ブレーカ落ちによる2次災害が生じる恐れがあります。
- 機器毎に設定された過電流及び漏電遮断器（感度電流30mA）を設置してください。
- D種接地工事を必ず行ってください。
- 信号線を途中接続する場合には、絶対に水が浸入しないような処置を行ってください。
- 天井裏内の配線（電源・リモコン・室内外接続線）はネズミ等により、かじられ切断することもありますので、なるべく鉄管等の保護管内に通してください。
- 室内ユニットに接続する電源線は3.5mm²まで使用可能です。5.5mm²以上の配線を使用する場合は、専用のプルボックスを使用し、室内ユニットへ分岐してください。
- 信号線と電源線の接続を間違えますと全ての基板が焼損する場合があります、ご注意ください。
①A-B信号線に誤って200V電源を接続しても初めの1回は保護します。
②電源投入15分経過後リモコンからユニットNo.(アドレス)が確認できない場合は、全ての信号線を確認して誤接続を修復してください。
③焼損基板のジャンパー線J10SL1を切り、コネクタCnK(黄) CnK1(白)をCnK2(黒)に差し替える。
④A-B端子台から基板までの配線に異常があれば交換してください。
- ユニットの外部では、リモコン線と電源線が直接接触しないように施工してください。
- 信号・リモコン用端子台に200V電源を絶対に接続しないでください。故障の原因となります。
- ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続
①ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続は、制御箱内の電源側端子台、信号側端子台に番号を合わせて接続してください。また、アース線は、電源側端子台アース端子に接続してください。
②電源には必ず漏電遮断器を取付けてください。漏電遮断器は、インバータ回路用遮断器（三菱電機製NV-Cシリーズまたは、その同等品）を選定してください。
③漏電遮断器が地絡保護専用の場合には、漏電遮断器と直列に手元開閉器（開閉器+B種ヒューズ）または、配線用遮断器が必要となります。
④手元開閉器はユニットの近傍に設置ください。
- 補助電気ヒータ組込の場合は、電気ヒータ組込時の説明書・または技術資料で確認すること。

適合配線

電源線	2.0~3.5mm ²
信号線	0.75~1.25mm ²
リモコン線	0.3~2.0mm ²



電源仕様

①室内機電源仕様(②~④以外の機種)								
機種容量	漏電遮断器定格	開閉器容量	ヒューズ	電源線太さ	配線こう長	信号線	リモコン線	アース線
22-36形	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm ² ×2	298m	0.75~1.25mm ² ×2	0.3mm ² ×2心	2.0mm ²
45.56形					275m			
71-90形					179m			
112-280形					123m			
②高静圧ダクト、給気処理ユニット、加湿器付外気処理ユニット								
45-90形	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm ² ×2	149m	0.75~1.25mm ² ×2	0.3mm ² ×2心	2.0mm ²
112,140形					85m			
224,280形					28m			
③床置形システムパッケージ								
112形	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm ² ×2	51m	0.75~1.25mm ² ×2	0.3mm ² ×2心	2.0mm ²
140,160形					34m			
224,280形	20A 30mA 0.1sec		20A	3.5mm ² ×2	32m			
④全熱交換器付外気処理ユニット								
750, 1000形	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm ² ×2	48m	0.75~1.25mm ² ×2	0.3mm ² ×2心	2.0mm ²

注1. 配線こう長は、電圧降下2%とした場合を示します。上記の配線こう長を越える場合は、内線規程に従い、配線太さを見直してください。

注2. リモコン線の延長距離が100mを越える場合は、③リモコンの取付けに従い、配線太さを見直してください。

冷暖フリーマルチの場合

分流コントローラの配線

●本ユニットを冷暖フリーマルチとして使用する場合は分流コントローラ（別売品）に付属の据付説明書をご覧ください。

②アドレス設定

アドレス設定は、(1) 手動アドレス設定、(2) 自動アドレス設定の2方法ができます。

自動アドレス設定の場合、アドレス設定後、ワイヤードリモコンからアドレスの変更が可能です。

設定方法は、室外ユニットに付属の説明書をご覧ください。

③リモコンの取付け（別売部品）

●次の位置へ取付けないでください。

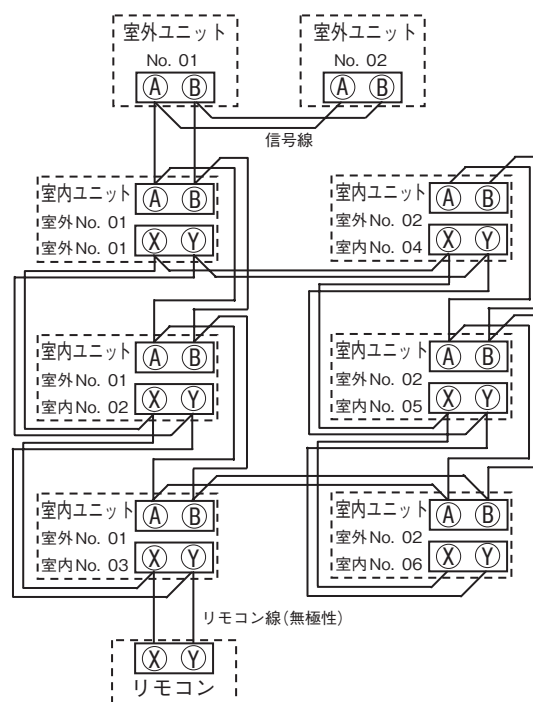
- 直射日光の当たる所
- 発熱器具に近い所
- 湿気の多い所、水が飛散する所
- 取付面が発熱・結露する所
- 油の飛沫や蒸気が直接触れる所
- 取付面の凹凸がある所

リモコン取付・配線

- ①リモコンの取付けは、リモコン付属の説明書に従ってください。
- ②リモコン線は、 $0.3\text{mm}^2 \times 2$ 心の電線またはケーブルを使用してください。配線の被覆は1mm以上のものを使用してください。（現地手配）
- ③リモコン線の総延長は600mです。
延長距離が100mを超える場合は、下記サイズに変更してください。但し、リモコンケース内を通る配線は最大 0.5mm^2 以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズを変更してください。
 100～200m以内・・・・・・ $0.5\text{mm}^2 \times 2$ 心
 300m以内・・・・・・ $0.75\text{mm}^2 \times 2$ 心
 400m以内・・・・・・ $1.25\text{mm}^2 \times 2$ 心
 600m以内・・・・・・ $2.0\text{mm}^2 \times 2$ 心
- ④誤動作する場合がありますので、多芯ケーブルの使用は避けてください。
- ⑤リモコン線はアース（建物の鉄骨部分または金属など）からできるだけ離してください。
- ⑥リモコン線は確実にリモコンと室内ユニットの端子台に接続してください。（極性はありません）

1 リモコンによる複数台室内ユニット制御

- ①1つのリモコンで複数台のユニット（最大16台）をグループ制御できます。
同一モード、同一室温設定で運転します。
- ②グループ制御用に各室内ユニット間を2心のリモコン線にて渡り配線してください。
- ③室内・室外No.を手動アドレス設定にてセットしてください。
○室内ユニット基板上的ロータリースイッチSW1, SW2及びディップスイッチSW5-2により、室内No.を重複しないように設定してください。
- ④右図のように室外ユニットが複数台の場合でもリモコン複数台制御可能です。



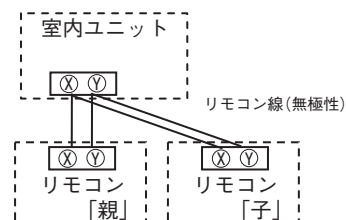
複数リモコン使用時の親子設定

室内1台（又は1グループ）に対して、最大2個までリモコンを接続できます。後操作優先で運転します。

ワイヤードリモコン2台、あるいはワイヤードリモコン＋ワイヤレスキット、あるいはワイヤレスキット2台のいずれかの組合せができます。

1個を「親」に、残りを「子」に設定してください。

- 注意 リモコンセンサ有効設定は親リモコンのみ可能です。親リモコンを室温検知させる位置に取付けてください。



③リモコンからの操作・確認方法

ecoタッチリモコンから操作

マルチ

1 リモコン系統内の接続ユニットの接続台数を確認します。

[メニュー]⇒[次頁]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[パスワード]⇒[エアコンNo.表示]

2 リモコン系統内の接続ユニットの接続を個別に確認します。

停止中、[メニュー]⇒[次頁]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[パスワード]⇒[エアコンNo.表示]⇒[個別送風運転]

3 親子リモコン設定

[メニュー]⇒[次頁]⇒[リモコン設定]⇒[パスワード]⇒[リモコン親子設定]

4 運転データの確認方法

[メニュー]⇒[次頁]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[パスワード]⇒[運転データ表示]

5 点検表示の確認方法

[メニュー]⇒[次頁]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[パスワード]⇒[点検表示]

6 リモコンからの冷房試運転方法

[メニュー]⇒[次頁]⇒[据付設定]⇒[パスワード]⇒[試運転]⇒[冷房試運転]⇒[開始]

7 リモコンからのドレンポンプ試運転方法

[メニュー]⇒[次頁]⇒[据付設定]⇒[パスワード]⇒[試運転]⇒[ドレンポンプ試運転]⇒[運転]

標準リモコンから操作

エアコンNo.ボタンを押すと室内アドレスが表示されますので、▲▼ボタンで接続されている室内アドレスを1台ずつ確認してください。

停止中、エアコンNo.ボタンを押すと室内アドレスが表示されますので、▲▼ボタンで接続されている室内アドレスを1台選択⇒[運転切換]を押すと送風運転します。

子リモコンの切換えスイッチ（SW1）を「子」に設定してください

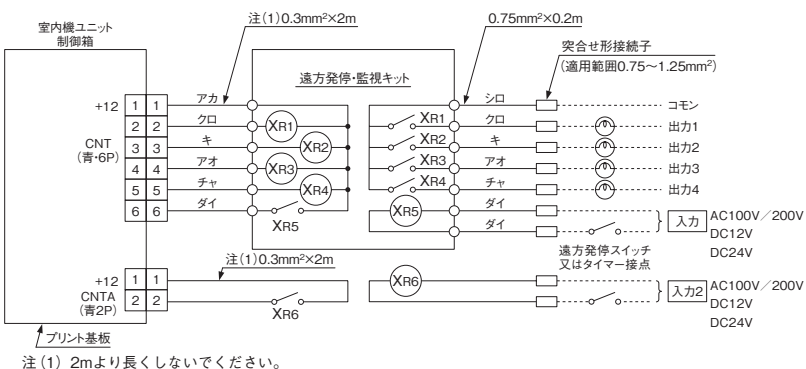
[点検]⇒運転データ表示▼⇒[セット]⇒データ確認中⇒室内機選択⇒▲▼ボタンで接続されている室内アドレスを1台選択⇒[セット]⇒データ確認中⇒▲▼データ選択

[点検]⇒運転データ表示▼⇒[▼]⇒エラーデータ表示▲⇒[セット]⇒データ確認中⇒データ表示

①[運転/停止]を押して、運転します。
②[運転切換]により、「冷房」を選択します。
③[試運転]を3秒以上押します。表示が、「冷房試運転▼」となります。
④「冷房試運転▼」の表示で、[セット]ボタンを押すと、冷房試運転を開始します。表示は、「冷房試運転」となります。

①[試運転]を3秒以上押します。表示が「冷房試運転▼」となります。
②[▼]を一度押し、「ドレンポンプ運転」を表示させます。
③[セット]を押すと、ドレンポンプ運転を開始します。表示：「セットで停止」

④室内基板CNTコネクタの機能



- XR1~4はDC12Vリレー（オムロン製LY2F相当品）
- XR5,6は、DC12、24VまたはAC100、200Vリレー（オムロン製MY2F相当品）
- CNTコネクタ（現地側）メーカ、形式
コネクタ：モレックス製 5264-06
端子：モレックス製 5263T
- 遠方発停・監視キットを別売品にて準備しておりますのでご利用ください。
- 冷暖フリーマルチ用分流コントローラの信号線を接続する場合、分流コントローラに付属の据付説明書に従い、CNTあるいはCNT2に接続してください。
- CNT Aコネクタは、FDT他に搭載仕様書で確認願います>（現地側）メーカ、形式
コネクタ：日本圧着端子JST製 XAP02V-1-E
端子：日本圧着端子JST製 SXA-01T-P0.6

出力1	エアコン運転出力(エアコンON時XR1=ON)
出力2	暖房出力
出力3	サーモON出力(サーモON時XR3=ON)
出力4	エアコン点検出力(エアコン点検時XR4=ON)
入力	出荷時 XR5 OFF⇒ON エアコン運転
	XR5 ON⇒OFF エアコン停止
※現地切換により、機能・制御が変わります。	
入力2 ※ (FDT他)	出荷時 XR6 OFF⇒ON エアコン運転
	XR6 ON⇒OFF エアコン停止
※現地切換により、機能・制御が変わります。	

※室内機能設定参照

⑤リモコンからの操作・設定

A : ecoタッチリモコン付属の取扱説明書を参照してください。
 B : ecoタッチリモコン付属の据付工事説明書を参照してください。
 C : インターネットよりユーティリティソフトを配信中です。
 ○ : ecoタッチリモコンと、ほぼ同等の機能設定・操作が可能です。
 △ : ecoタッチリモコンと、類似の機能設定・操作が可能です。
 ※1 RC-DX1、RC-DX1Gには、この機能はありません。

設定および表示項目	詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン
1. リモコンネットワーク			
1 複数室内機制御	リモコン1台(リモコンネットワーク内)に最大16台室内機を接続 制御できます。 室内機側にアドレス設定します。		○
2 親子リモコン設定	リモコンネットワーク内に2個のリモコン(含むワイヤレスオプション)を接続できます。 片側を「親」とし、片側を「子」として設定します。	B	○
2. TOP画面・SW操作			
1 メニュー	制御・設定・詳細確認等の項目を選択します。3～20項	A	
2 運転モード	冷房・暖房・送風・自動・除湿を設定します。	A	○
3 設定温度	室温を0.5℃単位で設定します。	A	○
4 風向	風向を設定します。 4位置／フリー	A	○
5 風量	風量を設定します。	A	○
6 タイマー設定	タイマー運転を設定します。	A	○
7 運転／停止SW	運転開始します。／停止します。	A	○
8 ハイパワーSW	ハイパワー運転を開始します。	A	
9 省エネSW	省エネ設定で運転を開始します。	A	
3. 省エネ設定			
1 切忘れ防止タイマー 管理者パスワード	運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ●設定時間は30～240分(10分単位)まで選択可能です。 ●設定「有効」の場合、毎回、タイマーが作動します。	A	△
2 ピークカットタイマー 管理者パスワード	最大能力を制限することで消費電力を削減します。 制御の開始時刻と終了時刻、能力制限率を設定します。 ●1日最大4パターンまで設定可能です。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●能力制限率は0・40～80%(20%単位)から選択可能です。 ●休日設定により、無効設定も可能です。	A	
3 設定温度自動復帰 管理者パスワード	設定時間後に設定した温度に戻ります。 ●暖房モード／冷房モード他 各々設定可能です。 ●設定時間は20～120分まで選択可能です。 ●設定時間は10分単位で設定可能です。	A	△
4. グリル昇降			
1 ラクリーナパネル制御 ラクリーナパネル組合せの場合	ラクリーナパネル グリルの昇降操作をします。 [メニュー]⇒[据付設定]⇒[グリル昇降操作]の設定が必要です。	A	○
2 降下長設定 管理者パスワード	グリル昇降長さを設定します。 ●0.1～4.0mの範囲で設定できます。 ●設定長さは0.1m単位で設定可能です。 ●接続室内ユニット毎に設定できます。	A	○
3 ダスト回収リセット お掃除パネル組合せの場合	ダスト回収後にダスト回収タイマーをリセットします。 ●回収日を日付設定している場合は次回設定ができます。	A	
5. フリーフロー設定			
フリーフロー設定	各吹出口のルーバの作動範囲(上限位置・下限位置)を設定します。	A	○
6. 換気			
1 換気 換気機器を組合せの場合	換気のON/OFF操作を行います。 [メニュー]⇒[リモコン設定]⇒[換気設定] の設定が必要です。 ●換気設定を「単独操作」に設定した場合、換気機器の運転/停止ができます。	A	○

設定および表示項目	詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン
7. 見てみて			
見てみて	室内温度、室外温度、運転時間、消費電力量を表示します。 ●室内ユニット-室外ユニットの組合せによって表示できない場合があります。	A	
8. お掃除パネル設定	管理者パスワード		
1 お掃除自動設定	自動清掃の有効/休止を設定します。	A	
2 清掃時間帯設定	自動清掃を開始する時間帯を設定します。	A	
3 清掃間隔設定	自動清掃する最小の間隔を設定します。	A	
4 ダスト回収設定	ダストの回収時期を設定します。	A	
5 ブラシ清掃回数設定	ブラシの清掃回数を設定します。	A	
9. フィルターサインリセット			
1 フィルターサイン解除	フィルターサインの解除を行います。	A	○
2 次回清掃日の設定	次回清掃日の設定を行います。	A	
10. 初期設定			
1 時刻設定	現在の日付・時刻を設定および修正を行います。 ●80時間以内の停電の場合、バックアップ電源により時計は動き続けます。	A	△
2 時刻表示設定	時刻表示のあり/なし、12H/24H、AM/PM位置、を設定します。	A	
3 サマータイム補正	現在時刻に対し、+1時間の補正を行います。	A	
4 コントラスト調整	液晶の濃度の調整を行います。	A	
5 バックライト	バックライトの有効/無効、点灯時間を設定します。	A	
6 ブザー音	タッチパネル操作時のブザー音のあり/なしを設定します。		
11. タイマー設定			
1 時間入タイマー	停止後、運転させたい時間を設定します。 ●1～12時間の範囲を1時間単位で設定可能です。 ●運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
2 時間切タイマー	運転後、停止させたい時間を設定します。 ●1～12時間の範囲を1時間単位で設定可能です。	A	△
3 時刻入タイマー	運転開始時刻を設定します。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●1回のみ/毎日の切替が可能です。 ●運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
4 時刻切タイマー	運転停止時刻を設定します。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●1回のみ/毎日の切替が可能です。	A	△
5 タイマー設定内容確認	各タイマー設定内容を一覧できます。	A	
12. ウィークリータイマー設定			
1 ウィークリータイマー 管理者パスワード	1週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。 ●1日最大8パターンまで設定可能です。 ●設定時刻は5分単位で設定可能です。 ●休日設定により、無効設定も可能です。 ●運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△ △ △
13. るす番運転			
1 るす番運転 管理者パスワード	お部屋を留守にする時、お部屋が高温/低温にならないように温度を保ちます。 ●外温と制御温度により冷房/暖房を行います。 ●設定温度、風量の設定が可能です。	A	

設定および表示項目	詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン
14. 管理者設定	管理者パスワード		
1 操作制限設定	●操作の許可/禁止を設定します。 [運転/停止][設定温度切換][運転モード切換][風向切換] [風量切換][ハイパワー運転][省エネ運転][見てみて][タイマー設定] ●操作時の管理者パスワード要求を設定します。 [フリーフロー設定][グリル自動昇降][ウィークリータイマー設定][言語切換設定※1]	A	△
2 室外静音タイマー	静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 ●静音運転開始時刻と終了時刻を設定可能です。 ●設定時刻は1日1回、5分単位で設定可能です。	A	△
3 設定温度の範囲設定	設定温度範囲を制限します。 ●運転モードによる温度範囲の制限が可能です。	A	△
4 設定温度刻み切換	設定温度の刻み(0.5℃/1.0℃)を設定します。	A	
5 設定温度表示切換※1	設定温度の表示の仕方を切り換えます。	A	
6 リモコン表示設定	リモコン名称、室内ユニット名称を登録します。 室温表示のあり/なしを設定します。 (点検コード表示)(暖房準備表示)(除霜運転中表示) (自動冷暖表示)(リモコン・室温・外温表示※1)のあり/なしを設定します。	A	○ △
7 管理者パスワード変更	管理者パスワードの変更を行います。 管理者パスワードのリセットを行います。	A B	
15. 言語切換※1	リモコンに表示する言語を選択します。 ●日本語/Englishの選択が可能です。	A	
16. 据付設定	サービスパスワード		
1 据付日登録	据付日を登録した場合、点検日表示を行います。	B	
2 サービス情報入力	リモコンに連絡先を登録することができます。 ●連絡先名を半角26文字相当※1以内で登録できます。 ●連絡先TEL番号を13文字以内で登録できます。	B	
3 試運転	試運転の開始/停止を制御できます。		
冷房試運転	設定5℃ 30分間運転します。	B	○
ドレンポンプ試運転	ドレンポンプのみ運転します。		○
お掃除試運転	フィルター清掃 ブラシ清掃運転します。 お掃除パネル組合せの場合		
周波数固定運転	インバーター圧縮機の運転Hzを固定します。		○
4 グリル昇降操作設定	ラクリーナパネル操作を有効に設定します。 ラクリーナパネル組合せの場合	B	○
5 ダクト機静圧補正※1	機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニット組合せの場合に操作できます。 ●接続室内ユニット毎に個別に設定できます。	B	
6 自動アドレス変更	個別発停マルチシリーズ自動アドレス番号を変更することができます。	B	△
7 親室内機アドレス設定	個別発停マルチシリーズ 設定された親ユニットのみ運転モード変更を許可し、親を設定したユニットは親ユニットから送られた運転モードに従って運転します。	B	△
17. リモコン機能設定	サービスパスワード		
1 リモコン親子設定	リモコン親子設定の変更ができます。	B	○
2 吸込センサー制御※1	1台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる吸込温度センサーを選択できます。 ●個別/親機/平均の選択が可能です。	B	
3 リモコンセンサー	リモコンセンサーに切り替えるモードを設定できます。 冷房/暖房で切換可能です。	B	△
4 リモコンセンサー補正	リモコンセンサー検知温度を補正できます。冷房/暖房 別々に補正可能	B	△
5 運転モード選択	各運転モード毎に有効/無効を設定できます。	B	△
6 温度単位設定※1	設定温度の単位を設定します。 ●℃/°Fの選択が可能です。	B	
7 ファン速度	ファン速度選択が可能です。	B	○
8 外部入力設定	1つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、CnT入力の適用範囲が設定されます。	B	○
9 換気設定	換気ユニット組合せ制御が設定できます。	B	○
10 ルーバー制御	[4位置停止]/[フリー停止]の切換ができます。	B	○
11 停電補償	停電復帰した場合の制御内容を設定できます。	B	○
12 設定温度自動設定	設定温度自動の有効/無効を選択できます。	B	
13 風量自動設定	風量自動の有効/無効を選択できます。	B	

設定および表示項目	詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン
18. 室内機能設定	サービスパスワード		
1 高天井設定	室内ユニットの風量タップを設定します。	B	○
2 フィルターサイン	フィルターサイン点灯タイマーの設定が換えられます。	B	○
3 外部入力1設定	外部入力1の制御内容を換えられます。	B	○
4 外部入力1方式	外部入力1の信号方式を換えられます。	B	○
5 外部入力2設定	外部入力2の制御内容を換えられます。	B	
6 外部入力2方式	外部入力2の信号方式を換えられます。	B	
7 暖房室温補正	暖房サーモ判定値を0～+3℃の範囲で補正できます。	B	△
8 吸込温度補正	吸込センサー検知温度を±2℃の範囲で補正できます。	B	△
9 冷房ファン制御※1	冷房サーモOFF時のファン制御を変更できます。	B	○
10 暖房ファン制御	暖房サーモOFF時のファン制御を変更できます。	B	○
11 フロスト防止温度	冷房中室内ユニットの凍結防止制御の判定温度を変更できます。	B	○
12 フロスト防止制御	冷房中室内ユニットの凍結防止制御作動後のファンタップアップを変更できます。	B	○
13 ドレンポンプ運転	冷房・除湿以外の運転モードでのドレンポンプ運転範囲を設定できます。	B	○
14 冷房ファン残留運転	冷房停止・冷房サーモOFF後のファン残留運転を設定できます。	B	○
15 暖房ファン残留運転	暖房停止・暖房サーモOFF後のファン残留運転を設定できます。	B	○
16 暖房ファン間欠	暖房停止・暖房サーモOFFファン残留運転後のファン運転を設定できます。	B	○
17 送風サーモ運転	送風時のサーキュレータ運転を設定できます。	B	
18 外調機設定	マルチユニット外調機単独運転時の圧力制御を変更できます。	B	
19 運転モード自動設定	運転モード自動の判定方法を3種類から選択できます。	B	
20 サーモ判定切換	サーモ判定を室外温度で補正することができます。	B	
21 風量自動切換	風量自動運転における自動切換範囲を設定できます。	B	
22 室内過負荷アラーム設定※1	運転開始30分後、設定温度と吸込温度の差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力(CNT-5)から過負荷アラーム信号を送信します。	B	
19. サービスメンテナンス	サービスパスワード		
1 エアコンNo.	リモコン1台に16台の室内ユニットを接続できます。個別送風運転で確認できます。	B	○
2 次回点検日	次回の点検日を登録することができます。点検日に連絡先の表示をします。	AB	○
3 運転データ表示	室内ユニット+室外ユニットの運転データをモニターすることができます。	B	○
4 点検表示			
異常履歴表示	過去の異常履歴(点検コード・発生時間)を表示します。	B	△
異常時運転データ表示	直前の異常発生時の運転データを表示できます。	B	○
異常時運転データ消去	異常時運転データが消去されます。	B	
定期点検リセット	定期点検タイマーをリセットします。	B	○
5 お掃除パネル点検	お掃除パネルの詳細点検操作ができます。	B	
6 室内設定保存	接続室内ユニット基板設定内容をリモコンへバックアップすることができます。	B	
7 特殊操作	[室内アドレス消去][CPUリセット][初期化設定][タッチパネル調整]の操作ができます。	B	△
20. 困ったときは..			
1 連絡先表示	登録した連絡先・TEL番号を表示します。 QRコードでインターネット接続⇒点検コード内容を検索できます。	A	
2 サービスを依頼される前にQ&A	Q&Aが表示されます。	A	
21. 点検表示			
点検表示確認	異常発生時の表示	A	△
22. パソコン接続			
USB接続	ウィークリータイマー設定他、パソコンから一括設定ができます。	C	

◆組合せ室内・室外ユニットの仕様により、本内容が機能しない場合もあります。

9. マイコン運転制御機能

2014 年冷熱ハンドブック サービス編をご覧ください。

10. 電裝品故障診斷要領

下記に記載する事項以外は、2014 年冷熱ハンドブック サービス編をご覧ください。

(1) 室内ユニット基板交換要領

お願い ワイヤードリモコン使用機種は制御基板交換後、電源を投入した後に「リモコンによる機能設定」を参照し、室内ユニットの機能や用途に合わせて設定を行ってください。

安全上のご注意

- 交換工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行なってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

表示と意味は次のようになっています。

	警告	誤った作業を行った時に、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
	注意	誤った作業を行った時に、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。

- 基板交換完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。

 敬告

- 交換作業は、販売店または専門業者に依頼する。
ご自分で作業をされ不備があると、感電や火災の原因になります。
- 作業は、この交換要領書に従って確実に行う。
作業に不備があると、感電や火災の原因になります。
- 元電源を切った後、交換工事をする。（高電圧のため電源切断後 1 分間は作業をしないこと。）
通電状態での基板交換は、感電・故障・動作不良の原因になります。ファンモータ他の接続機器破壊の原因になります。
- 配線は確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱・火災の原因になります。
- 基板交換の作業終了後、電源投入前に基板と配線が正しく接続されていることを確認する。
交換作業に不備があると、感電や火災の原因になります。

注意

- 制御基板にコネクタを接続する際は、基板が変形しないように接続する。破損・故障の原因になります。
- コネクタは、確実に挿入しストッパが掛ける。火災・動作不良の原因になります。
- 配線は、かみ込みし、つばらないように結束する。断線・変形して不具合・感電の原因になることがあります。

(a) 制御基板

- (i) アドレス設定・仕様切換スイッチ設定をしてください。

交換する基板と同一設定としてください。

項目	スイッチ	制御内容	
アドレス	SW1.2 (青)	室内アドレス 00～99	
	SW5-2	OFF	室内アドレス 100未満
		ON	室内アドレス 100以上
	SW3.4 (緑)	室外アドレス	

項目	スイッチ	制御内容	
新旧	SW5-1	OFF	新旧ISL通信自動判定
		ON	ISL通信に固定
試運転	SW7-1	OFF	通常運転
		ON	運転チェック/ドレンポンプ試運転
GHP	J1	無	シングル
		有	マルチ

- (ii) 容量切換スイッチ (SW6, 8) により容量を設定してください。

交換する基板と同一になります。

機種 設定	SW6				SW8	機種 設定	SW6				SW8
	-1	-2	-3	-4	-1		-1	-2	-3	-4	-1
P22	—	—	—	—	—	P56	—	○	○	—	—
P28	○	—	—	—	—	P71	—	—	—	○	—
P36	—	○	—	—	—	P80	○	—	—	○	—
P45	—	—	○	—	—	P90	—	○	—	○	—

機種 設定	SW6				SW8
	-1	-2	-3	-4	-1
P112	○	○	—	○	—
P140	—	—	○	○	—
P160	○	—	○	○	—

○ : 0N — : 0FF



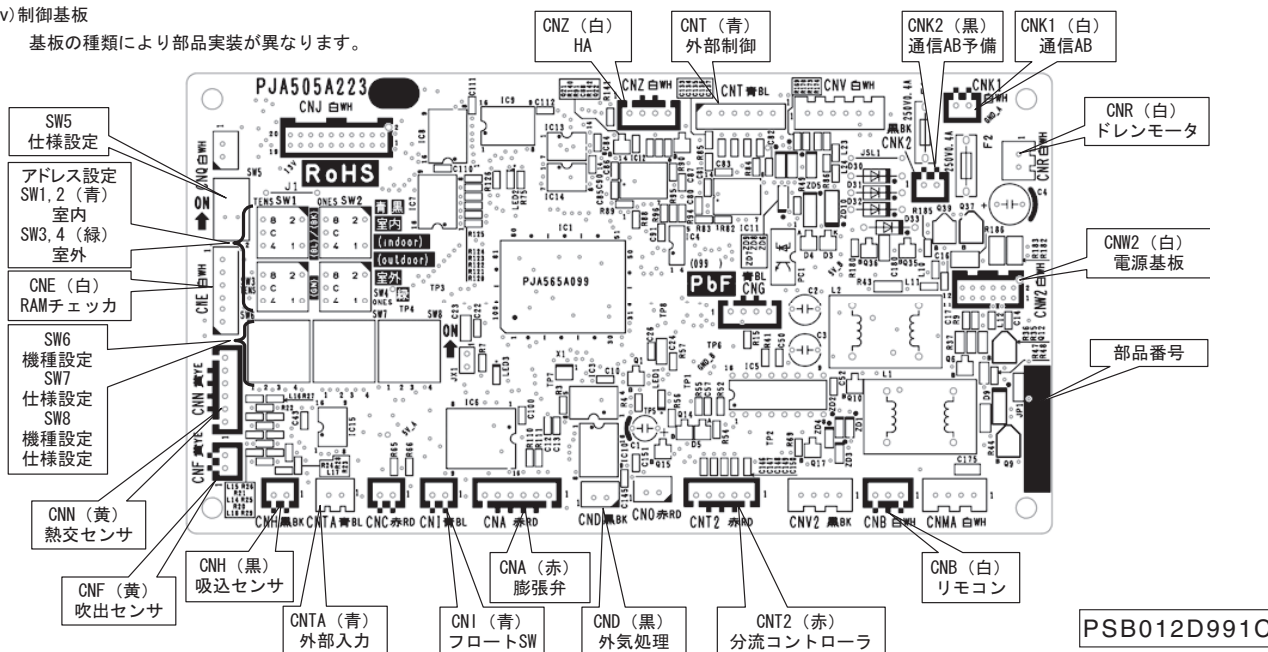
- (iii) 基板を交換してください。

- 1) 基板にコネクタ接続されている配線を全て取り外した後、基板を交換してください。
- 2) 基板は、配線類をかみ込まないように固定してください。
- 3) 基板へコネクタ接続してください。基板上的のコネクタ色と配線コネクタ色を合わせて接続してください。

(P56の場合)

- (iv) 制御基板

基板の種類により部品実装が異なります。



(b)電源基板

安全上のご注意

- 交換工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行なってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。

	警告
	注意

誤った作業を行った時に、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。

誤った作業を行った時に、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。

- 基板交換完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。

警告

- 交換作業は、販売店または専門業者に依頼する。
ご自分で作業をされ不備があると、感電や火災の原因になります。
- 作業は、この交換要領書に従って確実に行う。
作業に不備があると、感電や火災の原因になります。
- 元電源を切った後、交換工事をする。（電源を切って1分以上経過後に実施してください。）
通電状態での基板交換は、感電・故障・動作不良の原因になります。ファンモータ他の接続機器破壊の原因になります。
- 配線は確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱・火災の原因になります。
- 基板交換の作業終了後、電源投入前に基板と配線が正しく接続されていることを確認する。
交換作業に不備があると、感電や火災の原因になります。

注意

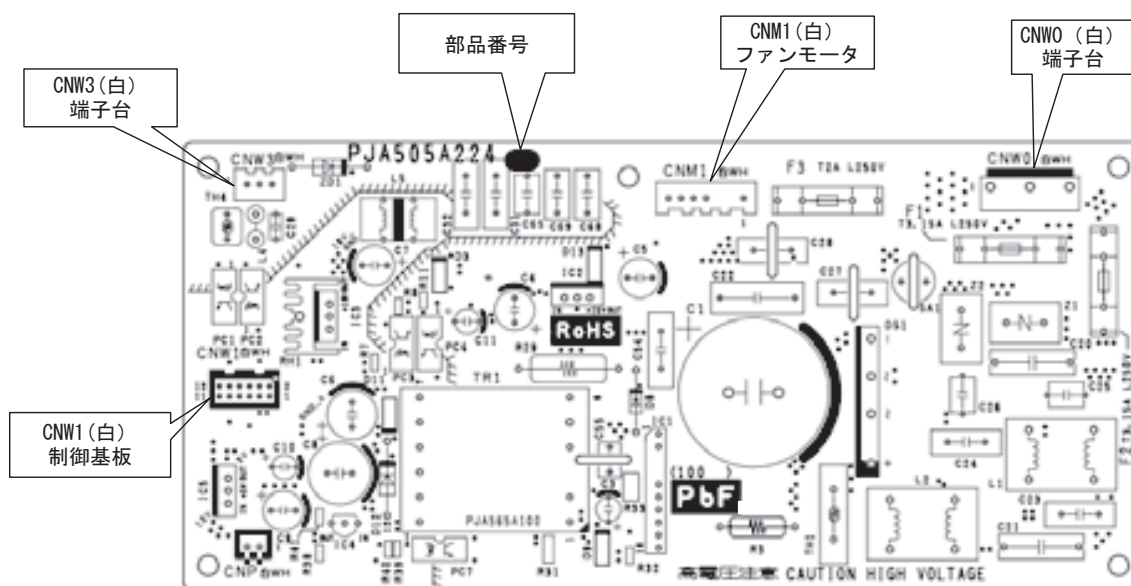
- 基板にコネクタを接続する際は、基板が変形しないように接続する。破損・故障の原因になります。
- コネクタは、確実に挿入しストッパを掛ける。火災・動作不良の原因になります。
- 配線は、かみ込んだり、つっぱらないように結束する。断線・変形して不具合・感電の原因になることがあります。

(i) 基板を交換してください。

- 1) 端子台（CNW0）に接続されている配線（黄／緑）のボックスねじ止め部のねじを外してください。
- 2) 基板にコネクタ接続されている配線を全て取り外した後、基板を交換してください。
- 3) 基板は、配線類をかみ込まないように固定してください。
- 4) 基板へコネクタ接続してください。基板上のコネクタ色と配線コネクタ色を合わせて接続してください。
- 5) 1. で外した配線を元の場所にねじ止めしてください。

(ii) 電源基板

基板の種類により部品実装が異なります。



11. 別売品

(1) ワイヤレスキット (RCN-EN3G)

PFA012D619

⚠ 警告

●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。



●室内機の修理・点検作業に際して「室外ユニット電源ブレーカ」を必ず落とす。
点検・修理にあたって、室内ユニット電源ブレーカがONのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。



●元電源を切った後に電気工事を行う。
感電、故障や動作不良の原因になります。



⚠ 注意

●次の場所への据え付けは避ける。

ワイヤレスキットの故障や変形の原因になることがあります。

(1) 直射日光の当たる所

(4) 蛍光灯の近く

(2) 発熱機器の近く

(5) 他の赤外線通信機器の光線が受光部に当たる所

(3) 湿気の多い所・水のかかる所

(6) ワイヤレスリモコンの操作場所から見て、障害物に隠れてしまう所



① 付属品

次の付属品を確かめてください。

受信部	リモコン用ホルダー	単 4 乾電池	木ねじ	ワイヤレスリモコン
				
1 個	1 個	2 個	2 個	1 個

② 取付前の準備

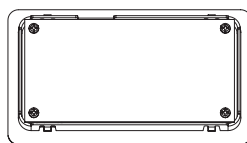
現地設定

受信基板上のスイッチの設定は以下の通りです。

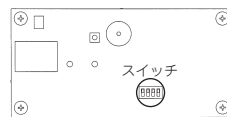
SW 1	複数台設置時の 混信誤動作防止	ON：通常(1ch) OFF：切換(2ch)
SW 2	受信部の 親子切換	ON：親 OFF：子
SW 3	ブザー音の 有無	ON：有り OFF：無し
SW 4	停電補償	ON：有効 OFF：無効

現地設定の変更方法

1. 受信部裏面のねじ (4 本) を外し、基板を取り外してください。
2. 基板上 (7 セグメント表面側) のスイッチを変更してください。



受信部裏面



スイッチ



出荷時

3. SW 1 を OFF にする場合はワイヤレスリモコン側も設定変更してください。

設定変更は、本説明書 **④受信部** の **混信防止設定** をご覧ください。

※複数台設置時の受信可能範囲は、本説明書 **⑤受信部** の **ワイヤレスリモコンの操作距離** をご覧ください。

複数リモコン使用時の親子設定

1 つのグループに対して最大 2 個まで受信部・ワイヤードリモコンを接続できます。

その際は 2 つの受信部・ワイヤードリモコンのうち、いずれか一方の基板上のスイッチを変更し、子機設定とする必要があります。

ワイヤードリモコンの設定変更は、ワイヤードリモコン付属の説明書をご覧ください。

③ 受信部の取付け

本ワイヤレスキットの受信部は、パネルのカバーと交換することにより取付け可能です。

注意：本体吊り込み前に受信部を取り付けてください。

吊り込み後に取り付ける場合、高所作業となり、転倒などによりケガの恐れがあります。

①カバーを取り外し

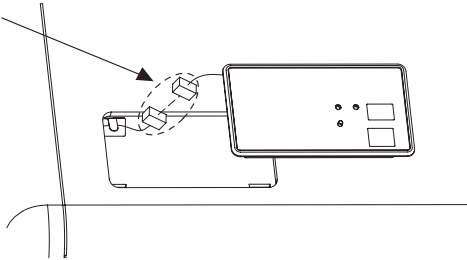
カバーの溝（2箇所）に工具を挿し、軽くねじると外れます。

②配線の接続

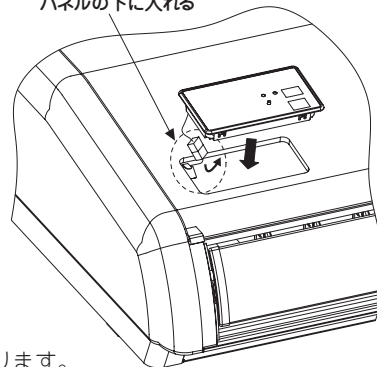
受信部の配線とパネル穴部の配線を接続してください。

※注意：配線を固定しているクランプは外さないでください。

コネクタ接続



パネルの下に入れる

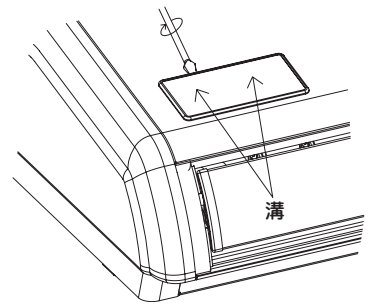


③受信部の取付け

右図の様にコネクタをパネルの下に入れ、受信部の向きに注意し、パネルへ取り付けてください。

注意：コネクタは受信部を取り付ける前に接続してください。

取付後にコネクタを接続する場合、パネルを外す必要があります。



④ ワイヤレスリモコン

●リモコンを下記場所に設置しない。リモコンの故障や変形の原因になることがあります。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| (1) 直射日光の当たる所 | (4) 取付面が発熱・結露する所 |
| (2) 発熱器具の近く | (5) 油の飛沫や蒸気が直接触れる所 |
| (3) 湿気の多い所・水のかかる所 | (6) 取付面に凹凸がある所 |

リモコンホルダーの据付

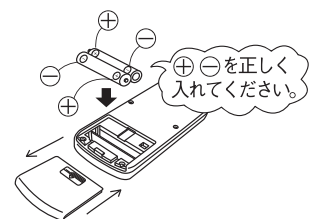
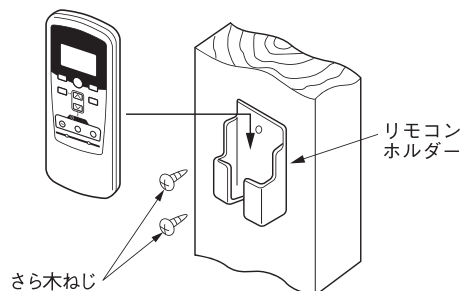
1. リモコンホルダーを付属のねじで固定してください。

※ホルダー取付時の注意

- ・垂直になるよう調節してください。
- ・ねじ頭が出ないようにしてください。
- ・土壁等へは取り付けしないでください。

電池の入れ方

1. 裏プタを外します。
2. 乾電池を入れます。（単四2本）
3. 裏プタを取り付けます。



リモコンの設定変更

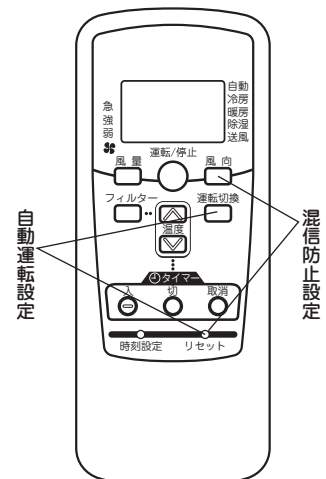
(1)混信防止設定

風向ボタンを押しながら**リセット**スイッチを押すか、**風向**ボタンを押しながら電池を投入すると、設定が混信防止設定へ切り換わります。

(2)自動運転の設定変更

ビル空調・ガスヒートポンプシリーズ（除く冷暖フリーマルチ）は、自動運転ができません。これらの機種に使用する場合は、リモコンを自動運転無効の設定にしてください。

運転切換ボタンを押しながら**リセット**スイッチを押すか、**運転切換**ボタンを押しながら電池を投入すると、自動運転が無効となります。



※注意：一度電池を取り外すと初期設定（工場出荷時設定）へ戻ります。

電池を取り外した時は、再度上記操作を行ってください。

④ ワイヤレスリモコンの続き

〈ラクリーナパネル機能への対応方法〉

(3) フィルター自動昇降モード有効

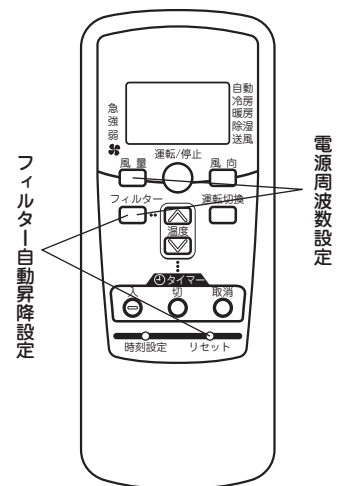
次の①、②いずれかの方法によりリモコン設定をフィルター自動昇降モード有効に変更してください。

- ① **フィルター**ボタンを押しながら**リセット**スイッチを押すか、**フィルター**ボタンを押しながら電池を投入する。
- ② リモコン裏ボタンを外し、ジャンパー線を切断する。
設定を実施すると、フィルター自動昇降モード時、ディスプレイに「**フィルター**」と表示されます。

(4) ダリル降下長さの設定

ラクリーナパネルのグリル降下長さの設定は、ワイヤードリモコンを室内機に接続して行ってください。詳細はパネルに同梱されている据付説明書を参照してください。
(初期値は 2.0 m)

※注意：一度設定した後は、室内機のコントローラのマイコンが記憶するため、ワイヤードリモコンを接続し続ける必要はありません。



(5) 電源周波数の設定変更

ラクリーナパネル取付け時は、電源周波数の設定をワイヤレスリモコンを用いて必ず行ってください。(初期設定は 60Hz)

- ① **フィルター**ボタンと**風量**ボタンを同時に 3 秒以上押すと周波数設定モードになります。
- ② 設定温度表示部に現在の周波数設定が点滅表示されます。
- ③ **△**ボタンを押すと“60”表示となり、**▽**ボタンを押すと“50”表示となります。
- ④ 周波数設定後、**フィルター**ボタンを押すと、周波数が確定され、室内機にデータが送信されます。
約 2 秒間設定された周波数が点灯した後、元の表示に戻ります。

お願い

上記操作方を必ずお客様に説明してください。
(操作方はエアコン本体に付属の取扱説明書にも記載してあります。)

⑤ 受信部

1 リモコンによる複数台室内ユニット制御

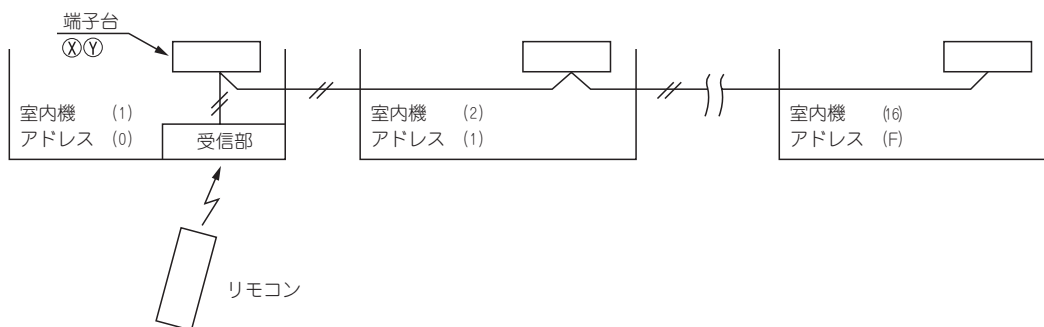
- ① 1 つのリモコンで複数台のユニット（最大 16 台）をグループ制御できます。
同一モード、同一室温設定で運転します。
- ② グループ制御用に各室内ユニット間を 2 心のリモコン線にて渡り配線してください。

店舗シリーズの場合

- ③ 室内基板上のロータリスイッチ SW 2 により、リモコン通信アドレスを重複しないよう「0」～「F」に設定してください。

渡り配線の太さと長さの制限（最大 600m）

標準	0.3 mm ² × 100m 以内
	0.5 mm ² × 200m 以内
	0.75mm ² × 300m 以内
	1.25mm ² × 400m 以内
	2.0 mm ² × 600m 以内



ビル空調・ガスヒートポンプシリーズの場合

- ④ 室内・室外 No. を手動アドレス設定にてセットしてください。
室内ユニット基板上のロータリ SW 1、SW 2 により、室内 No. を重複しないように設定してください。

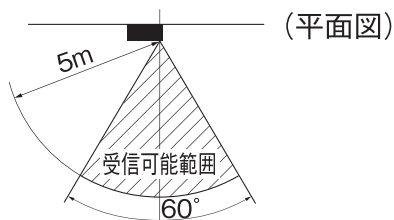
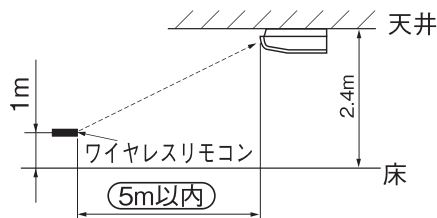
⑤ 受信部の続き

ワイヤレスリモコンの操作距離

① 標準的な受信距離

〔条件〕 受信部照度 360 ルクス

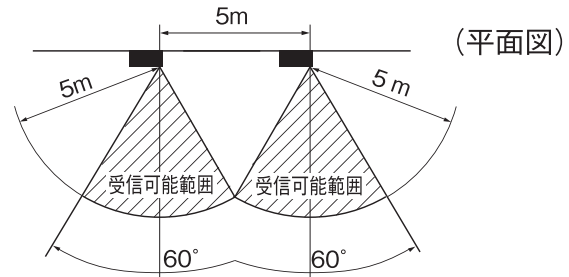
（一般事務所でユニット周辺 1m 以内の天井面に照明がない場合）



② 複数台近接設置時の注意

〔条件〕 受信部照度 360 ルクス

同一動作を防止できるユニット間最小距離は 5m です。



お願い

- リモコンを正しくエアコンの受信部に向けて操作してください。
- 操作距離は、受信部照度、部屋壁面の反射状態により変化します。
- 受信部に直射日光・照明等の強い光が当たっている場合、操作距離の縮小、また、受信不良が起こる場合があります。

バックアップスイッチ操作

パネル表面受信部にバックアップスイッチを装備しています。
ワイヤレスリモコン操作ができない場合（電池切れ、紛失、故障）に
応急的に使用してください。

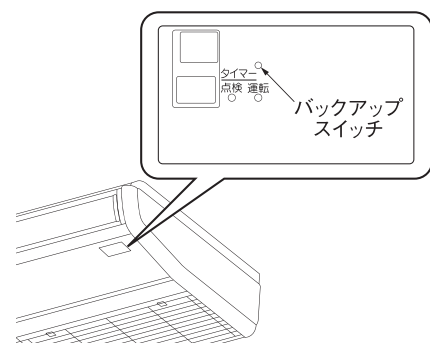
操作は手で直接操作してください。

- (1) 停止中に押すことにより自動モード（冷専は冷房モード）で運転します。

風量「急」 温度設定「23℃」 ルーバ「水平」

- (2) 運転中に押すことにより「停止」します。

- (3) ラクリーナパネル使用時、2 秒以上押し続けてから離れた場合、
ラクリーナパネル上昇となります。



冷房試運転操作

- 受信部バックアップスイッチを押しながら、リモコンにて冷房運転を送信してください。
- 試運転時に受信部バックアップスイッチを押すと試運転が解除されます。
- 試運転時、正常に動作しない場合は、室内・室外ユニットに貼り付けの結線銘板の点検表示を参照し、点検してください。

2桁表示の見方

受信部は 2 桁表示（7 セグメント）を装備しています。

- (1) 表示は電源投入後 1 時間表示します。
- (2) エアコン停止中に、ワイヤレスリモコン「停止」信号送信により 3.5 秒間表示します。
- (3) 上記の表示は、運転開始により消灯します。
- (4) 異常履歴がない場合は、接続台数分のアドレスを表示します。
- (5) 異常履歴が残っている場合は、履歴の内容を表示します。
- (6) 異常履歴は、バックアップスイッチを押しながらワイヤレスリモコン「停止」信号送信によりクリアされます。

(2) コンパクトリモコン (RCH-D3)

PJZ012D068

室内機の据付説明書と共にお読みください。

△警告

- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- 元電源を切った後に電気工事をする。
感電、故障や動作不良の原因になります。

△注意

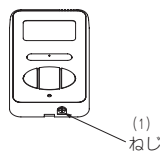
- 下記の様な所にリモコンを設置しない。
リモコンの故障や変形の原因になることがあります。
(1) 直射日光の当たる場所 (4) 取付面が発熱・結露する場所
(2) 発熱器具の近く (5) 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
(3) 湿気の多い所・水の掛る所 (6) 取付面に凹凸がある所
- リモコンの上ケースを取り外したまま放置しない。
上ケースを取り外した場合は、内蔵の基板にゴミや水分等が付着しないように、梱包箱或いは梱包袋に入れて保護してください。

付属品	リモコン本体、 木ねじ (φ3.5 × 16) 2本
客先手配品	リモコンコード (2心) (※2. リモコンコードを延長する場合の注意)を参照ください。 〔埋込取付の場合〕 JIS ボックス、 M4 ねじ (2本) 〔露出取付の場合〕 コードクランプ (適時)

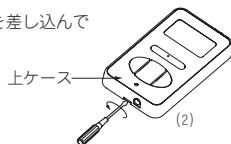
1. 取付要領

埋込取付の場合

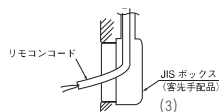
- (1) リモコンの下面のねじを必ず外してください。



- (2) リモコンの上ケースを外してください。
リモコン下面の凹部にマイナスドライバ等を差し込んで軽くねじり、ケースを外します。



- (3) JIS ボックスとリモコンコードをあらかじめ埋め込んでおきます。
〔使用可能 JIS ボックス〕
JIS C 8336 1 個用スイッチボックス



- (4) M4 ねじ 2 本 (推奨長さ 12~16mm) を用意して、下ケースを JIS ボックスに取り付けてください。
ねじ穴の周囲の壁の高さより、ねじ頭の大きなねじを、使用しないでください。

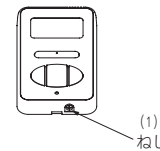


- (5) リモコンコードを端子台に接続してください。
リモコンの端子 (X, Y) と室内機の端子 (X, Y) とを接続してください。(X, Y の極性はありません。)

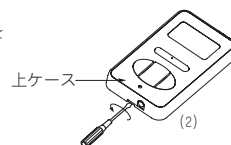
- (6) リモコンコードが噛みこまない様に、上ケースを元通り取り付け、外したねじで固定してください。

露出取付の場合

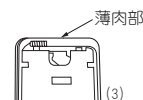
- (1) リモコンの下面のねじを必ず外してください。



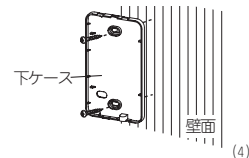
- (2) リモコンの上ケースを外してください。
リモコン下面の凹部にマイナスドライバ等を差し込んで軽くねじり、ケースを外します。



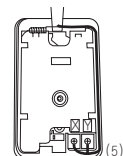
- (3) リモコンコードの取り出し方向は、上部中央から可能です。
リモコン上ケースの上方の薄肉部をニッパ・ナイフ等で切り取った後、ヤスリ等でバリを取ってください。



- (4) リモコンの下ケースを付属の木ねじ 2 本で平らな壁に取り付けます。



- (5) リモコンコードを端子台に接続してください。
リモコンの端子 (X, Y) と室内機の端子 (X, Y) とを接続してください。(X, Y の極性はありません。)
配線経路は右図の通りとなります。



リモコンケース内を通る配線は、0.3mm² (推奨) ~ 最大 0.5mm² 以下としてください。

また、シース部を皮むきしてください。
各配線の皮むき長さは、下記の通りです。

X 配線: 160mm
Y 配線: 150mm



- (6) リモコンコードが噛みこまない様に、上ケースを元通り取り付け、外したねじで固定してください。

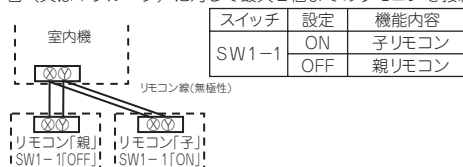
- (7) 露出取付の場合は、リモコンコードがたるまないように、コードクランプ等で壁面に固定します。

2. リモコンコードを延長する場合の注意 最大総延長 600m

- (1) リモコンコードは 0.3mm² × 2 心です。
延長距離が 100m を超える場合は、下記サイズに変更してください。
但し、リモコンケース内を通る配線は 0.3mm² (推奨) ~ 最大 0.5mm² 以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズ変更してください。配線接続する際は、水分等が浸入しない様な処置を行ってください。また、配線の接続は、接触不良のない様確実に行ってください。
100~200m 以内 0.5mm² × 2 心
300m 以内 0.75mm² × 2 心
400m 以内 1.25mm² × 2 心
600m 以内 2.0mm² × 2 心

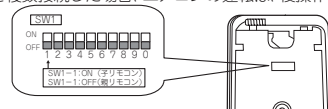
3. 複数リモコン使用時の親子設定

- (1) 室内機 1 台 (又は 1 グループ) に対して最大 2 個までのリモコンを接続でき



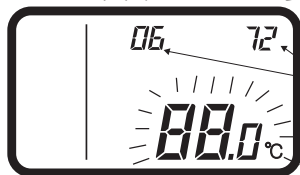
- (2) 子リモコンの切換スイッチ SW1-1 を「子」(ON) に設定してください。工場出荷時は「親」(OFF) 設定です。

- (注) ・リモコンセンサ有効設定は親リモコンのみ可能です。
・親リモコンを室温検知させる位置に取り付けてください
・リモコンを複数接続した場合、エアコンの運転は、後操作したリモコンに従います。



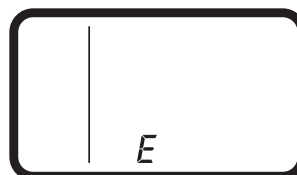
4. 電源投入時の表示

- (1) 電源投入時、最初の2秒間全点灯した後、下記表示となります。
リモコンLCD上部に表示される番号は、ソフトウェアの管理番号を表示させているものであり、異常コードの表示ではありません。



ソフトウェア管理番号
(左記記号は一例です。
別の番号が出る場合もあります。)

- (2) その後、リモコンと室内機の通信が確定するまで、リモコンには、「88.0℃」が点滅します。
- (3) 室内機1台(又は1グループ)に、1個のリモコンを接続する場合は、必ず親子リモコン(出荷時設定)としてください。
子リモコンにすると通信できません。
- (4) リモコンと室内機の通信ができない状態が30分程度続くと、「E」表示がでます。
室内機及び室外機の配線、及びリモコンの親子設定等をご確認願います。



5. 吸込温度の確認方法

リモコン操作により、吸込温度の確認ができます。

- (1) **エアコンNoボタンを5秒以上押す。**
温度設定表示部に、「88」が点滅します。
(データを読み込む間約2秒間点滅)



その後、吸込温度を表示します。

(例) 吸込温度:「27℃」(点灯)

(注) 吸込温度は、通常の場合室内機の吸込温度を表示しますが、リモコンセンサ有効の場合は、リモコンセンサ検知温度が表示されます。



- (2) **運転/停止ボタンを押す。**
終了します。

【リモコンセンサが無効で、一つのリモコンに複数台の室内機が接続されている場合】

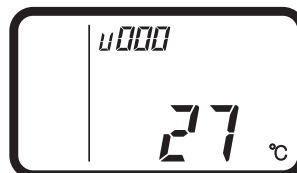
- (1) **エアコンNoボタンを5秒間押す。**
室内機No表示部:「U 000」(点滅)
(接続されている室内機の、最も若い番号を表示。)
- (2) **TEMP△またはTEMP▽ボタンを押す。**
室内機の番号を選びます。
- (3) **MODEボタンを押す。**
室内機Noを確定します。

(例) 室内機No表示部:「U 000」

温度設定表示部に、「88」が点滅します。(データを読み込む間約2~10秒間点滅)

その後、吸込温度を表示します。**エアコンNOボタン**を押すと、室内機選択表示(例「U 000」)に戻ります。

- (4) **運転/停止ボタンを押す。**
終了します。



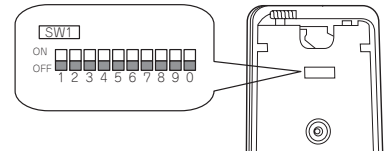
6. 機能設定

リモコンと室内機の各機能は、リモコンと室内機を接続した際に、標準的な使い方である初期設定に自動的に設定されます。標準的な使い方をする場合は、設定の変更はいりません。但し、「○」印の初期設定を変更したい場合は、その機能番号の項目のみ、設定を変更してください。設定内容は記録して保管してください。

(1) 基板上の切換スイッチによる機能設定項目

スイッチ№	設定	設定内容	初期設定
SW1-1	ON	予リモコン	
	OFF	親リモコン	○
SW1-2	ON	リモコンセンサ有効	
	OFF	リモコンセンサ無効	○
SW1-3	ON	「運転切換」ボタン禁止	
	OFF	「運転切換」ボタン有効	○
SW1-4	ON	「運転／停止」ボタン禁止	
	OFF	「運転／停止」ボタン有効	○

スイッチ№	設定	設定内容	初期設定
SW1-5	ON	「温度設定」ボタン禁止	
	OFF	「温度設定」ボタン有効	○
SW1-6	ON	「風量調整」ボタン禁止	※注 1
	OFF	「風量調整」ボタン有効	※注 1
SW1-7	ON	停電補償有効	
	OFF	停電補償無効	○
SW1-8, 9, 0	ON	未使用	
	OFF	未使用	



- ・予リモコンは SW1-1 以外は設定無効です。
- ・風量 1 速の室内機は「風量調整」ボタン有効にはできません。

(2) ボタン操作による機能設定項目

分類	機能番号	機能	設定番号	設定	初期設定	備考
リモコン機能	01	室内ファン速度	01	ファン速度 3 速	※注 1	ファン風量が、急 - 強 - 弱の 3 速となります。
			02	ファン速度 2 速 (Hi-Lo)	※注 1	ファン風量が、急 - 強の 2 速となります。
			03	ファン速度 2 速 (Hi-Me)		ファン風量が、急 - 強の 2 速となります。
			04	ファン 1 速	※注 1	ファン風量が 1 速のみで固定されます。
	03	冷房時 リモコンセンサ	01	リモコンセンサ補正なし	○	
			02	リモコンセンサ + 3.0℃		冷房時、リモコンセンサ有効の場合、+ 3.0℃ 温度補正する。
			03	リモコンセンサ + 2.0℃		冷房時、リモコンセンサ有効の場合、+ 2.0℃ 温度補正する。
			04	リモコンセンサ + 1.0℃		冷房時、リモコンセンサ有効の場合、+ 1.0℃ 温度補正する。
			05	リモコンセンサ - 1.0℃		冷房時、リモコンセンサ有効の場合、- 1.0℃ 温度補正する。
			06	リモコンセンサ - 2.0℃		冷房時、リモコンセンサ有効の場合、- 2.0℃ 温度補正する。
			07	リモコンセンサ - 3.0℃		冷房時、リモコンセンサ有効の場合、- 3.0℃ 温度補正する。
	04	暖房時 リモコンセンサ	01	リモコンセンサ補正なし	○	
			02	リモコンセンサ + 3.0℃		暖房時、リモコンセンサ有効の場合、+ 3.0℃ 温度補正する。
			03	リモコンセンサ + 2.0℃		暖房時、リモコンセンサ有効の場合、+ 2.0℃ 温度補正する。
			04	リモコンセンサ + 1.0℃		暖房時、リモコンセンサ有効の場合、+ 1.0℃ 温度補正する。
			05	リモコンセンサ - 1.0℃		暖房時、リモコンセンサ有効の場合、- 1.0℃ 温度補正する。
			06	リモコンセンサ - 2.0℃		暖房時、リモコンセンサ有効の場合、- 2.0℃ 温度補正する。
			07	リモコンセンサ - 3.0℃		暖房時、リモコンセンサ有効の場合、- 3.0℃ 温度補正する。
	05	換気設定	01	換気接続なし	○	
			02	エアコンと連動		シングル機は室内基板 CNT、マルチ機は室内基板 CND に換気機器を接続すると、室内機の運転に連動し、換気機器の運転／停止を行います。
	06	「自動」運転設定	01	「自動」運転有効	※注 1	
			02	「自動」運転無効	※注 1	「自動」運転不可
室内機能	07	運転許可／禁止	01	無効	○	
			02	有効		運転許可／禁止制御を有効にします。
	08	外部入力切替	01	レベル入力	○	
			02	パルス入力		
	09	高天井設定	01	標準	注 2	
			02	高天井 1	注 2	
			03	高天井 2	注 2	
	10	冷房時 ファン残留運転	01	残留運転なし	○	冷房停止後、ファン残留運転なし。
			02	0.5 時間		冷房停止後、0.5 時間ファン残留運転する。
			03	1 時間		冷房停止後、1 時間ファン残留運転する。
			04	6 時間		冷房停止後、6 時間ファン残留運転する。
	11	暖房時 ファン残留運転	01	残留運転なし	○	暖房停止、または暖房サーモ OFF 後、ファン残留運転なし。
			02	0.5 時間		暖房停止、または暖房サーモ OFF 後、0.5 時間ファン残留運転する。
			03	2 時間		暖房停止、または暖房サーモ OFF 後、2 時間ファン残留運転する。
			04	6 時間		暖房停止、または暖房サーモ OFF 後、6 時間ファン残留運転する。
	12	暖房室温補正	01	補正なし	○	
			02	室温補正 + 3.0℃		暖房時の設定温度を + 3.0℃ 補正します。
			03	室温補正 + 2.0℃		暖房時の設定温度を + 2.0℃ 補正します。
			04	室温補正 + 1.0℃		暖房時の設定温度を + 1.0℃ 補正します。
	13	暖房ファン制御	01	弱風	○	暖房サーモ OFF 時、弱風で運転します。
			02	設定風量		暖房サーモ OFF 時、設定風量で運転します。電気集塵機を取り付けた場合は「設定風量」に設定してください。
			03	間欠運転		暖房サーモ OFF 時、間欠運転します。
			04	停止		暖房サーモ OFF 時、ファンは停止します。リモコンセンサ有効時は、自動的に「停止」に設定されます。本体サーモの時は、設定しないでください。
	14	吸込温度補正	01	補正なし	○	
			02	吸込温度補正 + 2.0℃		室内機の吸込温度を + 2.0℃ 補正します。
			03	吸込温度補正 + 1.5℃		室内機の吸込温度を + 1.5℃ 補正します。
			04	吸込温度補正 + 1.0℃		室内機の吸込温度を + 1.0℃ 補正します。
			05	吸込温度補正 - 1.0℃		室内機の吸込温度を - 1.0℃ 補正します。
			06	吸込温度補正 - 1.5℃		室内機の吸込温度を - 1.5℃ 補正します。
			07	吸込温度補正 - 2.0℃		室内機の吸込温度を - 2.0℃ 補正します。

注 1：「※」印の初期設定は、接続される室内機及び室外機により異なり、下記の通り自動判別されます。

スイッチ№ 機能番号	機能	設定	機種
SW1-6	風量調整	「風量調整」ボタン禁止	室内ファン風量切換えが 1 速のみの機種
		「風量調整」ボタン有効	室内ファン風量切換えが 2 速又は 3 速の機種
リモコン機能 01	室内ファン速度	ファン速度 3 速	室内機ファン風量 3 速の機種
		ファン速度 2 速 (Hi-Lo)	室内機ファン風量 2 速の機種
		ファン速度 2 速 (Hi-Me)	
リモコン機能 06	「自動」運転設定	ファン 1 速	室内ファン風量切換えが 1 速のみの機種
		「自動」運転有効	「自動」モード選択可能な機種
		「自動」運転無効	「自動」モードの無い機種

注 2：高天井設定時のファンタップ

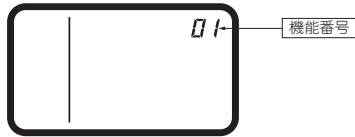
ファンタップ	室内風量設定		
	急 - 強 - 弱	急 - 弱	急 - 強
標準	Hi - Me - Lo	Hi - Lo	Hi - Me
高天井 1・2	UHi - Hi - Me	UHi - Me	UHi - Hi

機種によって、初期設定が高天井設定の機種もあります。

注 3：ツイン・トリプル・ダブルツイン機の場合、室内機能設定は親室内ユニット・子室内ユニット 各々設定してください。但し、「07 運転許可／禁止」「08 外部入力切替」は親室内ユニットのみで設定可能です。

7. ボタン操作による機能設定の仕方

- (1) エアコンを停止させて、**「エアコンNo」と「MODE」**ボタンを同時に長押しする。
右上に、機能番号「01」が点滅します



- (2) **「TEMP△」または「TEMP▽」**ボタンを押す。
機能番号を選択します。

- (3) **「MODE」**ボタンを押す。
機能番号を確定する。

- (4) **【リモコン機能（01～06）を選んだ場合】**

- ① 選択した機能番号の現在の設定番号が点滅します。
(例)

機能番号：「01」（点灯）
設定番号：「01」（点滅）



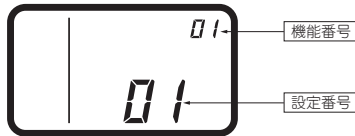
- ② **「TEMP△」または「TEMP▽」**ボタンを押す。
設定番号を選択します。

- ③ **「MODE」**ボタンを押す。
設定が完了します。

確定した機能番号と、設定番号をデータを送信する間約3～20秒間点灯します。

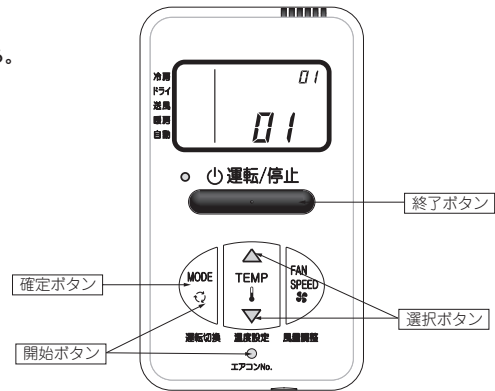
(例)

機能番号：「01」（3～20秒間点灯）
設定番号：「01」（3～20秒間点灯）



その後、機能番号の点滅表示(1)に戻りますので、
続けて設定する場合は、同じ要領で設定してください。
終了する場合は、(5)へお進みください。

- (5) **「運転/停止」**ボタンを押す
設定を終了します。



- 【室内機能（07～14）を選んだ場合】**

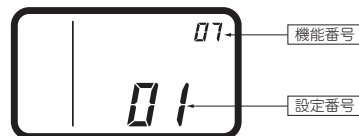
- ① 温度設定表示部に、「88」が点滅します。
(データを読み込む間約2～10秒点滅)

↓

その後、選択した機能番号の現在の設定番号が点滅します。

(例)

機能番号：「07」（点灯）
設定番号：「01」（点滅）

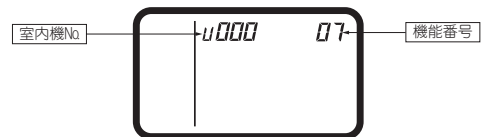


- ② へお進みください。

【注意】

- a. 一つのリモコンに、室内機を複数台接続している場合は、下記表示となります。

室内機No表示部：「U 000」（点滅）
(接続されている室内機の、最も若い番号を表示。)



- b. **「TEMP△」または「TEMP▽」**ボタンを押す。

設定したい室内機の番号を選びます。
「U ALL」を選択すると、全台同一の設定ができます。

- c. **「MODE」**ボタンを押す。

室内機Noを確定します。
温度設定表示部に、「88」が点滅します。(データを読み込む間2～10秒点滅)
「エアコンNo」ボタンを押すと室内機選択表示(例「U 000」点滅)に戻ります。

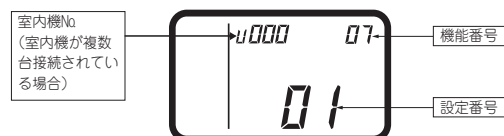
- ② **「TEMP△」または「TEMP▽」**ボタンを押す。
設定番号を選択します。

- ③ **「MODE」**ボタンを押す。

設定が完了します。
確定した室内機No、機能番号、設定番号をデータを送信する間約3～20秒間点灯します。

(例)

室内機No：「U 000」（3～20秒間点灯）
機能番号：「07」（3～20秒間点灯）
設定番号：「01」（3～20秒間点灯）



その後、機能番号の点滅表示(1)に戻りますので、続けて設定する場合は、
同じ要領で設定してください。終了する場合は、(5)へお進みください。

- ・設定の途中で、**「運転/停止」**ボタンを押しても終了します。但し、設定が完了していない内容は無効となりますのでご注意ください。
- ・設定内容は、コントローラ内部に記憶され停電しても保存されております。

【現在設定の確認方法】

上記操作により、「機能番号」を選び、「MODE」ボタンを押した時に、最初に表示される「設定番号」が、現在設定されている内容です。
(但し、「U ALL」(全台)を選んだ場合は、室内機Noの最も若い機種の設定番号が表示されます。)

据 付 に つ い て

- 本機は、ラクリーナパネル専用のワイヤレスリモコンです。本機を使用する場合は、別売のワイヤレスキットをラクリーナパネルに取付け、ご使用ください。
- リモコン通信線上に、ワイヤードリモコン、ワイヤレス受信部は、合計2セットまで接続可能です。但し、グリル昇降操作は「親」設定側のみ対応可能です。
本機からグリル昇降させる時は、ワイヤレス受信部基板上のSW2を「親」設定とし、ワイヤードリモコン側を「子」設定としてください。
- ・この取扱説明書を見ながらお客様に実際に操作していただき、正しい運転のしかたをご指導ください。
- ・室内機本体及びパネルの据付方法につきましては、それぞれに同梱してあります据付説明書をご覧ください。
- ・この取扱説明書は、工事完了後、お客様に保管していただく様依頼してください。



注 意

操作するときは、吸込グリル動作範囲内に人がいないこと、物が無いことを確認のうえ行ってください。吸込グリルがあたるとケガをしたり、物が破損する原因になることがあります。

吸込グリル動作中に、吸込グリルやワイヤなどに触れないでください。吸込グリルがぶつかったり、ワイヤが巻きついたりしてケガの原因になることがあります。

ワイヤは折り曲げたり、タバコなどの火に触れないでください。ワイヤ断線により、吸込グリルやエアフィルタが落下し、ケガの原因になることがあります。

本機で使用している電池を取り外した場合は、誤って電池を飲むことがないようにしてください。電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。

お 願 い

- ・吸込グリル降下中以外のときに、子リモコンまたはセンターコンソールなどのオプションから運転操作をした場合、そのエアコンは運転になりますのでご注意ください。
- ・停止中に吸込グリルを無理に引き下げないでください。モータやワイヤ破損の原因になることがあります。

お 知 ら せ

- ・吸込グリルが所定の位置に停止したとき、吸込グリルが傾くことがあります、収納時に自動補正します。
- ・収納位置を補正するときに大きな音がしますが、故障ではありません。
- ・リモコン複数台制御の場合（ツイン・トリプル等）は、1回の操作で各ユニットが動作します。

1. 付 属 品

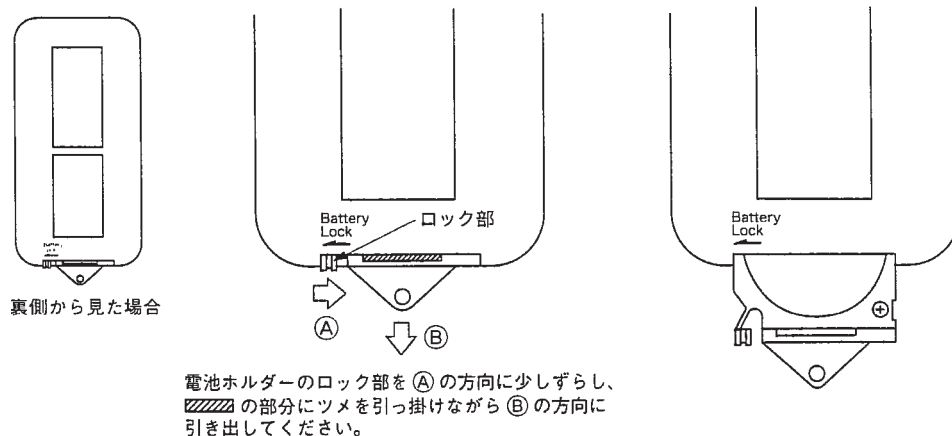
下記部品が梱包されていますので、据付前にご確認願います。

ワイヤレスリモコン本体・・・1 ストラップ・・・1 動作確認用電池（CR2025）・・・1

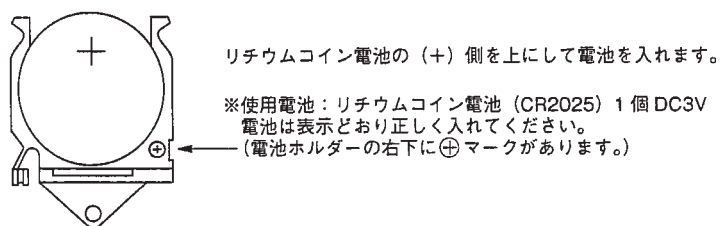
2. 電池の入れかた

1) 付属の電池（リチウムコイン電池：CR2025…1 個）をワイヤレスリモコンにセットしてください。

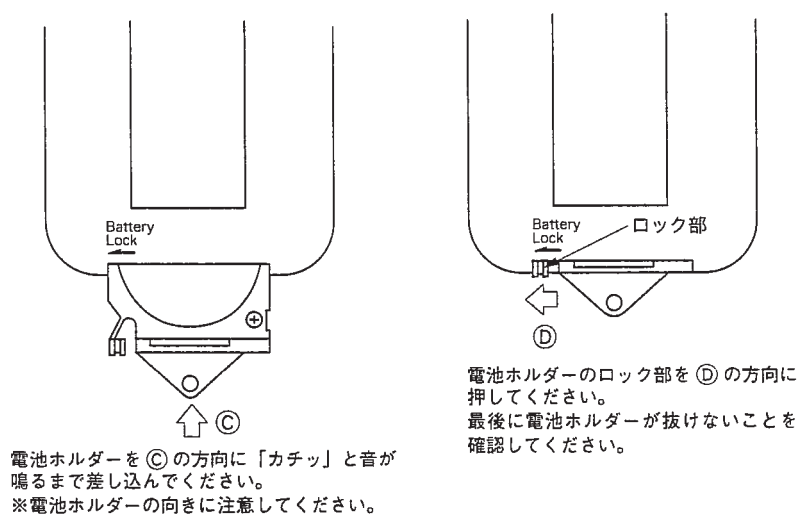
①電池ホルダーを引き出す。



②電池を入れる。

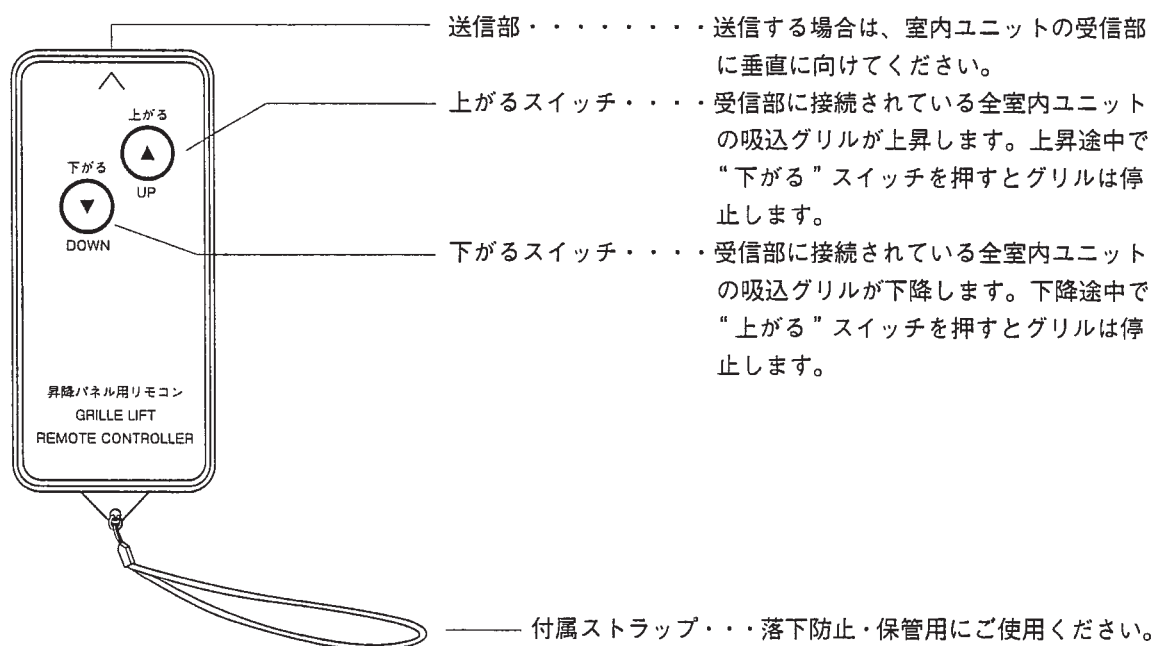


③電池ホルダーを元に戻す。



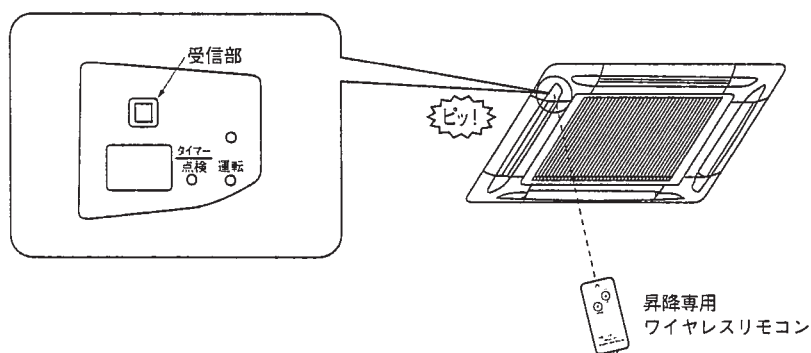
3. 各部の名称

- ラクリーナパネルに昇降指令する送信機です。ワイヤレスキットの受信部に向け、各スイッチを押し、送信します。
- 送信距離は最大で約5mです。受信部に垂直に送信できなかったり、または受信部照度が大きくなると送信距離は短くなる場合があります。
- グリル昇降の操作中はエアコンを停止させてください。



4. ワイヤレスリモコンスイッチの送信は

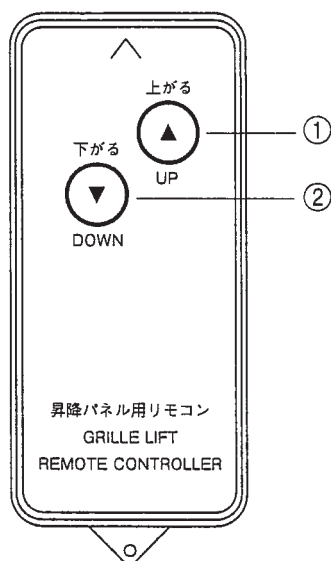
- 1) ワイヤレスリモコンの送信は、室内ユニットの受信部にワイヤレスリモコンの送信部を向けて必要なボタンを押すと送信できます。本体が受信すると「ピッ!」と音がします。



ご注意

受信部の親子設定が「子」になっている場合は、グリル昇降操作はできません。

5. 吸込グリルの昇降のしかた



1

下がる

① **スイッチ**を押すと、受光部に接続されている全室内ユニットの吸込グリルが下降します。

運転中のエアコンは自動的に停止します。

- ・昇降グリルが所定の位置に達すると、自動的に下降を停止します。

- ・下降中に停止したい場合は、^{上がる}② **スイッチ**を押すと任意の位置で停止します。

2

上がる

② **スイッチ**を押すと、受光部に接続されている全室内ユニットの吸込グリルが上昇します。吸込グリルが一旦パネルに収納されたあと、上下に動いて収納位置の補正をしてから自動停止します。

- ・上昇中に停止したい場合は、^{下がる}① **スイッチ**を押すと任意の位置で停止します。

- ・操作終了後、運転を開始する場合は、グリルの収納が確実に完了していることを確認後、運転操作リモコンで運転を開始してください。

三菱重工業株式会社 冷熱事業部 〒452-8561 愛知県清須市西枇杷島町旭三丁目1番地
三菱重工冷熱株式会社 〒108-0023 東京都港区芝浦2-11-5

●製品の仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。